

松大から世界へ。
海外に行こう!!

日本の文化を
学びたい。

外国語を現地で
勉強したい

外国の人と
友達になりたい

You can make friends
all over
the world.

Hello!

STUDY ABROAD GUIDE BOOK

海外留学 ガイドブック

2017 ▶ 2018

 松山大学

松大生の
留学体験記

イギリス
ドイツ
フランス
スペイン
アメリカ
カナダ
オーストラリア
中国
台湾
韓国

将来、
世界で活躍したい

外国の文化に
触れたい。

Bonjour!

外国の人達と
交流したい。

想像以上の未来が
待っている。

Touch the world,
Find your future.

巻 頭 言

約 150 年前、明治政府は、近代化を推し進める一環として、多くの留学生を欧米諸国に派遣しました。留学生たちは、様々な分野で当時の最先端の知識を身に付け、帰国後は、それぞれの分野で国家や社会の近代化に貢献しました。その一例として、法律学を学んだ留学生は、明治政府の中枢で近代的な法制度を整備し、欧米諸国に匹敵する国家体制を作り上げました。新しい知識は、社会全体を発展させる原動力となるものです。

また現在、貿易は世界規模に拡大し、商品や人、情報が国境を越えて移動することがごく日常的なこととなりました。しかし交流の拡大は、時として衝突を生み出し、場合によっては国家間の武力紛争にまでつながることがあります。現在の世界も、決して平穏でないことは、毎日のニュースが報道するところです。しかし過去、多くの戦争を経験した人類が、お互いを知り、違いを認め合い、その上で共通のルールを作り、共存する方法を見つけ出そうとしているのも事実です。国連は、その代表的なものといえるのではないのでしょうか。遠回りのようですが、人と人との交流が相互の信頼を生み、その個人的な信頼関係を国家間の信頼関係につなげていくことが、求められていると言えます。

さて、この冊子を手にした皆さんは、人一倍、外国や留学に対する関心を持ってくれていることと思います。関心を持ったきっかけは、人それぞれかもしれませんが、しかし動機はどうであれ、海外での生活は、これまでなかった経験を皆さんにもたらすことでしょう。実際に触れなければ知ることのできない、その国の人たちの考え方、文化、歴史等に接することは貴重な経験であり、その経験は、その後の人生に大いに役立つことでしょう。また留学は、複数の視点、客観的なものの見方を教えてくれます。現代社会においては、マスメディアやインターネットに多くの情報が溢れていますが、それらの中には誤ったものや偏見に満ちたものも少なくありません。外国の現実を自分の目で見ることは、外国から日本を見ることは、現代社会で求められている、多くの情報の中から本質を見抜き、冷静かつ客観的な判断を下す力を養ってくれることでしょう。

外国から得られた新しい知識が社会を活性化させることは、今も昔も変わりありません。そして冷静かつ客観的な視点は、誤解や一方的な見方が原因となる紛争を予防し、相互理解を深めることにつながります。松山大学の海外研修プログラムをステップとして、これからの社会、そして世界を作っていく皆さんが大きく成長されることを、期待しています。

松山大学 国際センター
センター長 穴田 浩一

海外留学プログラムについて

国際センターの海外留学プログラムは、半年又は1年の留学期間でありながら4年間（薬学部は6年間）で卒業可能な長期プログラムと夏季又は春季休暇を利用した短期プログラムがあり、皆さんのニーズ（言語、語学力、場所、期間、費用）に合ったプログラムを選択することができます。休学して留学する場合は、4年間（薬学部は6年間）で卒業することはできません。国際センターでは、留学に関する情報提供をしていますので、気軽に相談してください。なお、プログラムの詳細はP.14からの『各種プログラムの概要』を参照してください。

1. 長期プログラム

派遣留学制度

- ・本学と学生相互派遣の協定を締結している外国の大学に留学し、そこで開講されている講義を現地の学生とともに受講し、その国の文化・社会を知ることにより、その国の言語による理解力と表現力を飛躍的に高めることを目的とした制度です。
- ・留学先の大学で取得した単位は、年間履修単位数を限度に卒業単位として認められることがあります。
- ・本学へ当該年度の学費（授業料・教育充実費）を納入することにより、一部の協定校を除いて協定校の入学金・授業料は免除されます。ただし、往復の留学旅費、生活費、教材費等については自己負担となります。

長期英語研修講座

- ・研修校において、4月又は5月から8月又は12月まで（12～30週程度）の期間、修学の機会を与え、英語による理解力と表現力を飛躍的に高めると同時に、その国の文化・社会を通して国際理解の精神を養い国際化時代において活躍しうる人材を育成することを目的とした制度です。
- ・研修を修了すると、研修時間相当分の単位の認定を申請することができます。
- ・研修先の授業料は、当該年度の本学学費（授業料・教育充実費）に相当する額を限度として本学が助成し、助成金を超える額については自己負担となります。

2. 短期プログラム

短期語学研修講座

- ・夏季又は春季休暇期間を利用し、研修校において約1ヶ月間、語学力の向上と国際交流を目的とした研修を行う制度です。
- ・研修を修了すると、単位の認定を申請することができます。
- ・研修に必要な費用は、全て自己負担となります。

学生海外語学研修助成制度

- ・夏季又は春季休暇中に、3週間以上8週間以内で45時間以上の研修を行うことを条件に、研修先や留学準備から帰国するまでの計画等すべてを学生自身がコーディネートし、外国語によるコミュニケーション能力の養成、異文化理解の向上と促進を目的とした制度です。
- ・海外に留学する学生に対して、40万円（地域によっては30万円）を上限とする助成金が支給されます。
- ・研修を修了すると、研修時間相当分の単位の認定を申請することができます。

3. その他の留学

私費留学

- ・本学の留学制度とは別に、海外の大学や語学研修機関に留学するケースを私費留学といいます。
- ・私費留学をする場合は、留学先の国選びから学校選び、願書の提出、留学の手続き、宿舍の手配等すべて自分で準備しなければなりません。自らの将来を見据え、長期的な展望のもとに計画を立ててください。
- ・休学して留学を考えている方は、休学手続きについては教務課へ、奨学金を受給している場合は学生課へ必ず事前に相談してください。

各留学プログラムの違い

	期 間	本学への 学費納付	留学先大学への 授業料等の納付	単位認定 申請	取扱窓口
短期語学研修講座	3週間～4週間	必要 (全額)	全額私費	※1 可	国際センター課
長期英語研修講座	3～9ヶ月間		当該年度本学学費相当分を超える額を自己負担		
学生海外語学研修助成制度	3週間～8週間		助成金支給あり		
派遣留学制度	半年間又は1年間	在籍料※2	入学金・授業料は免除	※1	教務課※3
私費留学（休学する場合）	最大2年間 (薬学部のみ3年間)		全額私費	不可	

※1 単位の認定については、P.30の「長期(半期以上)プログラム参加者の履修登録と単位認定について」を参照してください。

※2 詳細は学生便覧「学籍異動」を参照してください。

※3 休学願の取扱いが教務課です。

プログラムの重複受講について

種 別	言 語	プログラム	略 称	C	V	F	B	S	K	CL	GL	VL	BCL	J	派
短期 語学研修講座	英 語	カンタベリー	C	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ビクトリア	V	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ド イ ツ 語	フライブルク	F	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語	ブルゴーニュ	B	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○
	中 国 語	上海	S	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○
	韓 国 語	ソウル	K	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○
長期 英語研修講座	英 語	カンタベリー	CL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	※2	○
		グリフィス	GL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	※2	○
		ビクトリア	VL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	※2	○
		ブリティッシュ・コロンビア	BCL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	※2	○
学生海外語学 研修助成制度	本学で開講 している言語	春季・夏季	J	○	○	○	○	○	○	※2	※2	※2	※2	×	○
派遣留学制度	英 語	ハワイ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ド イ ツ 語	フライブルク		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中 国 語	復旦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		上海師範		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		上海財経		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		青島		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		国立高雄		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		玄奘		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
	韓 国 語	建国		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		平澤		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○

※1 短期語学研修講座において、同プログラムを別の年度に再度受講することは可能ですが、単位認定については1度限りです。

※2 先に、長期英語研修講座を受講した者は、助成制度を利用することができません。先に、助成制度を受講した場合は、次年度以降長期英語研修講座を利用することができます。

※3 同一年度内において、助成制度と派遣留学制度（半期）を重複することはできません。

応募～許可者 発表まで



海外語学研修・派遣留学合同オリエンテーションを開催後、各プログラムの実施時期に合わせて、次の手順でプログラム参加者が決定します。

① 募集要項の掲示

各プログラムの募集に関して、『募集要項』を2号館前と国際センター課前の掲示板及びホームページに掲載しますので、各プログラムの募集ガイダンスに参加してください。

② 募集ガイダンスの実施

プログラムの詳細や協定校の紹介の後、出願に必要な提出書類を配付します。必ず出席してください。授業等で参加できない場合は、事前に国際センター課に相談してください。

③ 出願

出願するにあたっては、申込書に必要な事項を記入し、プログラムによっては出願資格に必要な語学検定試験の証明書を添付の上、期日までに提出してください。なお、研修参加には、保護者の承諾が必要です。

④ 選考

書類審査と面接（個人又は集団）の総合評価により可否を判定します。

⑤ 許可者発表

許可者については、国際センター課前の掲示板等に学籍番号を掲載するとともに、許可者ガイダンス等の案内をします。

●各プログラムの年間募集スケジュール〈参考〉

●各プログラムの年間募集スケジュール〈参考〉

					2016 年度												2017 年度												2018 年度												
□短期語学研修講座					国 名	研修地	研修期間	募集時期	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細		
①	短期英語研修講座（カンタベリー）				イギリス	カンタベリー	約 4 週間	12 月上旬・ 新入生のみ 4 月上旬				募		★	募★									募		★	募★												P.14		
②	短期英語研修講座（ビクトリア）				カナダ	ビクトリア	約 4 週間	12 月上旬・ 新入生のみ 4 月上旬				募		★	募★									募		★	募★												P.14		
③	短期ドイツ語研修講座（フライブルク）				ドイツ	フライブルク	約 4 週間	4 月下旬				募		★	募★												募★												P.15		
④	短期フランス語研修講座（ディジョン）				フランス	ディジョン	約 3 週間	12 月中旬				募		★										募		★													P.15		
⑤	短期中国語研修講座（上海）				中国	上海	約 4 週間	10 月上旬															募★																P.16		
⑥	短期韓国語研修講座（ソウル）				韓国	ソウル	約 3 週間	4 月下旬							募★												募★													P.16	
□長期英語研修講座					国 名	研修地	研修期間	募集時期	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細		
⑦	長期英語研修講座（カンタベリー）				イギリス	カンタベリー	30 週間	10 月中旬	募★													募★																	P.17		
⑧	長期英語研修講座（グリフィス）				オーストラリア	ブリスベン	30 週間		募★														募★																P.17		
⑨	長期英語研修講座（ビクトリア）				カナダ	ビクトリア	12 週間	前学期:11 月下旬															募★													募★			P.18		
								後学期:11 月下旬										募		★								募★													
⑩	長期英語研修講座（プリティッシュ コロンビア）				カナダ	バンクーバー	16 週間	11 月下旬						募★																									P.18		
□学生海外語学研修助成制度					国 名	研修地	研修期間	募集時期	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細		
⑪	学生海外語学研修助成制度（夏季）				各国 ※1	各地	3～8 週間／各自の計画による	4 月下旬								募★												募★												P.19	
⑫	学生海外語学研修助成制度（春季）							10 月上旬																																	P.19
□派遣留学制度（単位互換制度）					国 名	研修地	研修期間	募集時期	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細		
⑬	ハワイ大学ヒロ校				アメリカ	ヒロ	約 5 ヶ月間又は約 10 ヶ月間	7 月下旬 ～ 11 月下旬						★																									P.20		
⑭	フライブルク大学				ドイツ	フライブルク	約 1 年間	1 月上旬 ～ 3 月中旬																															P.20		
⑮	復旦大学				中国	上海	約半年間又は約 1 年間																																P.21		
⑯	上海師範大学						約半年間又は約 1 年間																																	P.21	
⑰	上海财经大学						約半年間又は約 1 年間																																	P.22	
⑱	青島大学						青島		約半年間又は約 1 年間																																P.22
⑲	国立高雄大学				台湾	高雄	約半年間又は約 1 年間																																P.23		
⑳	玄奘大学					新竹	約半年間又は約 1 年間																																	P.23	
㉑	建国大学				韓国	ソウル	約 4 ヶ月間又は 1 年間	7 月下旬																														P.24			
㉒	平澤大学					平澤	約 4 ヶ月間又は 10 ヶ月間	～ 10 月中旬																															P.24		

※1 本学で開講されている言語を公用語とする国

募 = 募集ガイダンス → = 出願期間 ★ = 選考・許可者発表 ■ = 留学期間

- 各プログラムの詳細及び必要な申込書類については、募集ガイダンスでお知らせします。
- 募集ガイダンスにて必要な申込書類を配布します。必ず出席してください。
- 病気等のやむを得ない理由で出席できない者は、事前に国際センター課へ申出てください。（アルバイトやサークル活動
- なお、派遣留学制度は募集ガイダンスを行いません。募集要項掲示時期と出願期間に注意してください。

●募集時期は年度により変更する場合があります。

等の私的な理由での欠席は認めません。）

松山大学の 大学間協定校

松山大学には、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語を学ぶために協定を結んだ海外の大学が 15 校あり、これまでに多くの学生が語学力及び異文化理解の向上のために留学しています。興味がある言語から、留学先を探してみましょう。



英語

アメリカ(ハワイ)

派遣留学制度

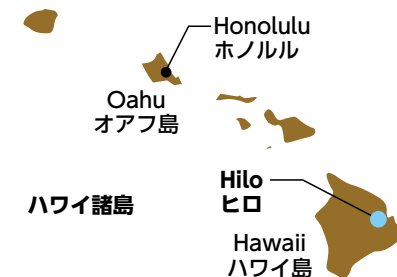


UNIVERSITY
of HAWAII
HILO

ハワイ大学 ヒロ校

University of Hawai'i at Hilo

ハワイ大学は、アメリカ合衆国ハワイ州の州立大学です。1907年に創立され、3つの四年制大学、7つの二年制短期大学を抱えています。10ヶ所あるキャンパスは、カウアイ島、オアフ島、モロカイ島、ラナイ島、マウイ島、ハワイ島に所在し、2012年8月に、本学はハワイ島にあるヒロ校と全学交流協定を締結しました。ホノルルより45分の飛行時間で着くハワイ島は、海と山との豊かな自然が広がっており、アウトドアアクティビティが盛んに行われています。ヒロの人口は約4万人、ヒロ校の学生数は約3,800人、うち1割程度が各国から来る留学生です。



▲ヒロの沿岸



▲ヒロ校校舎

ハワイ大学 ヒロ校 URL >> <http://hilo.hawaii.edu/>

英語

イギリス(カンタベリー)

短期語学研修講座・長期英語研修講座



カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

カンタベリークライストチャーチ大学は、歴史ある都市カンタベリーの中心地に位置する大学です。メインキャンパスは、ショッピングや川下りなどが楽しめるシティセンターから徒歩数分のところで、大聖堂近くの城壁の外にあります。本学の研修生は、このキャンパスで学習し、図書館、カフェテリア、コンピュータールーム等の大学施設も利用できます。

■一般英語コース (General English Course)

高い資格と豊かな経験を持つ専門の講師陣から、英語を教わります。クラスは10名程度の少人数で構成されていますので、一人ひとりにまできめの細かい指導が行き届きます。イギリス文学、IELTS 準備、会話練習、芸術等多様な科目が用意されていることが魅力です。



▲カンタベリー クライスト チャーチ大学内



▲カンタベリー大聖堂

カンタベリークライストチャーチ大学 URL >> <http://www.canterbury.ac.uk/>

英語

オーストラリア(ブリスベン)

長期英語研修講座



グリフィス大学

Griffith University

グリフィス大学は、クイーンズランド州の州都でありオーストラリア第三の都市でもあるブリスベンとゴールドコーストにキャンパスを持つ大学です。その大学の附属英語学校であるグリフィスイングリッシュランゲージインスティテュート(GELI)では世界各国から来た留学生が学習しています。本学の研修生はブリスベンのキャンパスで学習します。大学の附属英語学校であるため、図書館やコンピューター室等の大学施設も利用できます。



■一般英語コース (General English Course)

レベル別に分かれたクラスで学習します。読解、文章表現、聞き取り、会話、文法、語彙、発音等あらゆる英語の技能について学ぶことができます。又、参加者の希望と英語力によっては「English for Academic Purposes(EAP)」という大学進学準備クラスを受講することも可能です。



▲キャンパス内バス停



▲リバーシティ

グリフィス大学 URL >> <http://www.griffith.edu.au/>



University
of Victoria

ビクトリア大学

University of Victoria

ビクトリア大学のイングリッシュランゲージセンター (ELC) は、留学生向けの充実した授業内容とエキサイティングなプログラムで、世界中に知られています。1970年に設立されたセンターは、日本をはじめ、様々な国から生徒を迎え、多くの卒業生を世に送り出しています。異国で学ぶ留学生のニーズをよく理解した熱心でプロフェッショナルな講師陣は、すべて ESL 教授の特別訓練を受けた学位取得者です。フレンドリーで協力的な学習環境が用意されています。

■イングリッシュランゲージプログラム

日本の複数の大学が集まり合同で行うプログラムです。レベル別に分かれたクラスで、生徒の理解を深め、実社会で効果的にコミュニケーションが図れるよう、最新の教授法と教材が使われます。読解、文章表現、聞き取り、会話の他、文法、語彙、慣用熟語等を学習します。大学生証明カードが与えられることにより、多くの学習施設やレクリエーション施設も利用できます。



▲UVic 構内



▲州議事堂

ビクトリア大学 URL >> <http://www.uvic.ca/>



ブルゴーニュ大学

University of Burgundy

ブルゴーニュ大学は、パリから電車で1時間40分程度のコート＝ドール県ディジョンにあります。ブルゴーニュ公国のかつての首都であったディジョンは、歴史的な建造物を含む豊かな文化遺産に恵まれ、美食とワインの街として世界的にも知られています。1722年に創立されたブルゴーニュ大学は、ブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ中規模の国立総合大学です。学生数は25,000人ほど、留学生は約60国籍から1,500人あまりに籍しています。本学では、2014年の夏に初めての留学生を送りました。

■短期フランス語研修講座

【CIEF】フランス語研究国際センター

経験豊かな講師陣が、フランス語及びフランス文化に関する授業を展開しており、フランス語教育については定評があります。クラスはプレシメントテストによって1クラス15人ほどのレベル別に分かれ、各国から来る留学生と共にフランス語を学びます。また、ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も充実しています。



▲ブルゴーニュ大学学生寮



▲ブルゴーニュ市内

ブルゴーニュ大学 URL >> <http://www.u-bourgogne.fr/>



ブリティッシュ コロンビア大学

The University of British Columbia

ブリティッシュコロンビア大学は、ブリティッシュコロンビア州のバンクーバーとオカナガン地方のケロウナに、2つのキャンパスを持つ1908年に創立された州立の大学です。学生数は約4万人、大学院生約1万人、あわせて約5万人が学ぶカナダ西部最大の総合大学です。ブリティッシュコロンビア大学メインキャンパスの中心に位置する付属語学学校である、English Language Institute (通称 ELI) は、学生に対して、いろいろなプログラムと活動を提供し、その歴史は約50年になります。

■英語集中プログラム

(Intensive English Program)

ブリティッシュコロンビア大学の付属語学学校である、ELIによって行われる Intensive English Program (通称 IEP) は、参加者のレベルに応じたクラスがあり、語彙、会話、ディベート、プレゼンテーションなど、あらゆる種類の英語を学べます。授業は英語オンリーの規則を徹底し、英語の習得を効率的に行うことが可能です。また一定レベルの修了証は学部入学時の英語能力の証明にもなります。



▲UBC 中庭



▲UBC 構内

ブリティッシュ コロンビア大学 URL >> <http://www.ubc.ca/>



フライブルク大学

University of Freiburg

フライブルク大学は、ドイツ西南部バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク市にあります。フライブルクの周辺には「黒い森」と呼ばれる有名な森林地帯があり、自然豊かな環境で過ごします。1457年創立のフライブルク大学はドイツで三番目に古い大学で、校舎の多くはフライブルク旧市街にあり、市内中心部にも容易にアクセスすることができます。現在は学生数21,000人以上、教員数5,000人以上の総合大学として多くの国から留学生を受け入れています。本学とフライブルク大学は2002年に大学間の交流協定を締結しました。

■短期ドイツ語研修講座

【SLI】言語教育インスティテュート

フライブルク大学の附属語学学校である SLI によって行われるこのプログラムでは、参加者のレベルに応じて、各国から来た学生と共に学ぶインターナショナルクラスが用意されています。ドイツの文化や生活が理解できるよう、教室での授業と関連させた実地見学等を織り混ぜ、地域社会と学生との接触の場が提供されます。また、ドイツ文化に接することができる多彩なレクリエーションも用意されています。



▲フライブルク大学の校舎



▲フライブルクの街並み

フライブルク大学 URL >> <http://www.uni-freiburg.de/>



復旦大学

Fudan University

復旦大学は「北の北京、南の復旦」と称され、北京大学と双璧をなす中国の名門大学です。上海市に所在する全国重点大学で、創立以来百余年の歴史があります。復旦大学は、近代中国の著名な教育家・馬相伯によって、1905年私立の復旦公学として創立されました。校名は尚書の「虞夏伝」に見える「日月光華、旦復旦兮」の句に由来します。2000年には上海医科大学と合併して、医学部も有する国の総合研究型大学となりました。また、建国後一番早く留学生の受入を始めた大学の一つで、現在その規模は中国国内総合大学の中で一位を誇っています。毎年数千人の留学生が在籍しており、長期留学・交換留学・短期語学研修に世界各国より訪れています。広大でアカデミックなキャンパスは上海市の東北郊外にあり、喧騒を離れ落ち着いた環境は学習には最適です。本学と復旦大学は2005年に大学間の交流協定を締結しました。



▲復旦大学正門



▲復旦大学キャンパス



▲毛沢東主席像

復旦大学 URL >> [http:// www.fudan.edu.cn/](http://www.fudan.edu.cn/)



上海財経大学

Shanghai University of Finance and Economics

上海財経大学は1917年に創立され、やがて中国教育史上一番早い商科大学となり、現在は財政学や会計学、金融学のほか、国際ビジネス、マネジメント、法学などの学部を擁する総合大学に発展を遂げています。上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。国際センター課主催の「短期中国語研修講座」は、併設の国際文化交流学院で実施しています。本学と上海財経大学は2011年に大学間の交流協定を締結しました。



▲上海財経大学 中山北一路キャンパス



▲上海財経大学 国定路キャンパス



▲留学生寮

上海財経大学 URL >> <http://www.shufe.edu.cn/>



上海師範大学

Shanghai Normal University

上海師範大学は1954年に創立以来、上海の教育界に多くの人材を送り出し、教員養成において伝統ある大学として発展した歴史ある総合大学です。特に言語教育に関しては中国有数の大学のひとつで、早い時期から留学生に対する中国語教育を始めており、経験が豊富です。現在中国政府奨学金が設けられており、成績が優秀な留学生に各等級の奨学金が支給されます。大学のキャンパスは、ポプラ並木の間に煉瓦造りの校舎が並び静かで落ち着いた環境です。派遣留学生が学ぶ対外漢語学院は、留学生に中国語教育を専門に教授する学院です。レベル別にクラス編成がなされ、発音矯正やビジネス中国語、HSK対策授業等中国語に関する選択科目も充実しています。本学と上海師範大学は2004年に大学間の交流協定を締結しました。



▲上海師範大学キャンパス



▲対外漢語学院



▲上海師範大学の正門

上海師範大学 URL >> <http://www.shnu.edu.cn/>



青島大学

Qingdao University

青島大学は、山々を背景とした海沿いの町に白い建物が浮かび上がる美しいキャンパスを有しており、1924年に設立され、1993年に4大学が合併し現在は山東地方で最も大きな総合大学です。

夏は涼しく冬は温暖な気候で、落ち着いた環境は学習には最適です。経済学、管理学、理学、工学、医学、教育学、芸術学など多岐にわたる学部があり、約4万人の学生が学んでいます。キャンパス周辺は海で囲まれているため温暖湿潤で、自然豊かな環境にあり、交通の便も発達しています。本学と青島大学は2004年に大学間の交流協定を締結しました。



▲青島大学正門付近



▲青島大学キャンパス

青島大学 URL >> <http://www.qdu.edu.cn/>



國立高雄大学

National University of Kaohsiung

國立高雄大学は台湾南部に位置し、南部の高等教育・研究機関の充実を図るため国家政策により、2000年に設立された新しい国立大学です。人文社会科学部、法学部、経営学部、理学部、工学部などの学部で構成され、全国から優秀な学生が集まる名門総合大学です。日台間では産学官連携によるグローバルな国際協力関係の構築が進む中、本学と國立高雄大学は2010年に大学間の交流協定を締結しました。高雄市は台北に次ぐ台湾第2の大都市で、商業が盛んな港町です。年間を通して温暖な気候で、交通の便と住環境が良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。



▲國立高雄大学正門前



▲國立高雄大学キャンパス



▲國立高雄大学留学生寮

國立高雄大学 URL >> <http://www.nuk.edu.tw/>



建国大学

Konkuk University

建国大学は半世紀の歴史と伝統を誇っています。母体は1931年に政財界の代表者45人の支援を得て設立した民衆病院。そして、1946年に設立された朝鮮政治学館から1959年に今の総合大学に発展して以後、誠・信・義の教育理念のもと、国際化を目指す大学として成長してきました。ソウルと忠清北道忠州市に2つのキャンパスを持ち、充実した教育環境で有名な韓国有数の総合私立大学です。ソウルキャンパスには学校の中に湖がある等自然と調和したキャンパスが広がっています。現在、「ルネッサンス建国2031」という新しいビジョンを樹立。2031年までに世界100大大学への躍進を目指し、経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。本学と建国大学は1998年に大学間の交流協定を締結しました。



▲建国大学入口



▲キャンパス内の広大な湖



▲学生会館

建国大学 URL >> <http://www.konkuk.ac.kr/>



玄奘大学

Hsuan Chuang University

玄奘大学は、台湾新竹市にある1997年に設立された私立大学です。人文、社会科学、マネジメント、メディアという4つの大きなフィールドの中に、17の学科と8つの大学院研究科があります。広々とした学内は緑にあふれており、学びに適した好環境のもと、多くの学生が楽しいキャンパスライフを過ごしています。

工業都市として発展した新竹市は「台湾のシリコンバレー」とも呼ばれ、近代的な建物が立ち並んでいます。新竹駅から台北へは高速列車で30分程度と交通の便が良く、大都会・台北へも気軽に行き来できます。



▲玄奘大学キャンパス



▲中庭の湖



▲玄奘大学学生寮

玄奘大学 URL >> <http://www.hcu.edu.tw/>



平澤大学

Pyeongtaek University

平澤大学は、韓国の京畿道平澤市に位置する、古い伝統と力強い若さを共に持つ大学です。1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に、母体となるピアソン記念聖經学院をソウルで創立。1980年に4年制大学の設立認可を受け、翌年1981年にソウルから平澤へ校舎を移設。初の新入生を受け入れ、大学として本格始動しました。1992年に総合大学・平澤大学に昇格し、1996年に学校名が現名称である平澤大学に改称されました。こうして、長い歴史を持ちながら若い大学として現在に至るまで発展を続けています。地域で唯一の総合大学である平澤大学は、「キリスト教精神で大きな意味を成す大学」という発展ビジョンを掲げ、真理・正義・奉仕の教訓のもと、地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。韓国大学教育協議会において優秀大学として認定され、地域の発展は勿論、韓国の大学教育の発展にも大きく寄与しています。本学と平澤大学は2006年に大学間の交流協定を締結しました。



▲平澤大学正門



▲キャンパス風景



▲運動場

平澤大学 URL >> <http://www.ptuniv.ac.kr/>

短期語学研修講座の概要

講座名	短期英語研修講座	
研修校	①カンタベリークライストチャーチ大学	②ビクトリア大学 イングリッシュランゲージセンター
研修地	イギリス ケント州 カンタベリー	カナダ ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア
研修期間	8月上旬～9月上旬（約4週間） 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～9月上旬（約4週間） 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	ホームステイ（空室があれば寮も可です）	ホームステイ
対象	全学部生／ 全学年 短期大学生／ 留学時2年次生以上 ※当該年度に以下の科目の履修が必要です。 「事前研修 A イギリス」	全学部生／ 全学年 短期大学生／ 留学時2年次生以上 ※当該年度に以下の科目の履修が必要です。 「事前研修 A カナダ」
定員	約20名	約20名
選考	面接及び書類審査	面接及び書類審査
費用	全額自己負担 約430,000円（2015年度実績） （内訳 旅費：約180,000円 研修費：約250,000円） ※研修費に1日2食（朝食・夕食）が含まれます。	全額自己負担 約550,000円（2016年度実績） （内訳 旅費：約250,000円 研修費：約300,000円） ※研修費に1日3食が含まれます。
助成金	なし	なし
特徴	・カンタベリーは、ロンドンから電車で1時間30分程度の場所にあり、カンタベリー大聖堂をはじめとする歴史的建造物や古い町並みが見事に保存されています。 ・各国から来た学生で構成するクラス（インターナショナルクラス）。クラス分けによってはクラスメイトが日本人のみになる場合もあります。 ・午前中に2コマ、午後に1コマの英語クラスを受講します。 ・希望すれば、アクティビティー（ロンドン・オックスフォード日帰りツアー等）に参加することができます（別途料金が必要なものあり）。	・ビクトリアは、バンクーバー島にあるブリティッシュコロンビア州の州都であり、美しい入り江が多く、野鳥や野生の動物が生息する自然に恵まれた環境です。また、いろいろなアウトドアスポーツが楽しめます。 ・他の日本の大学の学生と共に構成されるクラス。能力別にクラス分けがあります。（クラスメイトは日本人のみです） ・午前中は英語クラスを受講し、午後は博物館・美術館の訪問・ハイキング等の各種文化活動を通して英語を楽しみながら学んでいきます。 ・ホームステイを通じて実生活から生きた英語を習得します。ビクトリアは、比較的生活水準の高い地域で、イギリス系の伝統を残した家庭的な雰囲気を持っています。その中で、楽しいホームステイが体験できます。
認定科目	「海外語学研修 A イギリス」（4単位）	「海外語学研修 A カナダ」（4単位）
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書（本学所定のもの）を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募集時期	前年度の12月上旬 （新入生のみ4月上旬）	前年度の12月上旬 （新入生のみ4月上旬）
URL	http://www.canterbury.ac.uk/	http://www.uvcs.uvic.ca/elc/translate/japanese/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

講座名	短期ドイツ語研修講座	短期フランス語研修講座
研修校	③フライブルク大学 言語教育インスティテュート(SLI)	④ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター
研修地	ドイツ バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク	フランス コート＝ドール県 ディジョン
研修期間	8月上旬～8月下旬（約4週間） 60時間以上の研修を行います。	8月下旬～9月中旬（約3週間） 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	寮	寮
対象	全学部生／ 全学年 「ドイツ語1」の履修者又は修得者 ※2年次生以上は、当該年度にドイツ語応用科目またはドイツ語3の履修が必要です。	全学部生／ 留学時2年次生以上 「フランス語1」の修得者 ※当該年度にフランス語応用科目の履修が必要です。
定員	約10名	20名
選考	筆記試験・面接及び書類審査	面接及び書類審査
費用	全額自己負担 約360,000円（2015年度実績） （内訳 旅費：約220,000円 研修費：約140,000円） ※研修費に食費は含まれません。	全額自己負担 約410,000円（2015年度実績） （内訳 旅費：約190,000円 研修費：約220,000円） ※研修費に食費は含まれません。
助成金	なし	なし
特徴	・フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40％は森に覆われており、自然に恵まれた中で研修が受けられます。 ・各国から来た学生の参加するインターナショナルクラスでドイツ語コミュニケーション能力養成をはかります。能力別にクラス分けがあります。 ・オプションで週末旅行や課外プログラムが受けられます。	・ディジョンは、フランス中部に位置し、パリから電車で1時間40分程度の場所にあり、プチパリとよばれるほど歴史的建造物が残る美しい町です。 ・各国から来た学生で構成するクラス（インターナショナルクラス）。プレイメントテストによるレベル別クラス分けがあります。 ・経験豊富な講師陣による、フランス語やフランス文化の授業を受けることができます。フランス語教育においては定評があります。 ・ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も豊富で、ディジョン近郊へのツアーもあります。
認定科目	「海外語学研修 A ドイツ」（4単位）	「海外語学研修 B フランス」（4単位）
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書（本学所定のもの）を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募集時期	4月下旬	前年度の12月中旬
URL	http://www.sli.uni-freiburg.de/	http://cief.u-bourgogne.fr/

短期語学研修講座の概要

講 座 名	短期中国語研修講座	短期韓国語研修講座
研 修 校	⑤上海財経大学 国際文化交流学院	⑥建国大学 言語教育院
研 修 地	中国上海市	韓国ソウル市
研 修 期 間	2月下旬～3月中旬（約4週間） 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～8月下旬（約3週間） 60時間以上の研修を行います。
滞 在 方 法	ホテルまたは寮	寮（構内にあります）
対 象	全学部生／ 全学年 ※当該年度に卒業予定の者を除きます。 言語文化科目「中国語 1」の履修を問わない。	全学部生／ 全学年 言語文化科目「ハングル 1」の履修を問わない。
定 員	20名	20名
選 考	面接及び書類審査	面接及び書類審査
費 用	全額自己負担 約 160,000 円（2016 年度実績） （内 訳 旅 費：約 70,000 円 研修費：約 90,000 円） ※研修費に食費及び上海近郊への旅行費用は含まれません。 ※宿泊先により、研修費が変動します。	全額自己負担 約 209,000 円（2016 年度実績） （内 訳 旅 費：約 59,000 円 研修費：約 150,000 円（宿泊費を含む）） ※研修費に食費・テキスト代、文化授業にかかる交通費は含まれません。
助 成 金	なし	なし
特 徴	・上海財経大学国際文化交流学院を基地に大都会「上海」の探索が思う存分できます。 ・プレイスメントテストによるレベル別クラスに分け、実地に役立つ会話中心のカリキュラム。授業は月～金の午前中のみです。午後は予習・復習と自由行動です。 ・大学内の留学生寮または、近くのビジネスホテルに滞在します。 ・研修中に上海財経大学日本語専攻科の学生との交流会を実施します。 ・週末には市内見学を含む文化研修と上海近郊（南京・杭州等）に1～2泊の小旅行を実施します。 ・寮には共同の調理設備はありませんが、大学周辺で安価で美味しいものが食べられます。	・建国大学言語教育院を基地に大都会「ソウル」の探索が思う存分できます。 ・研修日初日に、スクリーニングテストを行い、その結果を元にクラス分けを行います。 ・月～金の午前中は韓国語のクラスで研修し、午後は予習・復習・自由行動ができます。 ・毎週1～2回程度、午後に研修校主催の文化授業を行います。（韓国の伝統文化体験、伝統楽器体験、料理体験等）また、日帰りでソウル近郊へ研修旅行に行く見学授業を1回実施します。 ・滞在予定の大学構内の寮は、2名1部屋でエアコン、シャワー、トイレ、学習机、イス、ふとん、まくら、内線電話、インターネットは、各部屋に完備。冷蔵庫、ミネラルウォーター（冷・温）は、各フロアに完備。洗濯室、テレビ、電子レンジは、各棟に完備され、寮の入退出はICカードにて管理されています。 ・寮では自炊はできませんが、大学周辺で安価で美味しいものが食べられます。
認 定 科 目	「海外語学研修 A 中国」（4単位）	「海外語学研修 A 韓国」（4単位）
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書（本学所定のもの）を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募 集 時 期	10月上旬	4月下旬
U R L	http://www.ices.shufe.edu.cn/	http://kfli.konkuk.ac.kr/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

長期英語研修講座の概要

講 座 名	長期英語研修講座	
研 修 校	⑦カンタベリー クライスト チャーチ大学	⑧グリフィス大学 イングリッシュ ランゲージ インスティテュート
研 修 地	イギリス ケント州 カンタベリー	オーストラリア クイーンズランド州 ブリスベン
研 修 期 間 （予定）	General English（英語集中講座） 4月中旬～12月中旬 （実研修期間：30週間）	ELICOS（英語集中講座） 4月中旬～11月中旬又は 5月下旬～12月下旬 （実研修期間：30週間）
滞 在 方 法	ホームステイ（空室があれば寮も可）	ホームステイ（空室があれば寮も可）
対 象	全学部生 / 留学時2年次生以上 本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※ TOEFL-iBT 57 点以上（120 点満点）または TOEIC 700 点以上（990 点満点）	全学部生 / 留学時2年次生以上 本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※ TOEFL-iBT 57 点以上（120 点満点）または TOEIC 700 点以上（990 点満点）
定 員	若干名	若干名
選 考	面接（英語力評価含む）及び書類審査	面接（英語力評価含む）及び書類審査
費 用	（2015 年度実績） ・授業料 約 1,326,000 円 ・渡航費 約 100,000 円 ・査証取得費 約 30,000 円 ・海外旅行傷害保険料 約 120,000 円 ・滞在費 ・教材費 ・実地見学旅行代金（オプション） ・その他の雑費（健康診断費・現地交通費・通信費）等	（2015 年度実績） ・入学金 約 20,000 円 ・授業料 約 941,000 円 ・渡航費 約 114,000 円 ・査証取得費 約 50,000 円 ・海外旅行傷害保険料 約 97,000 円 ・滞在費 ・教材費 ・実地見学旅行代金（オプション） ・その他の雑費（健康診断費・現地交通費・通信費）等
助 成 金	当該年度学費相当分（授業料・教育充実費）	当該年度学費相当分（授業料・教育充実費）
特 徴	・この研修はカンタベリー クライスト チャーチ大学のインターナショナルオフィスが提供する English Language Courses にて行います。 ・所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より修了証書が交付されます。 ・研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出してください。 ・受講者には、研修終了後に受験した TOEFL または TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。	・この研修はグリフィス大学のグリフィス イングリッシュ ランゲージ インスティテュート (GELI) が提供する English Language Intensive Courses for Overseas Students (ELICOS) において行います。 ・所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より修了証書が交付されます。 ・研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出してください。 ・受講者には、研修終了後に受験した TOEFL または TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。
認 定 科 目	例) グリフィス大学・長期（言語文化応用・自由）など	
単位認定申請	単位認定を必要とするものは、本人の申請により、所属学部教授会（薬学部においては教授総会）が適当と認めたものについては、本学の卒業に必要な単位として、語学研修時間相当分の認定を受けることができます。なお、認定された単位は年間履修単位数に算入されます。	
募 集 時 期	前年度の 10 月中旬	前年度の 10 月中旬
U R L	http://www.canterbury.ac.uk/	http://www.griffith.edu.au/

長期英語研修講座の概要

講 座 名	長期英語研修講座	
研 修 校	⑨ビクトリア大学 イングリッシュ ランゲージ センター	⑩ブリティッシュ コロンビア大学 イングリッシュ ランゲージ インスティテュート
研 修 地	カナダ ブリティッシュコロンビア州ビクトリア	カナダ ブリティッシュコロンビア州バンクーバー
研 修 期 間	前学期：4月初旬～7月初旬（12 週間） 後学期：9月初旬～12月初旬（12 週間）	9月初旬～12月下旬（16 週間）
滞 在 方 法	ホームステイ等	ホームステイ等
対 象	全学部生 / 留学時2年次生以上 本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績※を修得している者 ※ TOEFL-iBT 45 点以上 又は TOEIC 450 点以上	
定 員	若干名	
選 考	面接（英語力評価含む）及び書類審査	
費 用	(2017 年度予定) 授業料 約 336,000 円 ホームステイ（食事付） 約 238,000 円 合計 約 574,000 円 その他、渡航費・海外旅行傷害保険料・教材費・ 実地見学旅行代金・雑費等	(2017 年度予定) 授業料 約 557,000 円 ホームステイ（食事付） 約 322,000 円 合計 約 879,000 円 その他、渡航費・海外旅行傷害保険料・教材費・ 実地見学旅行代金・雑費等
助 成 金	当該年度の半期学費相当分（授業料・教育充実費）	
特 徴	・ Upper Beginner から大学入学準備クラスまで 6 レベルあり。（プレイスメントテスト結果による） ・ Upper Beginner から Low-intermediate クラスには基本的なコミュニケーション能力（特に speaking）を強化する。 ・ Intermediate から Advanced クラスでは、一般英語コースかアカデミックプログラムかを選択できる。 ・ 週 18 時間の授業（19 単位分に相当）。なお、選択制の追加授業も受講できる。	・ 初級から上級まで 7 レベルあり。（プレイスメントテスト結果による） ・ 英語によるコミュニケーション力、reading、writing、speaking、listening の技能を強化する。 ・ 週 20 時間の授業（28 単位分に相当）。なお、選択制の追加授業も受講できる。
認 定 科 目	例）ビクトリア大学・長期（言語文化応用・自由）など	
単 位 認 定 申 請	単位認定を必要とするものは、本人の申請により、所属学部教授会（薬学部においては教授総会）が適当と認めたものについては、本学の卒業に必要な単位として、語学研修時間相当分の認定を受けることができます。なお、認定された単位は年間履修単位数に算入されます。	
募 集 時 期	11 月下旬	
U R L	http://www.uvic.ca/	http://www.ubc.ca/

学生海外語学研修助成制度の概要

	学生海外語学研修助成制度	
区 分	⑪夏季休暇中	⑫春季休暇中
研 修 地	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏・スペイン語圏・中国語圏・韓国語圏	
研 修 期 間 (予定)	夏季又は春季休暇中の 3 週間以上 8 週間以内、45 時間以上の研修を行います。	
滞 在 方 法	本人の計画によります。	
対 象	全学部生 /1 年次生から 4 年次生 在学中に一度だけ利用可 本学指定の語学検定試験成績（下表 1 参照）を修めた者です。	全学部生 /1 年次生から 3 年次生 在学中に一度だけ利用可 本学指定の語学検定試験成績（下表 1 参照）を修めた者です。
定 員	22 名	11 名
選 考	書類審査・面接試験によります。 ※出願者は、「語学検定試験結果の証明書」「申込書」「志望理由書（本学所定のもの：1,500 字）」を提出しなければなりません。	
助 成 金	400,000 円（地域によっては 300,000 円）を上限とする。（2017 年度予定） 出発前に研修費用及び交通費の請求明細書及び領収書を国際センター課に提出してください。	
特 徴	・ 学生は、個人の責任で留学準備から帰国までの計画を自由に組む事ができます。 （ただし、研修前後の旅行は 1 週間を限度に旅行計画書を提出し、承認された場合のみ可能です。） ・ 研修先、研修期間、滞在方法についても、自由に選択することができます。 （ただし、上記研修地に限ります。） ・ 外国人は母語の言語圏を選択できません。 ・ 上記研修機関については、学生本人が選択し、国際センター運営委員会の承認を得なければなりません。 ・ 研修修了後、研修報告書の提出を義務づけます。	
認 定 科 目	「語学助成研修」（4 ～ 6 単位）	
単 位 認 定 申 請	語学研修先において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書（本学所定のもの）を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募 集 時 期	募集ガイダンス及び募集開始：4 月下旬	募集ガイダンス及び募集開始：10 月上旬

表 1 【出願資格】

	本学指定語学検定試験（いずれか 1 つでよい）	必要な成績
英 語	TOEIC Bridge（IP を含む）	150 点以上（英語英米文学科の学生は 154 点以上）180 点満点
	TOEIC（IP を含む）	470 点以上（英語英米文学科の学生は 505 点以上）990 点満点
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験	4 級以上 5 級（初級）→1 級（上級）
フ ラ ン ス 語	実用フランス語技能検定試験	4 級以上 5 級（初級）→1 級（上級）
ス ペ イ ン 語	スペイン語技能検定試験	6 級以上 6 級（初級）→1 級（上級）
中 国 語	中国語検定試験	4 級以上 準 4 級（初級）→1 級（上級）
	漢語水平試験（HSK）	3 級以上 1 級（初級）→6 級（上級）
韓 国 語	「ハングル」能力検定試験	4 級以上 5 級（初級）→1 級（上級）
	韓国語能力試験	1 級以上 1 級（初級）→6 級（上級）

※ TOEIC Bridge のスコアと TOEIC スコアとの公式な換算表の上限が TOEIC Bridge スコアの 160 点であることから、TOEIC Bridge を以って本制度に申請する場合、160 点以上の取り扱いはいずれも一律となります。（詳細は TOEIC 公式サイトを参照 <http://www.toeic.or.jp/>）
※同一年度内に助成制度と派遣留学（半年）を重複して受講することはできません。

派遣留学制度の概要

	派遣留学制度	
研 修 校	⑬ハワイ大学ヒロ校	⑭フライブルク大学
研 修 地	アメリカハワイ州	ドイツ バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク市
研 修 期 間	8月中旬～12月下旬（約5ヶ月間） 8月中旬～翌年5月中旬（約10ヶ月間）	原則として8月上旬～翌年7月下旬（約1年間）
滞 在 方 法	寮（構内または市内にあります）	寮（市内にあります）
対 象	派遣時に学部で1年以上在学している者とします。	学部生に関しては派遣時に1年以上在学している者とします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、通算半期平均15単位以上を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上を修得している者とします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※TOEFLiBTスコア61以上の取得が必要です。	※ドイツ語技能検定試験3級以上の合格者が望ましい。
定 員	5名	1名
選 考	書類審査・面接試験（日本語及び英語）によります。	筆記試験（ドイツ語）・書類審査・面接試験（日本語及びドイツ語）によります。
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 (当該年度において相互派遣の場合に限る。)	(免除される費用) ・入学金 ・授業料
	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（宿舍費・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（宿舍費・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。 同大学言語センターが提供するドイツ語講座については、留学生向けに特別に設けられた授業のみ授業料が免除されます。それ以外にかかる費用は自己負担です。 宿舍費（10月～7月）は自己負担：約3,300ユーロ（2017年度予定）。 留学生には、フライブルク大学から10ヶ月間（10月～7月）奨学金（月額：450ユーロ（2015年度実績））が支給されます。
特 徴	・1941年に設立されたハワイ島ヒロにある州立大学です。 ・多国籍の学生が集まる割合が全米の中でもトップクラスであるほど、国際色豊かな雰囲気の中で学ぶことができます。少人数クラス編成で、教授と学生間のコミュニケーションがとりやすいのが特徴です。 ・附属の英語教育機関にて、正課授業の受講に必要な語学力の向上を図ることができます。 ・ヒロは、透き通る海・世界的に有名な活火山などの大自然が豊かに広がり、日本では体験できないアウトドアアクティビティがたくさんあります。	・1457年に設立された、ドイツで最も古い大学のひとつです。 ・100以上の研究所、学科を含む11学部を擁しています。 ・学生数は約21,000人。100ヶ国以上の留学生が在籍しています。 ・フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40％は森に覆われており、自然に恵まれた中で学習できます。 ・派遣留学生には8月及び9月にSLI（大学附属の語学学校）で開講されるドイツ語研修講座の受講を義務付けます。（受講料と8～9月分の宿舍費は松山大学負担。）
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単 位 認 定 申 請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書（本学所定のもの）に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。	
募 集 時 期	2017年7月下旬～2017年11月下旬	2018年1月上旬～2018年3月中旬
U R L	http://hilo.hawaii.edu/	http://www.uni-freiburg.de/ http://www.sli.uni-freiburg.de/

* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

	派遣留学制度	
研 修 校	⑮復旦大学	⑯上海師範大学
研 修 地	中国上海市	中国上海市
研 修 期 間	9月上旬～翌年1月下旬（約半年間） 9月上旬～翌年7月下旬（約1年間）	9月上旬～翌年1月中旬（約半年間） 9月上旬～翌年6月下旬（約1年間）
滞 在 方 法	寮（構内にあります）	寮（構内にあります）
対 象	派遣時に学部又は大学院研究科に1年以上在学している者とします。	派遣時に学部で1年以上在学している者とします。
	成績については、通算半期平均15単位以上（大学院生は8単位以上）を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上を修得している者とします。
	※中国語検定試験3級以上、または漢語水平試験（HSK）4級以上の合格者が望ましい。	
定 員	1名	1名
選 考	書類審査・面接試験（日本語及び中国語）によります。	
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費（長期休暇中は有料。)
	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（宿舍費・保証金・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（保証金・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等 ・長期休暇中の宿舍費
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
特 徴	・1905年に設立された重点大学。「北の北京、南の復旦」と称される中国の名門大学です。 ・上海の東北郊外にある広大なキャンパスは、喧騒を離れ落ち着いて学習するのに最適です。 ・併設の国際文化交流学院（ICES）で中国語を学びます。（本科生が受講する学部専門科目は履修できません。）	・1954年に設立された総合大学です。言語教育に関しては中国有数の大学のひとつです。 ・留学生に対する中国語教育の長い経験を有し、毎年多くの留学生が集い学びます。 ・交通の便利がよく、自然豊かなキャンパスです。 ・教育設備も完備され、住環境もよく、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・併設の対外漢語学院で中国語を学びます。（本科生が受講する科目は履修できません。）
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単 位 認 定 申 請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書（本学所定のもの）に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。	
募 集 時 期	2018年1月上旬～2018年3月中旬	2018年1月上旬～2018年3月中旬
U R L	http://www.fudan.edu.cn/	http://www.shnu.edu.cn/

* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度の概要

	派遣留学制度	
研 修 校	⑰上海財経大学	⑱青島大学
研 修 地	中国上海市	中国青島市
研 修 期 間	8月下旬～翌年1月下旬（約半年間） 8月下旬～翌年7月下旬（約1年間）	8月下旬～翌年1月下旬（約半年間） 8月下旬～翌年7月下旬（約1年間）
滞 在 方 法	寮（中山北一路キャンパスの構内にあります）	寮（構内にあります）
対 象	派遣時に学部にて1年以上在学している者としてします。	派遣時に1年以上在学している者としてします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、通算半期平均 15 単位以上を修得している者としてします。	成績については、通算半期平均 15 単位以上を修得している者としてします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※中国語検定試験 3 級以上、または漢語水平試験（HSK） 4 級以上の合格者が望ましい。	
定 員	1 名	1 名
選 考	書類審査・面接試験（日本語及び中国語）によります。	
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費
	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（宿舍費・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（保証金・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
特 徴	・上海財経大学は 1917 年に創立され、経済や会計、金融の他、国際ビジネス、マネジメント、法学等 7 学部を擁する総合大学です。	・1924 年に設立され、1993 年に 4 大学が合併してできた山東地方で最も大きな総合大学です。
	・留学生を育成するために上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ここを窓口にて、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。	・山々を背景とした海沿いの町に白い建物が浮かび上がる美しいキャンパスを有します。
	・教育設備も完備され、住環境も良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・併設の国際文化交流学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)	・青島は夏は涼しく、冬は温暖な気候で落ち着いた環境は学習に最適です。
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単 位 認 定 申 請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書（本学所定のもの）に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。	
募 集 時 期	2018 年 1 月上旬～ 2018 年 3 月中旬	2018 年 1 月上旬～ 2018 年 3 月中旬
U R L	http://www.shufe.edu.cn/	http://www.qdu.edu.cn/

* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

	派遣留学制度	
研 修 校	⑲國立高雄大学	⑳玄奘大学
研 修 地	台湾高雄市	台湾新竹市
研 修 期 間	9月中旬～翌年1月下旬（約半年間） 9月中旬～翌年6月下旬（約1年間）	9月～翌年2月（約半年間） 9月～翌年8月（約1年間）
滞 在 方 法	寮	寮
対 象	派遣時に1年以上在学している者としてします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	派遣時に1年以上在学している者としてします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、通算半期平均 15 単位以上を修得している者としてします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	成績については、通算半期平均 15 単位以上を修得している者としてします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※中国語検定試験 3 級以上、または漢語水平試験（HSK） 4 級以上の合格者が望ましい。	
定 員	1 ～ 2 名	1 名
選 考	書類審査・面接試験（日本語及び中国語）によります。	
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費
	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む。） ・教材費 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等	(主な自己負担金) ・渡航費（査証取得費を含む。） ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費（保証金・光熱費・食費を含む。） ・教材費 ・その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費）等 ・長期休暇中の宿舍費
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
特 徴	・台湾南部での高等教育・研究機関の充実を図るため、国家政策により、2000 年に設立されました。	・台湾新竹市にある 1997 年に設立された私立大学です。
	・本科生と同じ授業を履修します。(使用言語は中国語)	・「台湾のシリコンバレー」と呼ばれる工業都市で、新竹駅ー台北駅間は、高速列車で 30 分程度の距離です。
	・外国人留学生向けの中国語補習クラスが開講されます。 ・留学生 1 人 1 人に台湾人学生チューターが付き、生活及び学習サポートをしてくれます。	
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単 位 認 定 申 請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書（本学所定のもの）に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。認定の対象科目は所属学部によって異なります。	
募 集 時 期	2018 年 1 月上旬～ 2018 年 3 月中旬	2018 年 1 月上旬～ 2018 年 3 月中旬
U R L	http://www.nuk.edu.tw/	http://www.hcu.edu.tw/

* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

■ 派遣留学制度の概要

派遣留学制度		
研 修 校	① 建 国 大 学	② 平 澤 大 学
研 修 地	韓国ソウル市	韓国平澤市
研 修 期 間	2月下旬～6月中旬（約4ヶ月間） 2月下旬～翌年2月中旬（約1年間）	2月下旬～6月中旬（約4ヶ月間） 2月下旬～翌年12月下旬（約10ヶ月間）
滞 在 方 法	寮（構内にあります。）	寮（構内にあります。）
対 象	派遣時に6ヶ月以上在学している者としします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	派遣時に6ヶ月以上在学している者としします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、通算半期平均15単位以上を 修得している者としします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	成績については、通算半期平均15単位以上を 修得している者としします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※「ハングル」能力検定試験4級または韓国語能力試験1級以上の合格者が望ましい。	
定 員	若干名	2名
選 考	書類審査・面接試験（日本語及び韓国語）によります。	
費 用	(免除される費用) ・ 入学金 ・ 授業料 (主な自己負担金) ・ 渡航費（査証取得費を含む。） ・ 海外旅行傷害保険料 ・ 滞在費（宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む。） ・ 教材費 ・ 実施見学旅行代金 ・ その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費） 等 (備考) ・ 本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(免除される費用) ・ 入学金 ・ 授業料 ・ 宿舍費（光熱費を含む。） (主な自己負担金) ・ 渡航費（査証取得費を含む。） ・ 海外旅行傷害保険料 ・ 滞在費（保証金・食費を含む。） ・ 教材費 ・ 実施見学旅行代金 ・ その他の雑費（健康診断費用・現地交通費・通信費） 等 (備考) ・ 本学に当該年度の学費を納める必要があります。
	・ 1931年に設立された民族病院、そして1946年に設立された朝鮮政治学館から発展し、1959年に総合大学へと発展。韓国有数の総合私立大学です。 ・ キャンパスはソウルと忠州市の2ヶ所にあります。 ・ 経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。	・ 1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に設立。1980年に4年制大学の認可を受け、1981年から本格始動。1996年に現・平澤大学へ改称、発展。 ・ 地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。 ・ 韓国大学教育協議会において優秀大学として認定されました。
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単 位 認 定 申 請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書（本学所定のもの）に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。	
募 集 時 期	2017年7月下旬～2017年10月中旬	2017年7月下旬～2017年10月中旬
U R L	http://www.konkuk.ac.kr/	http://www.ptuniv.ac.kr/

* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

留学準備と計画

あなたは留学の目的を聞かれたらなんと答えますか？外国語によるコミュニケーション能力を高めたい、専門分野の知識を深めたい、国際的な視野を広げたい等、留学の動機と目的を明確にすることが大切です。留学に際しては、将来を見据えた上で、留学先（国・地域）や留学期間、学習内容や習得したいこと等により、自分に合ったプログラムを選択し、計画を立ててください。

1

留学準備

留学の目的は？

留学の動機や目的を考えてみましょう。

- 語学の習得
- 視野を広げたい！
- 専門分野の知識を深めたい
- 世界各国の文化を知りたい
- 留学後は？等

留学プログラムの検討

留学オリエンテーションへ参加しましょう。

- 希望する国・地域は？
- 留学時期や期間は？
- 留学先の受講科目は？
- 予算は？

準備を始めよう

出願資格取得に向けて GO！

- 日々の学習（学業成績）
- 語学力の向上（TOEFL、TOEIC、各種語学能力試験等）
- 留学資金計画（保護者と相談）
- 情報の収集

2

留学出発の約6ヶ月～1年前

留学プログラムの選択

各種留学募集ガイダンスに参加して情報収集をしましょう。

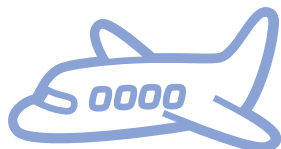
- 必要な申込書類を配布するので、必ず出席してください。
- 国際センター課では、いつでも相談を受け付けています。

出願・選考

参加プログラムが決まったら、募集要項に基づいて、必要な提出書類を準備し、締め切りに注意して提出してください。

- 面接選考は、プログラムにより個人又は集団による面接となります。

※出願までに語学能力試験等の出願資格を満たしてください。



3

留学決定後～出発直前

留学手続き

選考に合格、プログラムへの参加が決定したら、事前ガイダンスに出席。パスポート取得やビザ申請等留学に向けた手続きの開始です。

- プログラムによっては、事前研修等の受講が義務づけられています。

留学に向けて

このガイドブックや事前ガイダンスで配付する資料を熟読してください。

- 留学中は楽しい事ばかりではありません。想定外の様々な出来事が起こることもあるため、自分で乗り切るための情報収集や語学力等、十分な準備と心構えが重要です。

4

留学中

留学

健康、安全に気を付けて充実した留学生活を送れるよう日々の学習に取り組みましょう。定期報告を忘れずに！

- 大学では、留学期間中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援や危機管理体制の強化に取り組んでいます。

5

帰国

帰国準備・帰国報告

- 修了書を必ず研修機関で発行してもらってください。
- 単位認定を希望する場合は、研修機関の成績証明書を発行してもらってください。
- 帰国後1週間以内に、国際センター課に来課してください。
- 学習成果をまとめた「研修報告書」（本学所定）を作成し、提出してください。

留学経験を今後の学生生活において活かしてください。

単位認定の申請

- 単位認定申請書及び成績証明書を提出してください。単位が認定されれば、卒業単位として認められます。
- 詳しくは、P.30 を参照してください。

申込み

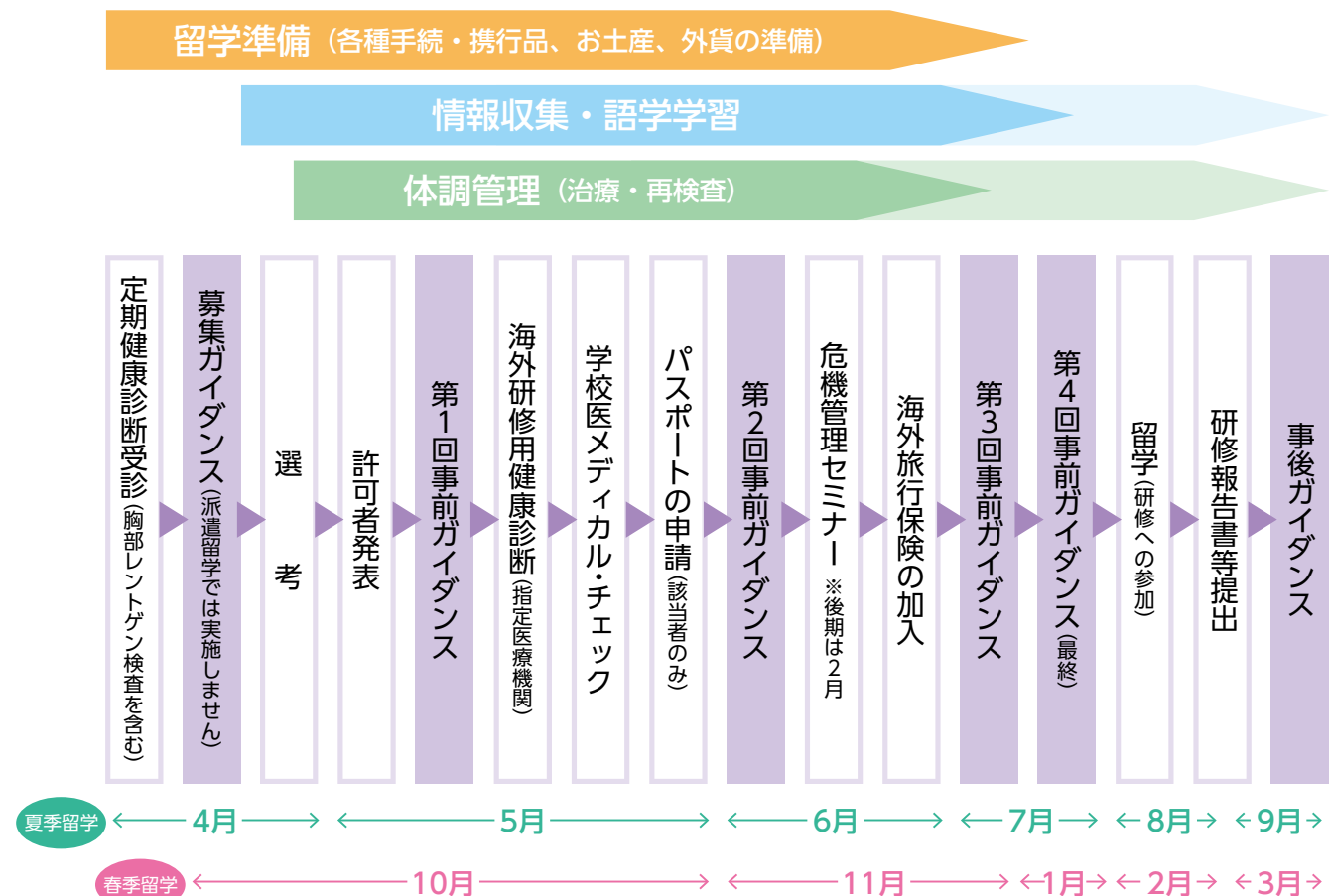
受講許可後
（事前準備）留学中及び
研修後の手続き研修報告書
短期語学研修講座研修報告書
長期英語研修講座研修報告書
学生海外語学研修
助成制度（春季・夏季）研修報告書
派遣留学制度

事前ガイダンスの実施

各プログラムの参加許可者に対して、3～4回程度の事前ガイダンスを行います。留学までの準備や提出書類等について、順次説明します。留学準備から帰国までのスケジュールは各プログラムにより異なりますが、共通した主なスケジュールは下記の通りです。

個人で留学する際にも参考にしてください。

1.許可後のスケジュールについて



2.パスポートの取得申請について

パスポートは、海外において国籍・身元を証明する唯一の公文書です。研修中は絶対に他人に預けず、自己責任により厳重に管理してください。

愛媛県内の旅券申請窓口は、**住所（住民登録）のある市役所・町役場**となります。ただし、松山市では住民票が松山市になっても申請可能な場合があります。詳細は松山市パスポートセンターに確認してください。市町によって旅券窓口の受付時間が異なりますので、詳細は市町のホームページで確認してください。

申請手続きは、「一般旅券発給申請書」（所定用紙）と、旅券申請に必要な書類と一緒に旅券窓口へ提出してください。申請書は、旅券窓口においてあります。

パスポートの残存有効期限を必ず確認し、留学期間に有効期限が切れる場合は、速やかに更新手続きをしてください。

外務省旅券申請案内

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/index.html>

松山市パスポートセンター

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/siminbu/passport.html>

パスポートの申請準備から取得まで

申請に必要なもの A～Dすべて原本 ※コピー不可

A. 戸籍抄本又は謄本…1通

- (1) 申請日前6ヶ月以内に発行されたもの
- (2) 戸籍謄（抄）本は、本籍地のある市町村で手に入ります。
※本籍が遠く離れている場合は郵送で請求することもできますので、市町村に問い合わせてください。

B. パスポート用の写真…1枚

- (1) 申請日前6ヶ月以内に撮影したもの
- (2) 正面、無帽、無背景
- (3) 縦 45mm × 横 35mm（縁なし）
- (4) カラーでも白黒でも可

C. 本人確認書類 ※（1）か（2）のいずれか

- (1) 1点で良い書類…運転免許証
- (2) 2点必要な書類…（ア）健康保険被保険者証 （イ）写真が貼ってある学生証
※本人確認書類は、必ず有効な原本を提示してください。（コピー不可）

D. 一般旅券発給申請書…1通

申請書には、10年用と5年用があります。申請日に20歳以上の方は、10年か5年のパスポートを選択できます。20歳未満の方は、5年用のみです。
※申請者が未成年者の場合は、申請書裏面の法定代理人署名欄に、親権者又は後見人の署名が必要です。

パスポートの受領について

パスポートは、通常申請後から受領まで標準で7日程度を要しますので、指定された受領日以降に次の点に注意し受け取ってください。

- ・パスポートの受領は申請者本人のみ可（代理人による受け取りは不可）
- ・パスポートの受け取りは申請窓口へ
- ・受け取りの際に必要なもの
 - (1) 申請時に渡される旅券申請受理票（一般旅券受領証）
 - (2) 手数料 5年旅券：11,000円／10年旅券：16,000円

パスポートを受取ったら

- ・受け取り次第、パスポートの最後の頁にある「所持人記入欄」を記入してください。

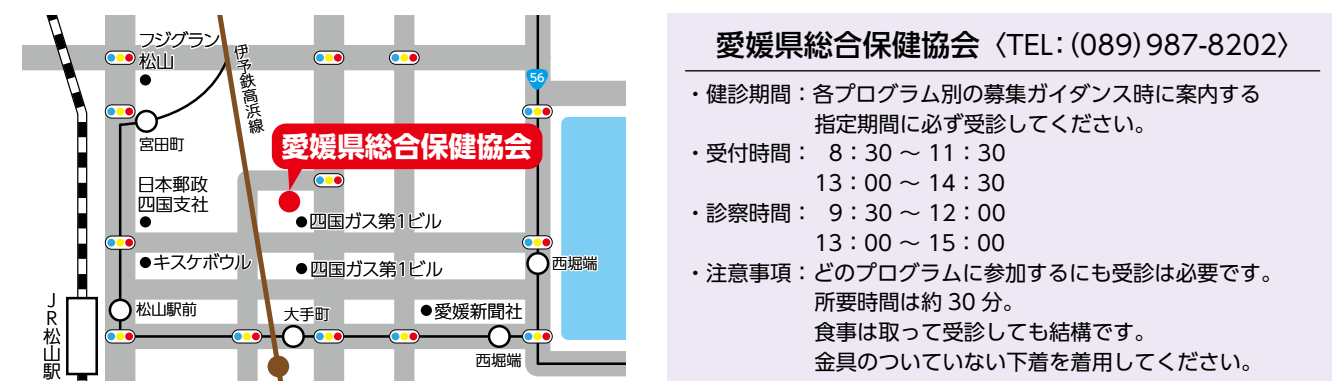
3.健康診断について

各種語学研修プログラムの参加者全員に対し、年度初めの「定期健康診断（胸部レントゲン検査を含む）」と「追加項目（心電図、血圧、血液検査等）の健康診断」の受診を義務付けています。それらの結果を基に、学校医が留学の可否について総合的に判断（メディカル・チェック）します。メディカル・チェックの結果によっては、受講許可を取り消す場合もあります。

大学プログラムによる海外研修・派遣留学を予定している方は、年度初めの定期健康診断において、希望者のみ実施する胸部レントゲン検査（定期健康診断では大学が費用負担・無料）を必ず受診してください。

海外研修参加のための健康診断（追加項目）

- ・海外研修のための追加項目用健康診断書（大学所定様式）を持参し、募集ガイダンスや事前ガイダンスで指示された期間内に受診してください。
- ・受診費用：約 4,000 円～ 6,000 円〈自己負担〉
- ・定期健康診断で、胸部レントゲン検査を受検していない場合には、追加で受検していただきます。
- ・既往症がある場合には、必ず診断時に医師に申出てください。（申出がない場合、海外旅行傷害保険が適用されない場合があります。）
- ・健康診断結果は保健室宛に直送されるため持ち帰る必要はありません、写しをガイダンスで返却します。



4.ビザ(査証)について

プログラムによっては、留学先の政府機関に留学ビザ（査証）を申請し、入国（滞在）許可を取得することが必要となります。ビザの要・不要や申請手続きは留学先の国によって異なりますので、必要に応じて、各国の在日大使館又は領事館等に問い合わせた上で手続きを行ってください。

5.海外旅行傷害保険について

① 個人契約によるもの（掛金自己負担）

語学研修プログラムに参加する場合は、本学指定の海外旅行傷害保険に加入することを義務付けています。この保険は、留学中の不測の事態において、治療・救援費用、賠償責任、携行品損害、傷害死亡、疾病死亡、傷害後遺障害及び偶然事故対応費用が補償される保険です。ただし、留学前からの既往症については、原則として保険の対象とはなりません。既往症がある場合は、自身で一切の責任を負うことを承諾の上、参加して下さい。

また、私的な活動時間は除いて学生教育研究災害傷害保険が適用されます。

② 大学契約によるもの（掛金大学負担）

本学では、留学中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援と危機管理を目的として、学校法人松山大学が契約者となり保険に加入しています。

6.外貨の準備について

現地で利用する外貨への換金方法については、留学先を考慮し下記の①現金と併せて、②～④を参考にしてください。

①現金

- ・銀行（ゆうちょ銀行含む）、空港や市中の両替所等で両替可能です。
- ・場所によって両替レートや手数料が異なります。
- ・金融機関や支店によっては取り寄せる必要がありますので、すぐに外貨が手に入らない場合があります。
- ・一定の金額でのパック販売を行う場合があります。

②クレジットカード

- ・クレジットカードの申し込み方法・使用方法等は下記サイトを参照してください。
【一般社団法人日本クレジット協会（クレジットの基礎知識）】
URL：http://www.j-credit.or.jp/customer/basis/index.html
- ・申し込みから発行まで約 1 ヶ月かかることがあります。
- ・海外で通用度の高いクレジットカード会社を選んでください。
- ・IC チップ内蔵カードの場合、支払いにはサインの代わりに申し込み時に設定した暗証番号が必要です。番号を忘れた場合、基本的に電話によるクレジットカード会社への問い合わせは不可です。
- ・クレジットカードの「番号」、「有効期限」、「名義人名」、「暗証番号」等を安易に第三者へ教えないでください。
- ・希望者は保護者に相談の上、申し込みを行ってください。

③キャッシュパスポート <http://jpcashpassport.jp>

- ・あらかじめ日本円でチャージしておけば、現地の ATM から現地の通貨で引き出すことが可能です。
- ・対象となる通貨は限られています。
- ・現地で使用できる ATM は決められています（MasterCard マークのあるところ）。

④その他（注意事項）

- ・予定外の出費等を含めて余裕を持って予算を組んでください。
- ・多額の現金を持ち歩かないでください。

長期(半期以上)プログラム参加者の履修登録と単位認定について

出願前

入学時に配布された学生便覧を参照し、単位の修得状況と履修状況、留学によって修得が可能な科目を念頭に置き、4年間で卒業所要単位を満たすことができるか検討してください。専門科目、ゼミや卒論等、所属学部のカリキュラムによっては、留学予定年次に影響が出る可能性もあるため、必ず事前に教務課に相談してください。

履修登録

前期出発

1年間の留学の場合、前学期・後学期共に本学での履修登録はできません。ただし、前学期のみ留学する場合は、後学期の履修登録が可能です。

後期出発

4月に在学年次の履修ガイダンスを受けてから、前学期科目と集中講義の履修登録が可能です。通年科目と後学期科目の履修登録はできません。

留学前

留学中

単位認定に必要な書類（シラバス、時間割、教科書、その他配付資料等）を保管し、帰国時に確実に持ち帰ってください。

単位認定申請

単位認定を希望する場合は、所定の期日までに下記書類を国際センター課へ提出し、所属する学部教授会により単位が認定されることがあります。

※プログラムによっては、派遣先の大学に成績証明書（本学所定）を申請する必要がありますので注意してください。その際は、事前に申請し、記載事項を確認した上で受け取り、帰国時に持ち帰ってください。

必要書類例

- ①単位認定申請書（所定様式）
- ②留学先大学の公式英文成績証明書
- ③留学先の科目のシラバス
- ④時間割
- ⑤留学先の学事暦
- ⑥各科目の授業内容説明書（任意様式）

単位認定は、留学先での修得科目の講義内容及び授業時間数を勘案して判断します。なお、認定対象として申請できる科目は所属学部で開講されている科目に限ります。

帰国後

留学中の手続き

到着／帰国の報告・定期連絡

現地に到着したら、速やかに日本の家族と国際センター課に到着の報告と滞在先を連絡すると共に定期連絡をするように心掛けてください。また、メールのチェックも怠らないようにしてください。

なお、住所を変更した場合や寮・ホームステイ等の宿舎を一時的に出なければならない場合、留学中の旅行等の場合も必ず滞在先の連絡をしてください。

全員、定期的にメールにて近況報告を行ってもらっています。（詳細はガイダンスで説明）これにより、現地での状況を把握しますので、必ず連絡を滞らせないようにしてください。

大学でも海外旅行傷害保険に加入していますので、原則としては、その加入期間内に帰国をしてください。また、帰国日については、事前に国際センター課まで連絡してください。

松山大学国際センター課

TEL : +81-89-926-7148 / FAX : +81-89-926-7151
E-mail: mu-international@matsuyama-u.jp



在留届の提出など注意事項

①在留届

留学先に着いたら、直ちにインターネットを通じて領事館に「在留届」を提出してください。領事館は邦人の保護を第一の任務としています。何かあればすぐに領事館に連絡するようにしてください。法律により外国に3ヶ月以上滞在する場合は「在留届」の提出が義務付けられていますので、「長期英語研修講座」及び「派遣留学制度」は必ず手続きを行ってください。インターネットから在留届を提出する場合は「在留届電子届出システム（ORRnet）」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

また、3ヶ月未満の渡航「短期語学研修講座」「学生海外語学研修助成制度」については、外務省海外旅行登録「たびレジ」にて登録を行ってください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

②留学期間の変更／延長について

各年度の新規応募者が優先されるため、留学期間を延長することは原則として認められません。



海外での安全対策〈危機管理と健康管理〉

近年、海外では暴動や内乱、テロをはじめ、大規模な地震・台風、伝染病や交通事故といった様々な事件・事故が多発し、日本人留学生がそのトラブルに巻き込まれる事件・事故が急増しています。

留学先での自分の安全確保は、自分自身による“危機管理能力（情報収集力・判断力）”で左右されます。

そのことを踏まえた上で、出発前に十分な調査と心構えをしておいてください。留学先でトラブルに直面した場合は自分の判断・責任で対応しなければならないため、個人としてできる予防策を講じておく必要があります。留学前に情報を収集したり、出発前のガイダンスや危機管理セミナーに参加したりして、“危機管理能力”を高めておいてください。また、身の回りに起こりうるトラブル（事件・事故）に対してだけでなく、“健康管理能力”も高めるよう心がけましょう。

有意義な留学生活を送るためには、日本にいる時とは異なる『知識』と『意識』が必要です。

情報収集の重要性

出発前に安全管理マニュアル等の書籍を読んで理解していれば、海外での80%の危険が防げるといわれています。例えば留学先の緊急時連絡先（救急車や警察等）を知っているか、知らないかでは安全度が大きく違ってきます。

事前に留学先の状況について情報を収集し、分析しておくことが重要です。

海外での安全管理に関する書籍を購読し、説明会があれば必ず参加しましょう。

また、外務省「たびレジ」に渡航日程・滞在先・連絡先を登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などを受け取ることができます。3カ月未満の短期渡航の場合は、「たびレジ」登録を必ず行いましょう。

外務省海外安全ホームページ（外務省）
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>
たびレジ（外務省）
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index>
世界の医療事情（外務省）
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

【安全面】留学先の治安、犯罪の傾向、政治情勢、衛生状況、自然災害の頻度等

【文化面】習慣・国民性・歴史やその国の過去の報道内容等

【生活面】大学と住居の距離、通学手段や要する時間、生活用品の購入環境、病院・薬局、IT環境等

世界各国（研修地・派遣留学先）の緊急電話番号一覧

連絡先 国名	警 察	救急車	消防署	交通事故	備 考
イギリス	999 または 112			—	2006 年より緊急を要しない場合の警察への通報先として、イングランドとウェールズの一部地域で 101 が供用開始されました。ガス漏れ：0800-111-999、NHS ダイレクト（医療相談）：08-45-46-47
カナダ	911（国内共通）			—	緊急を要しない場合（一部地域）：311 地方の一部では 911 サービスが不十分な地域も存在します。
アメリカ	911（国内共通）			—	緊急を要しない場合（一部地域）：311、携帯電話から：112 地方の一部では 911 サービスが不十分な地域が存在します。
オーストラリア	000（国内共通）			—	携帯電話から：112、000 または 08、テキストフォン・TTY（テレタイプライター）から：106（National Relay Service）

連絡先 国名	警 察	救急車	消防署	交通事故	備 考
ドイツ	110 または 112	112		—	—
中 国	110	120 ※ 1	119	122	—
台 湾	110	119		—	緊急事件・事故の場合 02-2556-6007（台北市）
韓 国	112 ※ 2	119 ※ 3		—	事件・事故に遭った場合には、大使館領事部や総領事館にも連絡してください。 （助言や可能な範囲での支援等を受けることができます）

※ 1 北京は 999 も使用可 携帯から 112
※ 2 電話通訳サービスあり 7 時～22 時まで
※ 3 救急医療センター 1399 日本語可

海外旅行傷害保険 （留学保険・医療保険） への加入

十分注意しているつもりでも事故にあったり病気にかかったりする可能性があります。現地の病院で受診・治療すると非常に高額になり、思わぬ出費となります。

留学に際しては、必ず海外旅行傷害保険に加入してください。

クレジットカードに付帯してある海外旅行傷害保険は、保険範囲や担保内容が限られていたり、保険金額や補償額が小さかったりする場合がありますので、このような保険のみに頼らないようにしてください。

信頼できる 相談相手を見つける

安全管理は、情報を共有、交換できる友人や世話人を見つけることが第一の方法です。一人で悩まず、留学（語学研修）先大学の国際センターのスタッフやアドバイザーに何でも相談してください。また、人との付き合いの中で情報収集に努めると共に、異常や問題が起こった時にはすぐに相談してください。また、緊急の場合は松山大学国際センター課へ連絡をしてください。

日本人や日本語を話せる人が住んでいたり、地域によっては日本語の新聞が発行されていたりするところもあります。留学先では所在を常に明確にし、在外公館（大使館、領事館）の連絡先や助けを求めやすい日本人会や日本企業の現地支店等も確認しておく、緊急の際には、援助を依頼することができます。

「もしもの時」の 対応について

万が一、強盗等に遭った時は絶対に抵抗してはいけません。相手は興奮している場合もあり不意な行動は大変危険です。

海外犯罪者から見た日本人の印象は、金持ち（現金を携帯している）、警戒心が欠けている、現地の言語が下手、性格がおとなしい、被害に遭っても反撃をしない等のことから、狙われやすい対象であるといわれています。危険地帯には立ち入らない、夜道を一人では歩かない、現金を多く持ち歩かない、現金を人前で見せない等、危険を回避するよう常に心掛けましょう。

事件が起こってからでは遅すぎます。

事前の健康診断 について

本学では、全てのプログラムの参加者に留学前の健康診断を義務付けています。本学で4月に行われる「定期健康診断」は勿論のこと、追加項目（心電図、血圧、血液検査等）を受診することも義務付けています。それらの結果をもとに、学医に留学の可否について総合的に判断してもらうメディカル・チェックを行います。普段から健康には留意して、栄養バランスの取れた食事、適度なスポーツ等、規則正しい生活を心掛けてください。

留学前からの既往症がある場合は、研修参加申請時に提出する問診表にて必ず申告してください。

現地の医療事情 について

留学先によっては医療情報や病状の意思疎通が不明確な患者については、誤診の際の損害賠償が厳しい等の理由で、医師が適切な医療を行ってくれない場合があります。既往症があり治療や経過観察をしている場合は、主治医に相談のうえ、その病気や治療法に関する「英文診断書」を依頼して持参しましょう。（留学先の言語、または英語で書くことが望ましいですが、日本語のものでも役に立ちます。）

また、医療機関が見つからない場合に備えて、常備薬を多めに持参するようにしましょう。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、出入国時（検疫）等で問題が起こらないように必ず医師の「英文薬剤証明書」が必要です。世界各国で薬の取締りに関する厳格な法律があります。

海外で歯が痛むと、予約が直ぐに取れなかったり、高額な治療費を請求されることもありますので、**留学2ヶ月前前までは歯科検診を受診し、必要な治療を終わらせる**ようにしましょう。

日本旅行医学会 <http://www.jstm.gr.jp/>

病気にかかって しまったら…

海外では気候の違い、生活リズムや食生活の乱れ、ストレス等から体調を崩しやすくなりがちです。また、抵抗力が下がり、病気にかかりやすくなります。病気になった時にはすぐに医者に診てもらうとともに、重大な疾病の場合には帰国する勇氣も必要です。また、風邪薬・鎮痛剤等は慣れているものを持参しましょう。

病気や怪我をした時のために、予め信頼できる医療機関を確認しておきましょう。留学先の大学の医療機関や大学指定の病院もありますが、日本語のわかる医療機関を確認しておいてください。(海外旅行傷害保険に加入すると日本語で受診でき、キャッシュレスが可能な医療機関が記載された小冊子が配付されます。)

麻薬・覚醒剤 について

若者を中心に麻薬・覚醒剤がかなり広まっています。タバコより害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本人旅行者の中にも気軽に手を出す人がいます。

しかし、あらゆる麻薬・覚醒剤は違法な薬物です。また、麻薬の売買には凶悪な犯罪組織が背後で糸を引いていることもあり、犯罪に巻き込まれる可能性が大きくなります。気軽な好奇心から手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけなければなりません。

通信手段の 確保について

皆さんが海外に留学中、日本にいるご両親をはじめとして大学関係者や友達等を安心させるためにも次の点に配慮してください。

まず現地に着いたら「無事到着しました」と家族及び大学に連絡し、その後も定期的に現況連絡を忘れないようにしてください。**また、大きな災害や事件・事故等が発生した場合は、いち早く「無事です」という連絡を必ず入れてください。**緊急時の安否連絡は重要なため電話・ファックス・電子メール等の通信手段を確認・確保することが大切になります。

留学中の旅行 について

留学中の国内旅行や移動の際は下記の点に注意してください。航空機利用の際は、航空会社の選定等にも十分考慮して、安全を最優先させてください。「対策・予防」こそが最良の危機管理・健康管理 → 留学前・後の留学先の「情報収集」を心がける。

感染症関連情報（外務省海外安全ホームページ）

http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html

海外渡航者のための感染症情報（厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ）

<http://www.forth.go.jp>

現地の法律について

日本の喫煙・飲酒可能年齢は共に 20 歳ですが、例えばアメリカでの喫煙可能年齢は 18 歳、飲酒可能年齢は 21 歳と異なります。また、1ヶ国の中でも州ごとに法律が異なることも多々見受けられます。

海外に留学の際は、生活に関わる現地の法律を必ず事前に調べ留意してください。

自動車・オートバイの 運転について

留学中は現地での自動車・オートバイの運転は認めていません。慣れない海外での車の運転は大変危険です。道路標識や法律が異なるため、本人がいくら注意しても避けられない交通事故やトラブルに巻き込まれる可能性が高くなり、交通違反・事故を起こして警察に身柄を拘束されたり逮捕されたりする場合があります。賠償責任、保釈金や弁護士等は膨大な費用となる上、法的な手続き等も留学生活に大きな負担を与えてしまいます。

① 最悪の事態に備え、あらゆるトラブルを解消するための手段や連絡先を常時携帯する。

1. パスポート（日本大使館もしくは総領事館）
2. 航空券（購入先の航空会社・旅行会社）
3. 各種クレジットカード（カード発行会社）
4. 海外旅行傷害保険証書（保険加入会社）
5. 救急や警察署の電話番号（松山大学生協：CO-OP デスク）
6. 各大学の担当者と連絡先（松山大学・研修校）

② 現地では、行動三原則を徹底する。

1. 『目立たない』・・・派手な行動や身なりを慎み、軽率な行動は取らない。
2. 『持ち歩かない』・・・多額の現金を持ち歩かない。高価な物品を身につけない。
3. 『用心を怠らない』・・・普段と違う環境の中、警戒心を忘れない。安易に他人を信用しない。

安全を脅かしそうな地域に立ち寄らない。

＊その国での法令遵守は勿論、常に自己責任の意識を持つことが安全対策に繋がる。

③ 普段から、規則正しい生活と健康管理に気をつける。

1. 留学数日前には、現地での生活に準じ、体を慣らす事が大切である。（食習慣、時差や気象の変化に伴い、体調不良になることがある。）
2. 言葉・文化や慣習等の環境の変化に伴い、ストレスを感じたり、問題が起こったりした場合は、一人で悩まず、自分の身の回りにいる友達や留学先大学の国際センター課スタッフ、アドバイザー、担当の先生に相談する等して、ストレスをためないようにする。

基本的な心構えとして一番重んじるべきことは、『自分の安全は自分自身で守る！』

帰国及び帰国後の手続き

帰国の報告

帰国後、到着時に国際センター課に報告をしてください。

成績証明書

①派遣留学制度

派遣期間が終了したら、それぞれ派遣先の大学より成績表が送付されますので、派遣留学生本人が成績表を持ち帰る必要はありません。留学先で修得した科目の単位認定を希望する場合は、帰国後に所定届出用紙にて申請してください。

②長期英語研修講座及び

学生海外語学研修助成制度参加者

研修期間が終了したら、大学から持参した所定の用紙に成績及び受講時間等を記入してもらい持ち帰り、国際センター課に提出してください。

③短期語学研修講座参加者

研修期間が終了したら、それぞれ派遣先の機関より大学が送付した所定の用紙に成績表が記載され、国際センター課に送付されますので参加者が成績表を持ち帰る必要はありません。

語学試験の受験 (長期英語研修講座の場合のみ) 【帰国後】

長期英語研修講座の場合は、帰国した当該年度末までに語学試験を受験し、スコアを提出してください。

留学終了月以降に受験したスコアの提出に限ります。(英語：TOEFL もしくは TOEIC)

最新の研修機関案内 (学生海外語学研修助成 制度参加者の場合のみ)

授業の内容や講義時間、単位数等を記した資料があれば持ち帰るようにしてください。

研修報告書(帰国後)

研修参加者には「研修報告書」の提出を課しており、それらを参加希望者用参考資料として「留学ガイドブック」や「松山大学オフィシャルサイト」等に掲載しています。

各種募集ガイダンス (OB/OG 懇談会)等への参加 【帰国後】

現地で体験した「生の声」は、研修に参加する学生にとって一番の情報になりますので、次年度の事前研修ガイダンスにおいて、体験談等の発表をお願いすることがあります。

研修終了後の提出物について

研修報告書は以下の要領に基づいて、期日までに提出してください。

1 印刷物提出

(②の写真台紙及び④は配付されます。)

① 研修報告書 … A4・3 枚 (雛形あり)

② 写真6枚 … 写真台紙・1枚

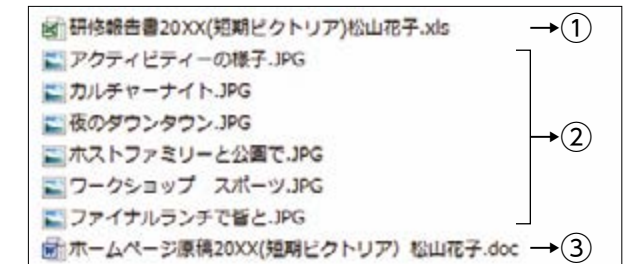
③ ホームページ原稿 … A4・1枚 (自由形式)

④ 提出物取扱同意書 … A4・1枚 (用紙あり)

2 データ提出

(①～③を USB 等に保存して提出)

※データ移行後その場で返却



提出方法

① 研修報告書 (Excel ファイル)

●オフィシャルサイトから該当する雛形(エクセルファイル)をダウンロードした上で入力してください。

オフィシャルサイト⇒国際交流(国際センター)⇒各種提出物(所定様式)

●記入する内容は、次のページの『作成のポイント』を参考にしてください。

(1) 印刷物提出

必ず印刷したもので誤字や脱字を確認してください。

(2) データ提出

ファイル名を変更して提出してください。(上図参照)

⇒「研修報告書 年度(研修プログラム名)※氏名」

例:「研修報告書 2017(短期ソウル) 松山花子」

② 写真6枚 (JPEG ファイル等)

●撮影した中から様々な場面の写真6枚を選び、提出してください。

(1) 現像済写真提出

台紙にファイリングし、それぞれのタイトルとコメントを台紙の罫線部分に記入してください。

(2) データ提出

台紙に書いたタイトルをファイル名にして提出してください。(上図参照)

(注) デジタルカメラではなく、フィルムカメラで撮影した場合は、(1)のみ提出してください。

③ホームページ原稿 (Word ファイル)

●Word 文書で 200 ～ 300 文字の文章を作成してください。
[ツール]メニューの[文字カウント]機能で文字数を確認できます。

●本文の前に「学部学科・氏名」を記載してください。

(1) 印刷物提出

そのままホームページに掲載されますので、必ず印刷したもので誤字を確認してください。

(2) データ提出

ファイル名を変更して提出してください。(上図参照)

⇒「ホームページ原稿 年度(研修プログラム名)※氏名」

例:「ホームページ原稿 2017(短期ソウル) 松山花子」

④ 提出物取扱同意書 (印刷物提出のみ)

国際センター課は、これらの提出物を同意書に挙げた目的以外で使用することはありません。熟読し、署名の上、提出してください。

研修プログラム名

短期カンタベリー	長期ビクトリア	派遣上海財經
短期ビクトリア	長期ブリティッシュ コロンビア	派遣青島
短期フライブルク	助成夏季	派遣高雄
短期ブルゴーニュ	助成春季	派遣玄奘
短期上海	派遣ハワイ	派遣建国
短期ソウル	派遣フライブルク	派遣平澤
長期カンタベリー	派遣復旦	
長期グリフィス	派遣上海師範	

「研修報告書」作成のポイント

「研修報告書」は、次の項目別に記載し、全てのシートを完成させてください。
(空欄がある場合や記載内容が少ない場合は再提出となることがあります。)

① この研修で必要とした費用について

- ・わかる範囲内で留学にかかった費用を記入する。

② 研修機関及び授業内容について

- ・研修機関（大学）の概要、構内、施設、周辺の様子等の感想を記入する。
- ・具体的な研修内容が分かるよう、実際に行われたことを記載。

【例】

クラス分けテストの内容、どのようなクラスに分けられたか。

授業では何を目標にどんなところに重点がおかれて行われていたか。

時間割について。

特徴的なプログラムや、講師の教え方の特徴について等。

③ 生活全般について（衣・食・住等）

- ・ホームステイ、寮（間借り）、ホテルの場合は、その様子や現地での生活等。
- ・その国の食事や季節に応じた服装についても記入。

④ 休日・余暇の過ごし方

- ・放課後や週末等の休みの過ごし方、研修校企画の課外活動等。

⑤ この研修で得たもの・学んだもの

- ・この研修ならではの特色やポイント、研修を通して得た所感等。

⑥ 後輩へのアドバイス・参考になった文献紹介

- ・今後、参加を希望する後輩へのアドバイス等。
- ・事前に参考にした資料や研修先に持参した文献等の紹介。

⑦ 受講した授業及び語学研修コース

- ・受講した授業や語学研修コースについてできるだけ詳細（科目名、時間数、期別等）に記入してください。

⑧ その他

- ・①～⑦までに記入できなかった感想、意見、提案等。

センパイの留学体験を覗いてみよう！

研 修 報 告 書

短期語学研修講座 P.40

長期英語研修講座 P.52

学生海外語学研修助成制度(春季・夏季) P.56

派遣留学制度 P.80

あなたはどのような留学生活を送りたいですか？

知らない土地での生活は不安もあるでしょう。

しかし、それ以上にかけがえのない体験が生まれるはずです。

先輩たちの留学体験を参考に、

自分自身の留学生活を考えてみましょう。

※掲載されている学年は、研修出発時のものです。

イギリス

カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University



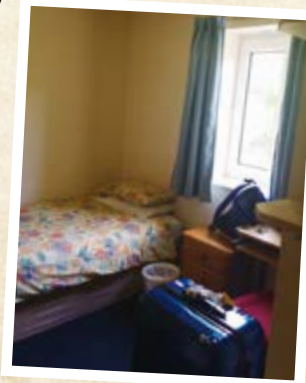
経済学部 経済学科
3 年次生
右手 雄飛
(私立帝京富士高等学校出身)
Ute Yushi



研修機関や授業

勉強していると思わずに
楽しんで学べる。

カンタベリークライストチャーチ大学 (CCCU) は、世界遺産であるカンタベリー大聖堂のすぐ近くにあり、歩いて5分のところにはレストランやカフェ、ショップなどが立ち並びショッピングストリートがあり、買い物するのにも困ることはなく、カンタベリーは治安の良い町なので環境は良い所でした。授業の時間割は、1限目から3限目まであり、1限目が午前9時から始まり、30分休憩をはさんで2限目があり、その後昼休みをはさみ、3限目は午後3時半に終わりました。授業の内容は、1限目が主に教科書を使った授業で、2限目が様々な話題について議論などをしたりする授業で、3限目は、listening や speaking などの自分が特に伸ばしたいスキルに応じて選択した授業でした。クラス分けテストは、簡単な面談でした。CCCUでの授業は、席に座ったまま、先生の話を聞く日本の授業とは違い、どの授業も基本的に席を立て、ペアやグループで他の生徒と話し合ったり、ゲームをしたりするので、英語を勉強していると思わずに楽しんで学ぶことが出来たのが魅力的でした。また、自分の意見を言うことが重視されるので、意見を言う積極性も身に付きました。



▲寮の部屋

衣・食・住

物価が高いので外食を控えて自炊。

イギリスは、一日に四季があると言われるように、朝晩や天候によって、気温が全く違ったので、服装は苦労しました。また、雨が降ることが多く、朝晴れていても昼には雨が降っているなんてこともよくあったので、ウインドブレーカーは必需品でした。寮は、寮の中にも部屋が区切られており、大体3-4人で1つのキッチン、シャワー、トイレが共同でした。寮は、タオルなどは用意されており、洗濯機もあります。一週間に一度掃除などをしてくれます。食事は、朝はスーパーで買ったシリアルやパンを食べました。昼食は、学食を利用したり、街にでてフィッシュアンドチップスやハンバーガーなどを食べるに行ったりしました。夕食は、イギリスは物価が高いので、出来るだけ外食を控えて、寮の友達と材料を買いに行き、自炊をしていました。寮には、最低限の食器と料理用具しかないのが難点で、調味料とかも全くなかったため、荷物に余裕があれば、食器などと一緒を持ってきたら良かったと思います。日本からは、インスタント味噌汁を持って行きましたが、とても重宝したので、他にもインスタントラーメンなど簡単に作れる食材があればもっと良かったなと思いました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：カンタベリー
- 研修期間：2015 年 8/24 ~ 9/11 【19 日間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費 (滞在費含む) 409,004 円
- ・渡航準備・査証取得費 20,000 円
- ・食費 50,000 円
- ・交通費 20,000 円
- ・その他 5,000 円
- <合計> **504,004 円**

休日・余暇の過ごし方

サッカー観戦やミュージカル鑑賞、観光など。

放課後は、カンタベリー市内を散歩したり、お店が結構早い時間に閉まるので、夕食の買い物などもしていました。また、ほぼ毎日研修校のアクティビティがあり、アクティビティでは外国人ともコミュニケーションをとれますし、映画を見たり、ゲームをしたり、パブに行ってお酒を飲んだり、スポーツセンターでバスケットボールやバドミントンなどもしました。アクティビティがない日には、友達と寮でテレビを見たり、散歩したりパブに行ったりして過ごしました。金曜日は、授業が午前中で終わるので、カンタベリーから比較的近いドーバーに行って、海の綺麗な景色を観たりすることも出来ました。週末は、事前にバスを予約すると、お得に他の都市まで行けたので、何度もロンドンにサッカーやミュージカルを観に行ったり、観光や買い物など様々なことをしに行きました。他にもアシュフォードにあるアウトレットに行ったりもしました。寮は、門限がなかったため、遅い時間までロンドンなどで観光したり、日々のアクティビティにも気軽に参加出来たので良かったです。



▲カンタベリーの帰り道



思い出スナップ



▲サッカー観戦



▲ドーバー

得たもの・学んだもの

自分の意見を発言することが重要。

カンタベリーは、治安もよく、現地の人もとてもフレンドリーです。小さな町なので、何度か同じ店に行くと現地の人と顔なじみになることが出来たりして、英語で話せる機会も作りやすと感じたので留学するにはとても良い環境だと思いました。研修の最初の頃はどうしても自信がなくて、発言なども緊張してできないことがありましたが、CCCUの先生方は、英語を上手に話せてくても、しっかり理解してくれようとしてくれますし、授業は、ペアやグループワークが主なので、とにかく自分の意見を発言することが重要だと授業を受けるにつれて、より思うようになりました。その結果、授業でも発言する回数が増え、先生とも休憩時間から積極的にコミュニケーションをとることができました。また、授業外でも英語で尋ねたりすることに抵抗がありましたが、次第になくなりましたし、たとえ伝わらなくても大丈夫だというポジティブ思考を持てた気がします。



▲パブ

後輩へのアドバイス!

様々な外国人がいるパブがお勧め。

カンタベリーは小さな町ですが、街に行けば大抵の物は揃えることは出来ますし、生活するにあたって特に不自由だとは思いません。現地の人と交流したいと思う人は、私はパブに行くことをお勧めします。パブには、様々な外国人がいて、結構フレンドリーに話することが出来ます。話すことが苦手な人は、友達と行ったり、お酒を少し飲めば、頑張れるはずです (笑)。カンタベリーに研修しに行くにあたり参考にしたいものは、やはり実際に研修に行かれた先輩方の声や感想です。私は寮を希望したのですが、周りはホームステイの方ばかりだったので不安だったのですが、研修に行かれた方のアドバイスなどを聞くと、期待や楽しみが増えまし、とても助かりました。またカンタベリーだけでなくロンドンなど他の都市にも観光する際は、イギリスに関しての本や地図を一冊持って行くと、観光や計画を立てる際に非常に役に立ちます。



▲卒業式

もう一言!

ネイティブの人と交流することはとても楽しい。

私は、今まで英語にはどうしても苦手意識があり、英語の勉強も嫌で仕方ありませんでした。しかし、今回短期語学研修に参加することで、他大学の友達を作ること出来まし、何ととってもネイティブの人と交流することがとても楽しく、もっと自分が英語を聞き取れて話せたらどんなに楽しいだろうと改めて思われまし、改めて英語を勉強していこうと思うことが出来たのでとても良かったです。また、研修が不安なく過ごせたのも、安永さんをはじめ国際センターの方々や研修先の先生方、もちろん両親など、関わった全ての方々に感謝をしたいです。本当にありがとうございました。話は変わりますが、提案?なのですが、帰りの飛行機で、体調が悪くなり、熱がでたのですが、海外ではあまり使われないのか、飛行機にも空港にも熱冷ましシートがなくて困ったので、もし自分のように移動中に体調が悪くなった方がでた際に救急袋に熱冷ましシートがあれば、もっと役に立つかもしれません。

カナダ

ビクトリア大学 イングリッシュランゲージセンター

University of Victoria English Language Centre



商科第2部
2年次生
本宮 広夢
(愛媛県立今治南高等学校出身)
Hongu Hiromu



研修機関や授業

参加型授業が1日に数回行われる。

1カ月間、自然が豊かで野生の動物達にも会うことが出来るビクトリア大学で英語を学べる環境になっている。ビクトリア大学はとても広く松山大学の10倍以上の広さがあると感じた。ビクトリア大学の授業内容は、1日に110分間の授業が2コマある。各クラスに、2人の教師が担当しておりDeeとJohnが私のクラスの担当教師だった。クラス分けテストで分けられた1クラスは大体20人前後で1カ月間、英語を学べるようになっていく。初日はクラスの皆を紹介しあう簡単なゲームをした。二人組を作りペアの名前の意味を英語で皆に言い合うゲームだった。授業は座学もあるが、参加型の授業が必ず1日に数回行われた。参加型の授業では毎回ペアを作りクイズやディスカッションを英語だけで行った。座学では中学、高校の英文法を復習し、慣れてきだすと現地の人たちが使う日常会話、スラング、あいさつなどを勉強できるので生きた英語を学ぶことが出来る。また、授業では英語の発音を重視しており、発音を間違えるとその場で正しい発音を教えてくれる。そうすることにより、発音が正されて日常生活で聞き取ってもらえなかった単語など伝わるようになった。



Coffe Break!! ▶

衣・食・住

各家庭のルールの違いが大変。

生活全般では、一番大変だったのは各家庭により食事の時間帯やルールが違っていたところだった。私のホームステイ先は、朝は自分でシリアルや冷蔵庫の昨日の晩御飯の残り物を食べるように言われていた。朝に昼食を作ることも許されていたが、キッチンでの火の使用は禁止されていたためサンドイッチやリンゴなどしか持っていくことしか出来ず、ビクトリア大学で学食を買っていた。夕食は用意してくれて、毎晩6時に晩御飯を食べることになっていた。ご飯は美味しかったが、ハンバーガー1個だけや手抜きをする日はトースト2枚に豆を煮込んだものをトーストの上にかけるイギリスの伝統食の日もあった。トイレットペーパーで苦労することがあり、食生活に慣れない頃はお腹を下してトイレに何回も行くためトイレットペーパーの消費数を注意されることがあった。ビクトリアは比較的涼しく、16～19℃程の気温だが暑い日もある。夜は一気に冷え込むため寝間着は着込んだ方がよい。暑がりの人は半袖、半ズボンに少し羽織るものがあれば問題はないと思う。また、肌が乾燥し口回りが切れたり、肌が擦れて赤くなったりするのでリップクリームや保湿クリームなどを持参した方がよい。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ビクトリア
- 研修期間：2016年8/8～9/2【26日間】
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む)……………555,000円
- ・渡航準備・査証取得費……………600円
- ・食費……………70,000円
- ・交通費……………500円
- ・通信費……………32,000円
- ・その他……………148,000円
- <合計>……………806,100円

休日・余暇の過ごし方

ダウンタウンでお土産探しと昼食。

授業が終わった後は必ずと言っていいほど、午後のアクティビティがあり、私達をサポートしてくれるCAがビクトリアの観光地やビーチなどに連れて行ってくれるため、授業が終わった後にどこか遊びに行こうと思っていても中々行くことが出来なかった。そのアクティビティを断っても構わないが、翌日のクラスの授業で「昨日は何を見たのか・何をしたのか」という話題で皆の前で短いスピーチをすることがあるのでなるべく参加する方がよい。大体、2～3時間ほどのアクティビティでホームステイ先に帰るころには夕方になることが多い。土曜、日曜は授業がなく終日ビクトリアを観光することが出来る。唯一、この土曜、日曜にお土産を買うことが出来た。平日に買いに行こうとすると、晩御飯の時間を決められていたら時間が取りにくくなるため、平日は中々買い物に行きにくかった。土曜、日曜は、昼食は各自で食べるようにと言われることが多くその際は、自分たちでダウンタウンに行きお土産探しのついでに昼食をとるのが休暇の過ごし方だった。また余った時間などで宿題を済ませたりして、子供がいる家族では子供たちと遊ぶことでコミュニケーションを取る時間ができる。



▲ Can I Take A Picture With You ?



思い出スナップ

ホストファミリー▼



▲ John&Dee

得たもの・学んだもの

異文化を楽しむことができた。

この研修で得たものは、他人の目を一切気にせず英語を使うことが出来るようになったことだ。間違っていたとしても一生懸命伝えようとするれば必ず相手に理解してもらえる事を経験することができた。授業中でも進んで自らが発言することにより楽しんで英語を学ぶことができ、他人の目を気にして授業に参加しないよりも、楽しんで自分が自分のためになった。また、異文化経験を通じて、これまで日本では当たり前だったものや無かったものがビクトリアには有ったり、通用しなかったりしたことを実感した。チップの制度や、バスを降りる際に“Thank you”と言って降りるなどは日本には無い文化だった。他にもコンビニは24時間営業ではなく、夕方5時頃になると店を閉めるなど日本では考えられない事も沢山あった。食生活の違いや、価値観の違い、日常の生活に至るまで全ての事が初めての体験で1カ月間カルチャーショック続きだった。しかし、異文化を嫌になることはなく、逆に1カ月楽しむことが出来たのはビクトリアが素晴らしい場所だったからだ。



The Rock ▶

後輩へのアドバイス!

授業中は恥ずかしがらず積極的に挙手。

1カ月間、慣れていない土地で生活することに不安や戸惑いはあるかもしれませんが、異文化を楽しんで欲しいです。英文法や単語の間違いばかりを気にし、英語で話す事を恐れて、ずっと日本語で話して1カ月間過ごすのは勿体ないです!確かに最初に話す際に戸惑いはありますが、自分から進んで話しかけることにより英語を使うことに慣れてきます。そして、授業中も恥ずかしがらずに積極的に挙手することにより、英語を使うことが楽しくなります。また、留学中はビクトリアでの生活を楽しんでください!確かに、日本に帰りたいという気持ちになるかもしれませんが、たった1カ月間です。この1カ月で、何を経験出来るのかは各々違いますが、楽しめた分だけ沢山の経験が出来ます。だから、携帯電話を眺めていつもゲームばかりしたり、「はやく日本に帰りたい!」などと言わずに楽しんでください。土曜日、日曜日の昼ご飯は用意されない家もあります。もし、外食をすれば2～3千円はかかります。千円以内に収めようと思うと中々美味しいものには辿り着けません。

もう一言!

大きめのバッグを持っていこう。

カードはキャッシュパスポートとTUOカードの両方を携帯しておくのが好ましい。現金はあまり使う機会がなく200\$程持っていれば十分だった。関西空港からバンクーバー行きの飛行機はだいぶ時間があるため、関西空港でお菓子類を買って機内に持っていくと良いかもしれない。飛行機の機内はエアコンが効いており毛布と枕は一つまでは無料だがそれ以上お金が掛かるため、寒いのが苦手な人はブランケットを手荷物で持っておくと良い。また、タブレット端末を持っている人はAir Canadaというアプリを日本でダウンロードしておく機内で映画を鑑賞することが出来る。(スマートフォンも可) ポケットWi-Fiを渡航前に予約しておいた方がよい。ホストファミリー先が一緒に人と話して料金を折半し、一緒に使うかを相談してもいいと思う。(グローバルWi-Fiが比較的安価でお勧め) 大きめのセカンドバッグもしくはボストンバッグを持参すると良い。たぶん日本に帰る際には荷物が増えるため必要となってくる。



▲週末の密かな楽しみ

フランス

ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター

University of Burgundy Centre International d'Etudes Françaises



人文学部
英語英米文学科
3 年次生
松浦 悠

〈愛媛県立松山東高等学校出身〉
Haruka Matsuura



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ディジョン
- 研修期間：2015 年 8/24 ～ 9/11 【19 日間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
<必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……………430,000 円
- ・食費……………30,000 円
- ・交通費……………6,000 円
- ・その他……………90,000 円
- <合計> **556,000 円**



トラム▶



▲ Lyon 旧市街



▲ 2B

研修機関や授業

優しい先生で、気軽に質問することが出来ました。

ブルゴーニュ大学は 1 つ 1 つの校舎が大きく敷地は広がったです。寮から大学までトラム（市内電車のようなもの）を利用しましたが、大学内に駅があるので便利に感じたと共に、感動しました。初日にクラス分けのためのレベルチェックテストを 2 時間ほど行いました。テストはかなり難しく、終わった人から退席可能でしたが、ほとんどの人が終了時間まで解答していました。文法問題があまり出題されなかったの、文法重視で勉強をする日本人にとっては苦戦する試験だったように思います。長文読解やリスニング、作文などが出題されました。クラスは 1 人の先生が毎日ずっと授業を担当してくれる形でした。辞書は禁止で、そのかわり分からない単語や表現があれば先生に質問し、こちらが理解するまで丁寧に教えてくれました。すごく優しい先生で、気軽に質問することが出来ました。4 技能万遍なく学ぶことが出来ました。クラスには夏休みということもあって、日本人がほとんどの割合を占めていました。ほかにもブラジル人や、台湾人、ナイジェリア人のクラスメイトがいました。授業が開始されてから 3 日くらいで、先生がクラス替えをした方がよさそうな生徒には（上げる場合も下げる場合も）提案をしていました。

衣・食・住

カフェなどで昼からお酒を飲むことが出来る。

寮は過ごしやすく快適でした。1 階に皆が集まれる場所があり、涼しい日は中庭に出て過ごすこともありました。部屋には冷蔵庫、シャワー、トイレが備わっており、台所だけが階ごとに共有でした。昨年イギリスに同じ時期に滞在したときに寒かった記憶があり、今回長袖を多く持っていきましたが、最初の 1 週間は 30 度前後で暑くて失敗したなと思いました。しかし 2 週目からはやはり冷え込んだので、半袖と羽織るパーカーやカーディガンをもっていくのがベストだと思いました。朝は日本から持って行った白ご飯を温めて食べたり、現地で買ったシリアルを食べたりしました。昼は学食に行きました。夜はスーパーで美味しそうなものがあれば購入していましたが食べない日もありました。毎日料理をしっかりしている他大学の生徒もいましたが、私や私の友人はあまり食費や調味料などにお金をかけたくなかったのと、料理に時間をとられたくなかったので簡単に済ませていました。フランスの料理はおいしかったです。またカフェなどで昼からお酒を飲むことが出来ることに驚きを感じました。モノコという真っ赤なビールは甘くて飲みやすいのでおすすめです。



モノコ▲

休日・余暇の過ごし方

買い物をしたりカフェを満喫しました。

平日の学校が終わってからは、最初の 1 週間くらいは日本の他大学で出来た友達と外出していました。学校から少し遠いですが、Darcy という駅でトラムを降りて買い物をしたりカフェを満喫しました。ショッピング街のような感じで毎日賑わっていました。寮の近くにあるスーパーにない食材などは、Darcy にある monoprix（モノプリ）という少し大きめのスーパーで買っていました。休日は Dijon から出て Paris や Lyon や Beaune に行きました。他大学の友達は一泊したりしていましたが、私はすべて日帰りの旅行にしました。大きな都市に行くときは財布を持って行かず、封筒に現金を入れたり、パスポートはコピーを持って行ったり、るぶを広げるときは、本を持っている人を残りの人が囲って守るようにしたり十分注意しました。謎な署名活動など、観光名所では怪しい人たちもいました。アジア人はわりと少なく目立つので声をかけられやすかったです。皆で注意しながらもたくさんの観光をすることが出来ました。Lyon はるぶに載っているすべての名所を周ることが可能でした。また日曜日は飲食店以外はお休みになるので日曜日にお土産を買うことは出来ません。買い物は放課後か土曜日に計画することをおすすめします。

得たもの・学んだもの

毎日知らない単語や表現に出会いました。

第 2 言語でしか勉強していないフランス語だったので、毎日知らない単語や表現に出会いました。ほとんどのクラスメイトが日本人でしたが、彼女らはフランス語学科など、専門で勉強している人たちだったので、逆に彼女たちよりもたくさん勉強してやろうという強い気持ちで毎日授業に臨みました。たくさんのお新出単語が出てくるのですごく楽しく、毎日の授業はあっという間でした。フランスに行く 2 か月前くらいから、フランス語で日記をつけていました。いろんな表現を知ることが出来て、留学前にやっておいてよかったなと心から思います。授業ではノート丸々 1 冊使い切るほど書き込みをしました。フランスが恋愛にオープンな国であることは既知でしたがが現地に行って強くそれを実感しました。広場でダンスを踊ったり、パートナーに呼ぶ愛称がたくさんあったり、日本とは違う文化を楽しむことが出来ました。



▲ フランスパン

後輩へのアドバイス！

学食はクレジットが使える必ず現金で支払い。

るぶは観光する際に必須です。メトロの駅など詳しく記載されているのでどこで降りたらいいのかわかりやすいです。支払いは基本的にカードで行っていました。学食はブルゴーニュ大学の生徒であれば、メイン、デザート、前菜の 3 つで一律 3.25 ユーロですが、クレジットが使える必ず現金での支払いでした。そのためお札を学食で崩し、自動販売機で飲み物を購入するときや、寮内のコインランドリーを利用するときのためにコインをある程度ためていました。コインランドリーは洗濯で 3 ユーロ、乾燥で 2 ユーロ必要になります。私は同じ寮にいる仲良くなった友達と日にちを決めて 5 日に 1 回くらいの間隔で一緒に洗濯していました。洗濯機も乾燥機も大きめであることと、お金を節約することから誰かとシェアすることをおすすめします。洗剤は現地でも購入できますが、日本の洗剤を使いたかったため持参しました。

もう一言！

ポケット Wi-Fi を持参することを強くおすすめ。

最初の方は色々な場所に行ったりして帰ったら宿題をして寝るという生活のリズムでしたが、だんだんと慣れてきて落ち着くと寮で過ごす時間が多くなります。私は他の国に留学をしたときに毎回勉強道具を持参するにもかかわらず 1 回も問題集を開けないまま帰国していたので、フランスに行く際荷物を減らすべく、何も持っていきませんでした。しかし寮で暇な時間が出来た時することがなくて困りました。他大学の友人で仏検の問題集を持ってきて毎日一生懸命勉強しているのを見ていたら、自分も持って来たらよかったなと感じました。何かフランス語を勉強するための問題集を持参すべきだと思いました。学校では基本的に Wi-Fi が通らないので、個人でポケット Wi-Fi を持参することを強くおすすめします。数人で共有していましたがすぐに速度制限がかかってしまいあまり使えませんでした。



◀ 有名なディジョンマスタード

ドイツ

フライブルク大学 SLI インターナショナルクラス

University of Freiburg



薬学部 医療薬学科
2 年次生
深見 史
(愛媛県立大洲高等学校出身)
Chika Fukami



研修機関や授業

いろんなクラスの人との授業は楽しい。

クラスは渡航前に受けたオンラインテストによって分かれていました。私のクラスは国際色豊かで、先生もとてもユーモアがある人でした。主語に対する動詞の変化やカテゴリーごとの名詞、定冠詞や不定冠詞を学びました。内容は、私が1 回生の時のドイツ語の授業にとてもよく似ていたのですが、理解を深めるために進度は遅めだったので、それまでの理解が不十分だった点も補うことができました。また、野外授業で市場に行ったり、フライブルク市のほぼ一体が見渡せる展望台に行ったりして、実践的にも学ぶことができました。午後は選択授業で自由参加でした。私はとっさのドイツ語・創造的なドイツ語という授業を選択しました。喜怒哀楽の単語や顔の表情、身振りで全身を使って表現しました。午前の授業とは違ってデスクワークはほとんどなく、いろんなクラスの人とコミュニケーションをとって楽しんで授業を受けることができました。また、ゲーム形式で皆の名前を覚えたり、ジェスチャーゲームをしたりしてアクティブなものになりました。頭で覚えるのではなく、体で覚える授業でした。そしてコース事務所には優しいチューターさんがたくさんいて、日本人の方もいました。

授業や郵便物、地図などで困ったときはそこを訪ねると丁寧に教えていただけました。



▲スーパーマーケット クノール

衣・食・住

1 日の気温の寒暖差が激しい。

ドイツの夏は朝晩の空気がひんやりとしていて寒く、昼間はからっとしていて日本より過ごしやすかったです。しかし1 日の気温の寒暖差が激しかったので、長袖の服や羽織ものが必須でした。また、週末旅行やアクティビティに参加するときに長距離や慣れない石畳を歩くことが多かったので、履きなれた歩きやすい靴がとても楽でした。食事は、朝は日本と現地で調達したシリアル、お昼は学食で、夜は自炊でした。屋食はプリペイド式で、お皿に盛った分の重さだけ金額が引かれるビュッフェスタイルでした。1 日の食事のバランスを考えて、野菜をたくさん取りました。豊富な種類から選べて、口に合うものが多かったです。夜はお米や、パスタを使って調理しました。友達と一緒に作って食べることもありました。食材はドイツのスーパーで比較的安く購入できたので、あまり困りませんでした。また、フライブルクには有名な老舗のカフェがあって、コーヒーやケーキがとてもおいしかったです。私が住んでいた寮は個人の部屋が2 つあって、キッチンやシャワー室、トイレは共同でした。キッチンは電気コンロで、冷蔵庫はスペースを分けていただいたので不自由ませんでした。

洗濯は初めは手洗いでしたが、一回 2 € の洗濯機が寮の地下にあったので、友達の分と一緒にまとめて洗濯して安く済ませられるように工夫していました。毎週日曜日は掃除の役割分担がありました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：フライブルク
- 研修期間：2015 年 8/5 ～ 8/28 【24 日間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……372,000 円
- ・渡航準備・査証取得費……11,000 円
- ・食費……13,000 円
- ・交通費……27,000 円
- ・通信費……9,000 円
- ・その他……21,000 円
- <合計> 453,000 円



思い出スナップ



▲週末日帰り旅行
ボーデン湖 ウンターウールディンゲン



▲展望台から フライブルク市

得たもの・学んだもの

ノートを取るよりも意見することが大切。

この1 か月間はとても短かったように感じます。他国を知るには自分の足で地を踏んで目で見ない限り、本や映像だけでは得る知識が不十分であると思いました。また、私は日本では実家暮らしなので初めての一人暮らしとなりました。今まで食事や旅行の計画はほとんど親に任せっきりで、家事もままならない状態でした。しかしこの研修期間で一人暮らしという自由を得て嬉しさを覚えた反面、学校に通いながら何でも自分でこなして生活しなければならぬという大変さがとても身に染みしました。授業では、他国から来た生徒は皆積極的で、ノートを取るよりも意見する方を大切にしていました。海外の授業は質疑応答が行き交う参加型だとは知っていましたが、実際にその空間にいると怖気づいてしまうことがありました。しかし、ドイツ語を完璧ではなくても話そうとする勇氣・意気込みが大事だと気付いたことで、自分の記憶に残りやすい授業にできたと思います。またドイツ語や文化、生活を知ったことで、視野が広がって理解が深まり、更にドイツに対する関心が高まりました。今までにない大きな経験して、成長できたと思います。



▲夜のフュッセンの街



▲レストランでランチ

後輩へのアドバイス！

できる限りチャレンジして視野を広げて。

少しでも海外へ行きたいという気持ちがあれば、絶対に行くべきです。そして研修中にやりたいことがあれば、できる限りチャレンジするともっと自分の視野が広がって充実した1 か月になると思います。大学が企画している週末旅行には何か一つは参加しておくといいです。その土地にしかない景色や買い物を堪能することができます。しかし、土日の特に朝はトラムの便が3 0 分に一本だったりするので時間には余裕をもって行動することをお勧めします。また、自分で計画を立ててちょっと遠出したいなというときは、電車やバスの1 日乗車券や、高速バス「マイフェルンバス」を利用するとお得です。そして、帰国するときには、行きよりも荷物が増えると思います。自分の預ける荷物の重さを量るチェッカーを持っていくと便利です。飲み水は硬水で抵抗があるかもしれませんが、水道水でも十分飲めます。もしペットボトルの水を飲む場合は、炭酸入りと炭酸なしでは見分けがつきにくいので注意してください。列車の乗り方やルール、おすすめスポット、困った時のドイツ語を知りたいときに、私は「るぶドイツ」と「地球の歩き方 aruco ドイツ」を参考にしました。

もう一言！

空港で買い物をして硬貨を作って持っておこう。

硬貨を作る際、国際センターの方からはフランクフルト空港で買い物をして硬貨を作るといいですよと聞いていたのですが、引率で一緒だった先生は私たちが既に硬貨を作って持っているものだと思っていたらしく、ICE などのチケット購入があまりスムーズにいきませんでした。また、その時は全員でまとめてチケットを購入したかったので国際学生証は上手く活用できませんでした。フライブルク市は環境に対する意識が高く、ゴミの分別や紙・服・ビンのリサイクル、ペットボトルをお店へ返すと返金されるデポジット制などがありました。また、寮や大学にはエアコンがなく、トラムも外からの風が吹き込んでくるようになっていて、環境に上手く適応した生活を送ることができました。自分が今までどれだけ楽に快適に過ごしてきたかが分かりました。海外へ行く機会というのはなかなかないと思うので、いろいろなところに出向いて経験を積むべきだと思います。私はこの研修に参加してよかったと心から思っています。この1 か月、ドイツで学び得た経験を活かして自らの糧にしていきたいです。



▲ノイシュヴァンシュタイン城 城内から

中国

上海財経大学国際文化交流学院

Shanghai University of Finance and Economics
International Cultural Exchange School

人文学部
英語英米文学科
1 年次生
横尾 千夏
(愛媛県立川之江高等学校出身)
Chinatsu Yokoo



／ 研修機関や授業 ／

毎日予習、復習をしっかりと行うこと。

大学の周辺は、住宅や商店などが並んでおり、人や車などが多く、とても賑やかです。私たちが利用するキャンパスは、主に留学生が利用する国際文化交流学院という場所です。学内 Wi-Fi が使えるのでとても便利でした。キャンパスは広くないので、寮から教室などへの移動にほぼ時間はかかりません。授業は朝 8 時 30 分から始まります。1 日 2 コマで、1 つの授業が 100 分です。途中で休憩があるので、これを利用して大学周辺におやつを買いに行く人たちもいました。授業は、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングがあり、どれも私が学んできたことよりも、少しレベルが高い内容でした。そして、クラスによって授業内容の回数が変わります。クラスは簡単な読みと筆記のテストで決まります。もし授業を受けてみて、自分のレベルにあっていないクラスと感じたら、1 週間の期間内であれば、クラスを移動することができます。授業はほとんどが中国語で行われ、補助で英語が使われます。なので毎日予習、復習をしっかりと行うことが授業の理解へとつながります。わからないことや疑問点は、先生に質問するなどして、解決するべきです。



▲山東水餃子

／ 衣・食・住 ／

衣服は日本から持っていくことをお勧め。

3 月に入れば、ダウンやコートが不必要な気候になると聞いていましたが、研修期間中のほとんどがダウンを手放せないほど気温が低い日が多かったです。中国は輸入品が比較的高く、衣服の値段が日本よりも高いものがほとんどでした。持参をお勧めします。防寒対策のために持っていったカイロが役に立ちました。寮は思ったよりも綺麗で、トイレトーパーやシャワー用と室内用のスリッパ、電気ケトル、ハンガー、毛布などがあれば、快適に生活することができます。私たちの部屋で重宝したのは、トイレの消臭スプレーです。日本からあまり物を持っていかなくても、大学の近くに、多くのお店があるので、必要なものはほぼ揃えることができます。部屋は 1 部屋 2 人です。電気代はルームメートと折半すれば 1 人 50 円ですみます。電気の使用残量が気になる場合は、受付で聞くことができ、その場でチャージすることも可能です。洗濯機を使用するためには、洗濯カードの購入が必要です。カードの補償金が組み込まれた値段なので注意が必要です。1 食 10 元程度ですませられる屋台が大学の周辺にあるので頻繁に利用しました。



▲外灘の景色（夜景）

／ 休日・余暇の過ごし方 ／

交通網が発達していて料金は格段に安い。

授業が午前中には終わるので、研修仲間や仲良くなった留学生と一緒に、お昼ご飯を食べたり、買い物に出かけたりしました。上海は交通網が発達しており、料金は日本よりも格段に安いです。なので移動には、地下鉄やバス、タクシーを利用しました。バスは、バス停のアナウンスがない場合があるので、注意が必要です。上海には多くのショッピングモールや観光地があるので、前日から計画を立てていきました。特に田子坊と豫園は、何度足を運んでも、楽しむことができる場所が多かったです。また、引率の先生がおススメしてくれた場所である魯迅公園へ行きました。そこでは大勢の人たちが太極拳や体操をしていました。公園はとても広く、景色も綺麗で十分満足できる場所です。早起きしていく価値アリです！研修旅行は杭州へ行きました。杭州で大変だったことは、全然タクシーがつかまらなかったことです。なので、みんなが行きたかった場所に全てには行くことができませんでした。しかし、世界遺産である西湖の上を遊覧船に乗って湖を渡ったり、夜ライトアップされた景色を見たりと、上海では味わうことができない雰囲気を楽しみました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：上海
 - 研修期間：2016 年 2/22 ～ 3/11 【19 日間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|-------------|-----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費（滞在費含む） | 146,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 13,000 円 |
| ・食費 | 17,000 円 |
| ・交通費 | 2,000 円 |
| ・通信費 | 25,000 円 |
| ・その他 | 55,000 円 |
| ＜合計＞ | 258,000 円 |



思い出スナップ

▼学生寮マンション



▲最後の授業でクラスメートと集合写真

／ 得たもの・学んだもの ／

積極的に話しかけることで自信につながる。

私は一番に疑問は自分で解決しようと努力する力を得たと思います。そして研修で、「自分が動く」ことの大切さを学びました。現地では、道を尋ねたり、買い物をしたり、タクシーに乗ったりと、自分が動かなければ何も進まないことだらけでした。初めは自分の中国語に自信がなく、話しかけるのをためらっていました。しかし、毎日生活していると、わからないことや聞きたいことが多くでてくるので、だんだん自分から積極的に話しかけるようになりました。初めはうまく伝わらないこともありますが、話せば話す分、自分の経験となつて必ず自信につながります。また、授業の休み時間を利用して、たくさんの留学生とおしゃべりしました。クラスメートが日本に興味を持ってくれた人が多かったので会話が弾みました。何事もやってみることから始まります。貪欲にたくさんのことを吸収し、帰国する頃に、大きく成長した自分に会ってください。



▲変面を見ながら食事（右下蛙肉）

／ 後輩へのアドバイス！ ／

成長できるかは自分の頑張り次第。

後輩へ伝えたいことは、「全力で楽しんでください！」です。私はこの研修が初めての海外だったので授業だけでなく、観光も楽しもうと考えていました。私は、充実した留学生活にするためにも、勉強だけでなく、上海を観光することにも一生懸命になることが大切だと思います。日本との違いを体験することはとても刺激になりますよ。そして 3 週間は長いようで、あっという間に過ぎていきます。もし留学するのであれば、普段のように座って授業を聞くだけではなく、勇気をもって積極的に発言や質問をしてください。留学でどれくらい成長できるかは、自分の頑張り次第です。私は大きめのメモ帳を肌身離さず持っていました。授業の疑問点、生活の中で見つけた知らない単語など、すぐメモしその日のうちに覚えられるようにしていました。見返すことができるので便利でしたよ！やり残すことがないよう、1 日 1 日を大切に過ごしてください。

／ もう一言！ ／

友達と一緒にたくさんの思い出を作って。

体調が悪くなるか分からないので、自分が普段使っている薬を持っていくことをお勧めします。また、電子辞書は授業中でもパッと分からない単語を調べられるのでとても便利でした。私の携帯は iPhone で、ポケット Wi-Fi を持参しました。Android の人たちは中国でアプリのインストールなどに制限がかかるので注意です。ネットがどこでも接続できることとマップを使用できることが良かったです。そして、私は友達をたくさん作ることが大切だと感じました。留学前に行っていたチューター活動で知り合った、財経大学の 2 人の友達にものすごくお世話になりました。チューター活動をやっていたからこそ、2 人と仲良くなれたと感じています。また、上海で知り合った留学生とは、共通の趣味の話で盛り上がりました。we-chat で会話するのも楽しいです。意思疎通が大変かもしれませんが、是非友達と一緒にたくさんの思い出を作ってください！行って良かったと言える留学にしてほしいです。

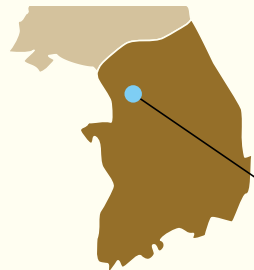


▲西湖 in 杭州

韓国

建国大学言語教育院

Konkuk University language education school



経済学部 経済学科
3 年次生
ソウル 横本 美優
〈愛媛県立松山商業高等学校出身〉
Miyuu Yokomoto



研修機関や授業

先生が様々な例を取り上げ何度も説明。

建国大学は敷地内に湖があり、本当に大きな学校です。とても広いので、建物の名前を探すのではなく、建物の上に番号が割り振られているので、それを探しながら歩くと迷わず行けると思います。自然にも恵まれていて、15 分くらいかかりますが、毎日の通学も苦ではなかったです。また、大学内は郵便局や食堂、カフェなど設備が充実していました。大学周辺にも、デパートや飲食店、コンビニ、スーパーなどがたくさんあるので不自由なく生活することができました。授業のクラスは、初めに行われるテストによって振り分けられました。TOPIK のようなテストで、記号の選択問題と作文がありました。授業は少人数制で、韓国人の先生によって、全て韓国語で行われました。難しいように感じましたが、先生が様々な例を取り上げて何度も説明してくれるので、わかりやすく勉強することができました。授業は、単語を理解して、文法を学んで、その文法を使って実際に会話練習をするというものでした。書くことは授業中にもしますが、宿題で復習して、書くことが多かったです。韓国料理体験やテコンドーなどを通して韓国の文化を学ぶこともでき、充実した授業になっていました。



▲ We love KOREA!

衣・食・住

日本より辛い韓国料理。

建国大学の中にある寮で生活しました。二人一部屋で、エアコンや冷蔵庫、机、ベッド、Wi-Fi があり、定期的にタオルや水、トイレトペーパーを配布してくれました。各階にはウォーターサーバーがあって、お湯とお水を利用することができます。1 階には、電子レンジと洗濯機、乾燥機がありました。寮の中はエレベーターで行き来します。寮のすぐそばには、コンビニ、食堂、カフェ、パン屋があるので、遠くまでご飯を買いに行く必要もないです。学校の周辺には食堂がたくさんあって、本場の韓国料理を安くお腹いっぱい食べることができます。韓国で食べる韓国料理はとてもおいしくて、食の宝庫だと思いました。日本で食べる韓国料理よりは辛いです。私は辛いものが得意ではなくて、環境の変化でお腹を壊しやすかったのが、食前に漢方薬を飲むようにして生活しました。辛い食べ物はスーパーやコンビニで買うことができます。服は、着回しできる服を 5 日分くらい持って行きました。洗濯機は 1 回千ウォンかかるので、2 日に一度洗濯しました。乾燥機にかけなくても、部屋で 1 日置いておけば十分乾きました。

テコンドー▶



休日・余暇の過ごし方

行きたいところを事前に調べて時間を有効活用。

授業終わりには、学校の周りにお店を散策したり、友達と買い物をしたり、おいしいそうなお店を見つけてご飯を食べに行ったりしました。学校の周りだけではなく、観光客がたくさん訪れる街などにも足を運んで、有意義な余暇を過ごしたと思います。韓国は日本に比べて安い値段で地下鉄を利用することができるので、いろいろな場所に行きやすかったです。休日には、授業終わりに時間が無くて行けない場所に行ったり、丸一日使ってロッテワールドに行ったりして、充実した楽しい時間を過ごしました。行きたいところがたくさんあったので、事前に調べて時間を有効的に使うようにしました。また、見学授業では、仁川の童話村に行ってクラスの子たちと写真を撮ったり、中華街でジャジャンミョンを食べたり、潮干狩りしたりと、いろいろな体験をすることができました。トウミ活動では、韓国人の学生と交流することができ、最近韓国で流行していることなど自分の興味のあることを聞いたり、クラスの子たちと韓国人のチューターさんでご飯を食べたりしながら、クラスの子との仲も深めることができたし、充実した放課後を過ごすことができました。



テコンドー▶

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
- 研修期間：2016 年 8/2 ～ 8/23 【22 日間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……………222,000 円
- ・渡航準備・査証取得費……………34,000 円
- ・食費……………40,000 円
- ・交通費……………9,000 円
- ・通信費……………3,000 円
- ・その他……………9,000 円
- <合計>……………317,000 円



思い出スナップ



▲仁寺洞



▲修了式

得たもの・学んだもの

積極的な行動や発言が大切。

今回の語学研修を通して、韓国語だけではなく、韓国の文化や、意思疎通の難しさ、積極的な行動や発言が大切だということを知りました。韓国は日本の文化と似ているようで異なる点がたくさんありました。初めは慣れない文化の差で悩みを抱えることも多かったのですが、一緒に研修に参加した友達や韓国人の友達に助けられながら、乗り越えることができました。道に迷っても話しかけてきてくれる現地の人々の優しさや人のあたたかさを感じられました。私のクラスの子たちは、言語の専門学校に通っている子がたくさんいて、置いて行かれないようにその子たちの何倍も勉強し、授業も一生懸命頑張りました。そのおかげか、頑張りを先生に褒められたときは本当に嬉しかったです。また、私は一人暮らしをしたことがなかったので、寮での生活は大変でした。実家で生活できるありがたみ感じ、親がいてくれるありがたさをこの留学で学ぶこともできました。



▲MBC 放送局

後輩へのアドバイス！

一生懸命耳を傾けてみよう。

韓国は、歩く機会が日本よりも多いので、歩きやすいスニーカーなどで行った方がよいと思います。行きたい場所はあらかじめ調べておいてから行動すると、限られた時間を無駄なく過ごせると思います。ガイドマップを日本で買って持って行きましたが、持ち歩くのは重かったので、地図や地下鉄の乗換案内などはスマートフォンを使うとよいと思います。駅やカフェ、飲食店にも Wi-Fi はありますが、ない場合もあるので、私はポケット Wi-Fi を携帯して行動しました。そのほうが、万が一何かあった時にすぐ連絡が取れるので、安心して行動できると思います。学校の先生たちは聞き取りやすいようにゆっくり話してくれませんが、現地の人たちは、学校の先生よりも早口で話しかけてきます。私も最初はその早さにとても驚き、うまく聞き取ることができませんでした。しかし、少しずつ耳が慣れてきて、聞き取れる単語なども増えてくると思います。諦めずに一生懸命耳を傾けてみてください。

もう一言！

電子辞書があれば授業で役立った。

韓国は食べるものも、モノも、日本より比較的安い値段で購入することができます。日本円は、レートが良い明洞などでウォンに替えることをおすすめします。韓国は、屋台以外のほとんどのところでクレジットカードを使うことができるので、大量の現金を持ち歩かなくてもクレジットカードがあれば、安心して買い物ができると思います。観光地などに行くとタックスフリーをその場でやってくれるお店が増えていたので、観光地に行く場合などはパスポートを持って行くと、お得な買い物ができると思います。観光地は偽物商品や化粧品品の勧誘がすごいので、惑わされないように気を付けて、なるべく一人では歩かないようにした方がよいと思います。持って行けば良かったと思うのが、電子辞書です。授業中に分からない単語があっても辞書がないと分からないまま進むので、持って行って損はしないと思います。



▲韓国料理体験

イギリス

カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University



ロンドン
カンタベリー

人文学部
英語英米文学科
4 年次生
赤堀 志野
(徳島県立城北高等学校出身)
Shino Akahori



研修機関や授業

テーマが曜日によって変わる授業もある。

研修先唯一のイギリスの語学学校は、カンタベリークライストチャーチ大学に付属する学校で時期によっては変化があるものの、私が滞在した期間は常時 50 ～ 60 人程度の生徒がおり、本学へ入学する前の生徒や、私のように英語研修で来ている人が主だった。大学に付属しているので、大学のフードコートや図書館の利用、校内活動にも参加することができる。授業は月曜から木曜は午前、午後の授業で、金曜は午前だけの授業がある。朝 9 時から 11 時まではテキストに沿った主に文法を扱う授業、11 時半から 12 時半までは、曜日によってテーマが変わる授業（文学、ニュース、語彙、パブリックスピーキングなど）で、13 時から 15 時まではクラスによっては、先生が選んだプリントを使った授業や、アイエルツという試験に向けた選択の授業がある。最初 2、3 カ月の授業終わりは、図書館で予習、復習、また興味がある分野についての本を読んで時間を過ごすことが多かったが、仲の良い友人ができると話しながらカフェに行ったり、大学の課外活動（ムービーナイト、ゲームナイトなど）に参加したりした。

衣・食・住

キッチン 자유롭게使って自炊。

大学寮は、値段、設備等で種類がある。私が滞った寮は、4 月から 9 月は Vernon place というところだ。この寮の利点は、学校、図書館、中心街や、バス停、駅とこれらの場所に徒歩 10 分もかからない程度の時間で行くことができたので、立地が良いこと。また私が滞った部屋はかなり広かったので、居心地よかった。欠点は他の寮に比べるとかなり古いと思われるので、部屋にいても廊下がきしむ音が聞こえることや、洗濯機が有料であることだ。9 月以降は、Parham road という寮に移った。この寮はかなり規模が大きく、数人でキッチンや洗濯機を共有する、フラットと呼ばれる寮だった。大学からは徒歩 20 分ほどかかるので、少し遠く感じた。両方の寮でキッチンは自由に使うことができ、スーパーマーケットで野菜などの食材は比較的安く購入できるので、お昼もお弁当を作り、三食ほぼ自炊をした。寮の友人やフラットメイトと一緒に日本食やハンガリー、オランダ、イギリス料理を作って食べたこともあった。イギリスの朝夕は寒いが、カンタベリーはロンドンに比べると天気の良い日も多くて、過ごしやすくて、過ごした日々がほんとだった。



▲カンタベリー街並み

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：カンタベリー
 - 研修期間：2015 年 4/13 ～ 12/12【約 8 ヶ月間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
<必要な経費>
- | | |
|-------------|-------------|
| ・渡航費 | 90,000 円 |
| ・授業料・滞在費 | 1,230,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 49,000 円 |
| ・食費 | 360,000 円 |
| <合計> | 1,729,000 円 |



思い出スナップ



▲クラスメイトと



▲フラットメイト

得たもの・学んだもの

自分の意見や考えをしっかりと持つこと。

カンタベリーは私が想像していたよりも国際色の豊かな街だった。日本で暮らしているよりもずっと強く他国とも関わりを感じ、そのような環境に住んでみると、いかに自分の意見や考えをしっかりと持つことが重要であるかを感じた。友人や先生と話をしている、これについてどう思う、と聞かれても、今までに考えたこともなかったようなことも多々あった。英語学習者として、自分の意見を英語で伝えることに苦戦したこともあったが、それよりも、自分の意見が何なのか、どこにあるのかを見つける方に苦労したように思う。一方で、このような環境にいたことで、自分の意見を言えなかったことに関して、後から調べて、考えを持てるようになったと思う。この研修を通して、世界中に友人ができたこと、英語力の向上に加え、普段から物事に対して自分は思うのかということを考える癖がついた。



▲郊外

後輩へのアドバイス！

不安なことは国際センターに質問。

特に参考にしたのは、地球の歩き方、るるぶ、先に行った方の報告書である。地球の歩き方やるるぶでは、イギリスの基本的な情報はもちろん、自分が現地に行ったら行きたい所などをチェックしていた。雑誌以外でも、インターネットに留学用のサイトもあるので、そこで研修先の大学の情報を入手した。しかしカンタベリーはそれほど大きな町でなく、載っている情報も限られているので、学校や寮の雰囲気などの詳しい情報は、昨年度に研修に参加した友人に話を聞いたり、また現地ですべて友人に話をきいた。また、実際に必要となる費用は、報告書や、国際センターの職員の方々とお話を通して分かるので、不安があればすぐに国際センターに連絡し、職員の方に質問した。研修中に他の国について知りたいときには、旅行好きの方が書いたブログなどを読んで、公共交通機関や宿泊施設の具体的な内容を調べた。

もう一言！

より自然な英語の文章が作れるように。

私はこの研修に行くまでは、クイーンズイングリッシュに対する憧れや、自分が英語の発音が苦手であったので、その二点を特に意識的に勉強しようと考えていた。しかし、実際現地へ行くと、英語を母語としない人たちとの出会いが多くあった。そのような人たちとの出会いを通じ、ノンネイティブスピーカーがネイティブスピーカーの数を超える現在、クイーンズイングリッシュへの渡航前ほどの強い憧れは無くなった。それよりも、日本人が英語の文章を作るとどうしても癖があるらしく、それをより自然な文章として自分のものにしていこうと意識するようになった。また、英語の検定ではそれなりの点数を取得するとある程度自分に自信が付くが、現地の人とのコミュニケーションを通じて、自分の英語が机上でしか通じないことを痛感した。滞在中はもちろんだが、帰国後も外国語の勉強は続くので、これからの外国語学習にも、イギリスで学んだ事を生かしたい。



▲スコットランド一人旅

オーストラリア

グリフィス大学

Griffith University



ブリスベン

キャンベラ

人文学部
英語英米文学科
3 年次生
浮田 昂成
(愛媛県立松山北高等学校出身)
Kosei Ukita



研修機関や授業

色々な考え方や価値観を共有できる。

クラスは GE(General English)1 ~ GE6,EAP(English for Academic purpose)1 ~ EAP3 のレベルがあり、自分は入学時、最初の 3 タームを EAP2 で勉強し、後半の 3 タームを EAP3 で勉強しました。クラス構成は同じ国籍同士の人が固まらないように振り分けられています。中東やインド、アジア圏の学生が多かったです。それに比べ日本人の割合は比較的少なく英語を改善するのにかなりいい環境だったと思います。授業の内容は、大学へ入学することを目的とした学生対象のモチベーションが高いコースだったので、アカデミックな内容のディスカッションやプレゼンテーションなどが授業の大半を占めていました。自分の意見や考えを発する機会が多く、積極的に授業に参加しました。グリフィス大学では本当に様々なバックグラウンドを持った学生達が学んでおり、色々な考え方や価値観を共有できるすごく勉強に適した大学だと思いました。



▲ Iraqi Football Boys

衣・食・住

さまざまな国の料理が食べられる。

ブリスベンに到着した 5 月～9 月にかけては秋、冬なのですが気温は日中 20 度を超えることは頻繁でした。基本自分は年中半袖で過ごしましたが、朝晩はそこそこ冷え込むこともありジャンパーや上に羽織る服は必要だと思いました。宿については、ホームステイで滞在しました。とてもいい人達に恵まれたおかげでいい関係も築け、今でもやりとりをしています。食に関しては自炊の習慣を身に付けたかったので週 4、5 回のペースで自炊をしていました。スーパーでは肉類や野菜類などが比較的安いので効率的に節約ができました。オーストラリアには多種多様な国籍のレストランが数多くあるので、あまり経験したことのない料理も色々食べることができました。ブリスベンには居酒屋も何店舗もあり、日本食が恋しくなった時にはよく通っていました。



▲ Halloween Party

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ブリスベン
- 研修期間：2015 年 5/25 ~ 12/18【約 7 ヶ月間】
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・渡航費…………… 140,000 円
- ・授業料・滞在費…………… 1,580,000 円
- ・保険料(個人加入分)…………… 97,000 円
- ・渡航準備・査証取得費…………… 125,000 円
- ・食費…………… 350,000 円
- ・交通費…………… 110,000 円
- ・通信費…………… 25,000 円
- ・その他…………… 5,000 円
- <合計>…………… 2,432,000 円



思い出スナップ

2015 Stereo Sonic ▶



▲ランニングマンレクチャー



▲ Brisbane Paralympic Football Program

得たもの・学んだもの

感謝する気持ちや自己管理の大切さ。

研修参加前の自分の課題は、少し専門的な内容や難しい話題になってもついていけるレベルになることでした。研修を終えてみて、BBC などのラジオを以前より正確に聞き取れるようになったと思います。友達とコミュニケーションを取る時も、日常会話だけでなくニュースの内容や少し難しい話もできるようになりました。ただ課題はいつも新たに見つかるばかりなので、これからももっと上を目指して頑張ります。今回の研修を通して英語を学んだことはもちろんですが、語学力以上に日頃から人に感謝する気持ちや自己管理の大切さに気づけたことも今回の留学の成果です。



▲ Sideline Shooters

後輩へのアドバイス!

目標や計画を立てて行動してみる。

この長期研修プログラムの大きな利点は、何より大学を休学せず単位を交換できること、助成金を貰えることだと思います。7 ヶ月間という決して長くはない期間ですが、現地での過ごし方や行くまでの準備を工夫すれば決められた期間の中でそれなりの成果を得られると思います。グリフィス大学の生徒に対するサポートや環境はかなり整っていて困ることは一度もありませんでした。グリフィス大学は世界的にも良く知られている大学でたくさんの留学生達が世界各国から集まっています。そういった環境の中で様々な人達と出会える機会やイベントを大学側がたくさん用意してくれているので、授業以外の時間も有意義に使う事ができます。このプログラムに興味がある人は、目標や計画を立てて行動してみるべきだと思います。英語はもちろんですが、それ以外の多くの面でも成長できるチャンスだと思います。応援しています。



▲ Venezuela Friends

もう一言!

オーストラリアならではの生活を満喫。

ブリスベンにはオーストラリア第 3 の都市、そしてクイーンズランド州の州都があります。街の中心をブリスベン川が走るリバーシティ、歴史的な建物や高層ビルが入り混じった街並みは本当に綺麗でした。また、ブリスベンシティのすぐ側サウスバンクには人工ビーチがあり、朝から晩まで多くの人々がゆったりとくつろいでいます。シティでは毎週様々なイベントやマーケットがあり、いつでも楽しむことができます。シティに行けば都会的ですが、街から一歩外へ出るとほとんど自然で溢れています。例えば、早朝は近くの小川が走る森の中をランニングしたり、時にはオーストラリア特有の動物に遭遇したりと、オーストラリアならではの生活を満喫しました。そしてブリスベンからは車や電車を使いゴールドコーストやヌーサー、パイロンベイなどの有名な場所やビーチに行くこともできます。特にゴールドコーストについては、普段通学に使っているゴーカードという定期カードが 9 回以上使うと週末無料になるので、電車で気軽にゴールドコーストへ出掛けていました。研修を終えて、ブリスベンには本当に自分にとって第二の故郷のような場所になりました。たくさんの友達や知り合いがいるブリスベンに将来また訪れたいと思います。

アメリカ

LSI ニューヨーク校

LSI New York



人文学部
英語英米文学科
3 年次生
河原田 れい
(愛媛県立松山東高等学校出身)
Rei Kawarada



研修機関や授業

間違いを恐れず英語を使うことが重要。

LSI ニューヨーク校はマンハッタンのソーホーにあるビルの 13 階にある。オフィスやカレッジも多く収容しているため、セキュリティやカフェなどの施設も充実している。スタッフや先生もフレンドリーで、問題が起これば気軽に相談できるだろうと思った。生徒数、クラスはそう多くはない。出身国は特別偏りがなく、欧州、南米、東南アジア、東アジアと様々な国と地域から生徒を受け入れている。入校日に行われたテストでクラス分けがされ、Upper Intermediate のクラスに入った。学校が用意するテキストを使用する。様々なトピックを通して、グラマーやリスニングを鍛える。ペアワークやグループワーク、先生への質問等を通してスピーキングを鍛える。ライティングに関しては、宿題で取り組み、先生の添削を受ける。日本人学生の特徴として、文法に比べ、スピーキングを苦手としているため、スピーキングのレベルが自身のレベルより高いクラスにおかれる傾向にある。また、自ら積極的に発言しなくては、ほとんど英語を話さずに授業を終えてしまう可能性もある。間違いを恐れず英語を使うことが重要だと思った。



▲サンドカツデリカテッセンのパストラミ

衣・食・住

地下鉄利用は時間に余裕をもって。

ホームステイ先はマンハッタンからフェリーに乗って 20 分ほどで着く、スタテン島にあった。毎日バスで船乗り場まで行き、フェリーでマンハッタンに向かい、地下鉄に乗り換え学校まで行くという通学で、7、80 分程かかっていた。しかし、交通網は 24 時間利用でき、満員で乗れないということもありないため通学に関しては文句はなしという感じだった。ただ、地下鉄ラインによって急な変更や、休止があるため時間には余裕をもって移動するほうがよい。ホストファミリーは学生の受け入れに慣れており、特に不足しているものやことはなかった。8 人家族と大家族ではあったが、家も大きくバスルームもいくつかあり、申請時に拒否していた猫がいたが、おとなしい性格でなら問題はなかった。食事は、家にあるものを好きなだけ、好きなときに取って食べていいと言われていた。私の好きなヨーグルトやバナナ、アボカドを常備してくれていたのがありがたかった。ニューヨークの物価は高く、ランチは 10 ドルから 20 ドルが基本だろう。レストランに入るとチップも払わなくてはならないので、テイクアウトのお店のイートインをよく利用していた。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ニューヨーク
- 研修期間：2016 年 2/8 ～ 2/26 【19 日間】
- 研修講座・コース名：スタンダード 20
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……412,000 円
- ・渡航準備・査証取得費……20,000 円
- ・食費……50,000 円
- ・交通費……10,000 円
- ・その他……5,000 円
- <合計> 497,000 円
- 助成金支給額……400,000 円
- 自己負担額……97,000 円

休日・余暇の過ごし方

名門ダンススクールのレッスンに参加。

ニューヨークには数多くの博物館や美術館があり、放課後や週末も毎日観光の予定が詰まっていた。日時によっては、無料開放される美術館や博物館があるため、客は多いがうまく利用するのいいと思う。ブロードウェイミュージカルのチケットも、当日のディスカウントチケットを買えば、格安で見ることができる。私は、37 ドルで CHICAGO を見ることができた。またニューヨークには名門ダンススクールがたくさんあり、回数チケットを購入し、レッスンに参加することもできた。ヨガやズンバ、ニューヨーク発のジャイロキネシスなどのクラスに参加した。日本人の先生や生徒にもたくさん出会った。ダンスが好きな私には休日はいくらあっても足りなかった。渡航時は円安であったが、アメリカブランドのコスメやバッグは日本で購入するよりは安い。買い物中にニューヨーカーに話しかけられることも多く、商品の説明を聞いたり、質問したりと、現地の生活が分かるうえ、英会話の練習にも大いに役立ったと思っている。その他、イベント、催しものが毎週、毎月あるのでどの時期に訪れても、特別な体験が、お金をかけずに受けられることが多いのもニューヨークの魅力の一つである。



思い出スナップ

▼教室からの景色



▼ブルックリン橋



得たもの・学んだもの

ミスを気にせず伝えようとする気持ちが大切。

3 週間ですでに英語力が伸びるかは、それまでの英語力や 3 週間の環境などひとそれぞれ違うため、その効果もまたひとそれぞれ大きな違いがあると思う。私の場合は、文法に関しては高校で学んだ内容の復習ができた。先生のリアルな、よく使われるフレーズとともに学習することで、記憶をさらに鮮明なものにすることができた上、細かなニュアンスの違いまで理解することができた。スピーキングについては、研修開始直後に自分のスピーキングの未熟さに驚いた。クラスの他の生徒は自由に英語をしゃべり、楽しんでいるのに、私は文も作れず、言葉も出ず、ただ必死に聞いて何を話しているのか理解するのがやっとであった。しかしそれでは、ペアワークの際にペアの生徒に申し訳なくてたまらなかった。そこで、文法のミスがあったとしても、気にせず思いつく英語を使い、必死に伝えようとした。そうすれば当然当初よりは伝わり、やる気を認めてもらい、たくさん話しかけてもらえるようになった。つまり、伝えようとする気持ちが大切だということ学んだ。



▲ハイトラインを散歩

後輩へのアドバイス!

ぜひ友達やホストファミリーとお出かけを。

短期の語学研修を最大限に生かすなら、何よりもそれまでの準備が重要だと思う。行ってから集中してがんばったら…と思いがちだが、現地で単語帳や文法書を読むのは時間がもったいない。行くまでにできるだけ知識を増やしておいて、現地で実践するほうがいいと思う。渡航先での生活を妄想して使えそうなフレーズや単語を学んでおくのもいいし、映画やドラマで雰囲気をつかんでおくのもいいと思う。放課後や週末に、机に向かって勉強するのもいいが、せっかくの短い研修期間なので、ぜひ友達やホストファミリーと出かけていくといいと思う。私の経験上、机の上で勉強したことよりも、友達との会話やお店の人との会話の中で知ったことのほうが何倍も記憶に残りやすい。渡航までに現地での生活に夢を膨らませながら、渡航先のユーチューバーのチャンネルを見たり、渡航先に関する書籍・映画をたくさんみた。



▲ミュージカルブロードウェイ

もう一言!

言語はさまざま、人種もさまざま。

最後にニューヨークについてもう少し。私は以前、ニューヨークを目指すものは、ミーハーであるというイメージがあった。もちろん自分自身もそうであり、実際にニューヨークは流行の発信地である。それはあまりいい印象を与えない形容詞ではあるが、ミーハーであっていいと思う。就職する前、社会に出る前の大学生にとって、世界にアンテナを張って、流行や世界の流れをつかむことはかなり価値があることだと思う。世界の経済がここを中心に動いているということを、5 番街やウォール街を歩いても強く実感できる。地下鉄で物乞いをする人や、ワールドトレードセンター跡を見れば、世界で起こっている数々の問題に直視することになる。地図なんて見ながらとぼとぼ歩いていたら、迷惑がられるかもしれない忙しい街だけど、どこに行きたいの？と声をかけられ、助けてくれるあたたかい街でもある。聞こえてくる言語はさまざまで、人種もさまざまで、カオスでおもしろい。そして、とてもフレンドリー、まさにサラダボウル。研修先を迷っているならニューヨークでは非!!

イギリス

センター・オブ・イングリッシュ・スタディーズ ウィンブルドン校

Centre of English Studies Wimbledon



人文学部
英語英米文学科
2 年次生
中岡 沙月
〈私立済美高等学校出身〉
Satsuki Nakaoka



研修機関や授業

日常で役立つ授業のテーマ。

CES 語学学校は全校生徒がおよそ 40 人程の小さな学校だったこともあり、ほとんどの生徒が顔なじみでした。1 階に共用スペースがあるので休み時間や放課後、他のクラスの友人たちとも会話を楽しめます。入学初日にクラス分けテストで 5 段階のクラスに振り分けられます。内容は文法問題と英作文の筆記試験の後に先生とのスピーキングテスト。私は上から 2 番目のクラスに入り、様々な国籍の生徒と共に学ぶことが出来ました。授業は 9 時半から 13 時で、途中 30 分の休憩を挟みます。午後の授業も受講するコースもありますが、午前の授業だけでも内容は十分充実しています。担任の先生は 2 人とも学校で早く喋る事で有名な先生でしたが、おかげでリスニングは 1 か月で随分鍛えられました。週ごとに授業のテーマがあり、毎週末にテストがあります。経済や医療関係、航空関係などテーマは多岐にわたりますが、どれも日常で役立つものばかりでした。授業内容自体はさほど難しいものではないのですが、他の生徒の発言力や反応の速さに最初は気後れしていました。しかし、折角の時間を無駄にしたいと感じ周りを気にせず積極的に発言すると授業も楽しくなりました。



▲いつも仲良しだったみんなと卒業式で

衣・食・住

多文化に触れ学ぶことは貴重な体験。

2 月頃、イギリスは特に寒いと思い込んでいましたが日本と気温は大して変わりません。けれど、イギリスの天気は変わりやすく雨もよく降ります。現地では大雨ではない限り傘は使わず、上着で雨をしのぎます。なので、濡れてもいいフード付きの上着はとても重宝しました。また、イギリスの料理は美味しくないと言われていましたが、外食をしても家で食事をして也十分美味しかったです。ただイギリスは物価が高いので外食をする場合、お昼は安くても 1,000 円以上はかかります。カードは使えるところがほとんどですが、友達と食事をする場合現金の方が便利だと感じました。ステイ先にはホストマザーと彼女の姪がいて、3 人で暮らしていました。その家庭では 8 年前からホームステイの受け入れをしていたので個室も綺麗で設備が整っていました。私のホストマザーはインド人でしたが彼女はイギリスに住んで長いのでイギリスの家庭料理を作ってくれました。イギリスに留学するから、全ての受け入れ先がイギリス人という訳ではありません。

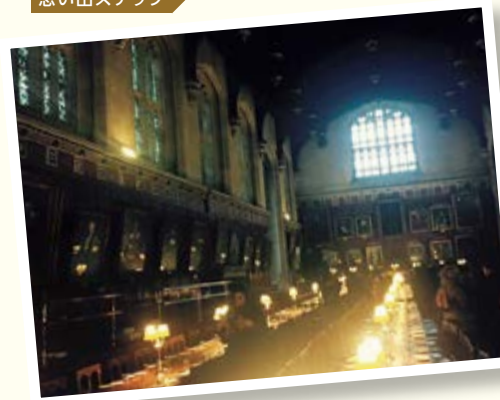
けれど多文化に触れ、その人の人生から学ぶことは貴重な体験であり、非常に価値のあることだと実感しました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ウィンブルドン
- 研修期間：2016 年 2/8 ～ 3/4 【26 日間】
- 研修講座・コース名：Standard General English Course
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……551,770 円
- ・食費……25,000 円
- ・交通費……20,000 円
- ・通信費……30,000 円
- ・その他……6,000 円
- <合計> 632,770 円
- 助成金支給額……400,000 円
- 自己負担額……232,770 円



思い出スナップ



▲ハリーポッターの食堂
オックスフォードのクライストチャーチにて



▲高層タワー Sky Garden

得たもの・学んだもの

自分の英語力に自信を持つ事ができた。

このイギリス留学は 1 か月でしたが、自分にとって重要な期間でした。私は 1 日でも無駄にしたくなかったので、とにかく自分から友人を誘って英語を話す機会をできるだけ作りました。それと同時に日本語は極力使わない生活を心掛けました。以前の自分と比べ、積極的に行動がとれるようになったと感じています。これまで勉強してきた事や、自分の英語力に自信を持つ事が出来ました。その一方で改善点や反省点も勿論あり、自分自身と真剣に向き合えた時間でもありました。実際に他国に訪れ、その場所で生活をする多くの人と出会い、異文化に触れることができます。大切なことは出身地や肌の色や宗教ではなく、その人自身です。まずは自分が心を開き、相手に興味を持つことが人との関わりを深めることで重要なことだと学びました。もし英語を勉強していなかったら、イギリスへ留学することも、皆に出会い、別れを惜しむこともきっとありませんでした。そう考えると言語学習がどれほど価値のあるものかということを思い知らされます。



▲ドイツのパンケーキ Camden Market

後輩へのアドバイス！

準備期間の勉強量が大切。

語学留学はこれまでにどれだけ自分が勉強したか確認する答え合わせのようなものだと考えています。特に短期だと時間に限りがあるので、準備期間の勉強量が大切になります。留学に行くことと英語が自然にできることはありません。それらを踏まえて留学準備をすると有意義な留学生活が送れると思います。また、現地で日本のことを聞かれることがあります。本当によく聞かれます。経済や保険制度も授業テーマになりました。日本人としての基礎知識もあらかじめ頭に入れておくと思いいます。イギリスで人気だったのは漫画の「NARUTO」で、多くのイギリス人や留学生に漫画の話を振られました。話を広げられず…もったいないことをしたな、と感じました。留学で最も重要なことは授業でも私生活でも積極性だと感じました。実際、日本人の学生は日本人同士で固まる傾向がありました。そうすると、ただの旅行です。どんな留学生活を送るかは自分次第です。とにかく勇気を出して友人の輪を広げ、他国の人たちと関わって欲しいと思います。



▲韓国の友達ソヤンと

もう一言！

友人との出会いと思い出が財産に。

いつでも連絡をとれるようにポケット Wi-Fi を持参しました。けれど、ステイ先や学校でも Wi-Fi 環境が整っていたので絶対に必要という訳ではありませんでした。また、現地からは毎週研修報告を国際センター宛に送るので PC がある方が便利だと思います。私は長年、英会話をイギリス人の先生に教えて貰っているのでイギリス留学は小さな頃からの目標でした。古き良き街並みや歴史的建造物、そしてイギリス英語に漬かれるのも魅力の一つでした。実際に訪れてみて、私の思い描いていたイギリスそのものでした。そこで出会った友人はチリ、イタリア、ウクライナ、韓国など国籍は様々ですが、帰国した今でも連絡を取り合うくらい仲良くしています。この出会いと思い出は私にとって財産になりました。留学を終えて、支えてくれた家族や応援してくれた友人たち、最後までお世話になった国際センターのみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも英語学習に力を入れて精進していきます。



▲ロンドンの代名詞 Big ben

カナダ

ユーロセンタース トロント校

EUROCENTRES TORONTO



経済学部 経済学科
3 年次生
橋本 孝大
(愛媛県立今治北高等学校出身)
Takahiro Hashimoto



研修機関や授業

ミスを恐れず英語で話すことが大切。

私が 3 週間通ったユーロセンターストロント校はトロントの中でも都会に位置し、周辺にはケバブやピザ等おいしい料理があるお店があります。トロントは電車、バス、ストリートカーといった交通機関が充実しており、通学や放課後に遊びに行く時もとても便利でした。登校初日にオリエンテーションを兼ねてリーディング、リスニング、スピーキングの 3 つテストを受けクラス分けが行われました。授業は私は週 25 時間コースを選択したので、核となる午前中のクラスと選択の午後のクラスを受けました。午前のクラスは、「現在進行形」や「付加疑問文」等 1 週間毎に何を学ぶかが決まっていってプリントを基に議論やペアワークをしながら進めていくという形でした。午後のクラスは、話すこと中心でゲームをしながら楽しく英語を学んでいくという形でした。クラスは毎週数名入れ替わり、私のクラスは日本人数名とコロンビアやスペイン、イタリア等多くの国の方々がいました。クラスメイトも優しく、楽しく授業を受けることができました。校内は英語のみという決まりが徹底されていますが、先生方は丁寧に聞いてくれるので、ミスを恐れず身振りを交えて英語で話すことが大切であると感じました。



▲ CN タワーにて

衣・食・住

ホストマザーがランチを作って持たせてくれた。

私が研修を行った 2 月のトロントはとても寒い時期でした。私が滞在中に NBA のオールスターゲームがありました。その日は気温は -30 度と日本に住んでいるときには考えられない気温になりました。なので、しっかりと防寒対策をしていくことが大切です。食事はホストマザーから朝は自由にシリアルかパンを食べてねと言われ、昼はいつも学校にもっていく用のランチを作ってくれました。そして、夜は子供 5 人、ハウスメイト 3 人と大変多い家庭だったので電子レンジで自分の好きなタイミングで温めて食べるという形でした。夕食は肉類が中心でしたがおいしかったです。また、それ以外にも学校の友達と食べに行く機会が多くピザやケバブ等とてもおいしいものばかりでした。軽食という面では Tim Hortons というコーヒーやドーナツを安い値段で売っている店がいたる所があり、ほぼ毎日のように行っていました。住む環境は節電とシャワーは 10 分まで、洗濯は週 1 回という規則がありました。特にシャワーは慣れるまでは大変でしたが、それ以外に何か困るようなことはなく、何よりホームステイ先の両親、子供達が皆親切だったので楽しい日々を過ごすことができました。



▲トロントのパーマディソンにて

休日・余暇の過ごし方

友達とショッピングや博物館、動物園などへ。

私は 3 週間と短い滞在だったので授業がない時はほぼどこかに出かけていました。友達とショッピングに出かけたり、水族館、バー、図書館等多くの場所に行きました。毎週水曜日は学校近くのバーが安いので学校のみんなで行きました。また、CityPASS というチケットを購入して CN タワー、ロイヤルオンタリオ博物館、カサロマ、トロント動物園、オンタリオ科学センターの 5 つの観光スポットをお得に回りとても楽しかったです。博物館はカナダ最大で初めて見るコレクションばかりで興味深かったです。カサロマは実業家ベラット卿によって建てられた小さな丘の上にある大豪邸で、部屋が 100 室近くあり圧倒されました。動物園は世界中から集められた様々な動物が飼育されていて 1 日で回り切れない程大きかったです。オンタリオ科学センターは遊びながら科学について学べる場所で子供が多かったですが、大人でも充分に楽しめてみんなではしゃぎました。これらの場所は日本人、外国人の方両方で行ったのですが、たくさん話しているうちに英語での会話がスムーズにできるようになりました。どこへ行くにもメトロパスという主要交通機関が乗り放題のカードを購入して行くので便利でした。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：トロント
- 研修期間：2016 年 2/8 ～ 2/26 【19 日間】
- 研修講座・コース名：インテンシブ (25)
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費 (滞在費含む) …… 380,120 円
- ・渡航準備・査証取得費 …… 11,000 円
- ・食費 …… 20,000 円
- ・交通費 …… 16,600 円
- ・その他 …… 33,000 円
- <合計> **460,720 円**
- 助成金支給額 …… 325,570 円
- 自己負担額 …… 135,150 円



思い出スナップ

▼クラスの集合写真



▲「丘の上の邸宅」といわれたカサロマ

得たもの・学んだもの

様々なアプローチの仕方があること。

私がこの研修で得たもの・学んだものは「自分自身で物事を行う力」や「伝える力」です。今まで旅行等で県外に行くにしても誰かが友達と行っていました。今回、手続きなどを 1 人で行い、海外に行きました。行くときはとても不安で仕方ありませんでしたが、いざ終えてみるととても充実して楽しかったです。その過程で様々な経験をしましたが、無事やり遂げることができてこれからも様々なことに挑戦していきたいと感じました。「伝える力」は留学最初は周りの人に圧倒されまた、国による発音の違いにも慣れておらずあまり自分から話せずにいました。また、自分の思いがきちんと伝わるのか等の不安もありました。しかし、途中から相手の言うこともしっかりと理解出来て、身振り手振りを交えながら主体的に自分から話せるようになりました。また、1 つの物事を伝えるのにも意味の似た違う単語を使用したりと様々なアプローチの仕方があることを学びました。その他、カナダや他の国出身の友達の文化、母語等も学ぶことができ新しい発見がありました。



▲水族館の水槽を背景に撮った写真

後輩へのアドバイス!

わからないことは積極的に聞くこと。

まず言えることは、迷うなら行くべきだと思います。私は、日本語も通じず、携帯も Wi-Fi 以外使えないという状況でやっていけるのだろうかとても不安でした。しかし、実際に行ってみると毎日が新鮮で楽しく 3 週間が短すぎて帰りたくないという気持ちになりました。また、積極的に話しかけるべきだと感じました。道には何度も迷いましたがその度に周りの人に尋ねると親切に教えてくれました。中には向こうから話しかけてくれる方もいました。多くの人に助けられましたが、その後に話をする機会も多く、向こうの文化も多く理解することができました。ホームステイ先の決まりも何かわからないことがあれば積極的に聞くことが大切です。私は主に朝、話す場面が多かったですが、いつも笑顔で受け答えしてくれました。子供に対してもカナダの学校の体育はどんなことをしているのか等の会話をしました。これらの経験を通して英語力の伸びを感じ取ることができました。また、私は観光地に行く前は「地球の歩き方」という本を読んでいました。詳しくて参考になりました。



▲ピンポンやお酒と一緒に楽しんだ友達

もう一言!

困ったときは冷静な行動で解決できる。

私のホームステイ先は玄関で靴を脱いだので一応スリッパを持って行った方がいいと思います。私はたまたま、体育館シューズを持っていたのでそれを代わりに使いました。また、帰る前日に学校のみんなとバーに行っていて帰りが遅くなってしまう、電車は通っているが駅から自宅近くのバスが止まってしまいました。その時、たまたま近くにいたトルコ人の他の学校の学生とシェアタクシーをして帰りましたが、これもいい経験となりました。その他通学中に雪の影響で電車が止まることもありました。いざ、困ったりしたときは冷静に行動すれば解決できるので自分の状況を周りの人に伝えてみるべきだと感じました。また、学校ではピンポンができるようになっており私は休み時間は毎回のように参加していました。それを通して、違うクラスの友達も多くできたのでアクティビティにも積極的に参加した方がいいと感じました。私は Wi-Fi を持ち歩きましたが、家や学校、カフェ等では基本無料で接続できるので特別不便と感じることはありませんでした。

オーストラリア

イングリッシュカレッジオブアデレード

English College of Adelaide



人文学部
英語英米文学科
4 年次生

丸山 紗輝

(愛媛県立松山中央高等学校出身)
Saki Maruyama



研修機関や授業

クラスメートも先生もとてもフレンドリー。

研修機関では 4 クラスにレベル分けされて授業を受けます。1 クラス 9 人程で、毎週月曜日に新しい生徒が入ってきたり減ったりで多少の増減がありました。クラスメートも先生もとてもフレンドリーでアットホームな雰囲気でした。最初は打ち解けることができるか不安でしたが、良いクラスメートに恵まれてすぐに溶け込めることができました。また、生徒の年齢層は高く、アデレードで仕事をする為、生きる為に勉強をしに来ているという人が 8 割程だったのでレベルも全体的に高くモチベーションが上がりました。授業内容としては文法、リスニングとスピーキングの練習が半々程でした。毎週金曜日に 2 週間分のテストとアクティビティが交互にあります。私が参加したアクティビティはナショナルパークにハイキングで、クラス関係無く研修校の友達や先生と仲良くなれて山で昼ご飯を食べました。野生のコアラや野鳥も見ることが出来ました。他にもスポーツ大会や観光地巡りなどのアクティビティもあるそうです。また、私の研修期間中にはプレゼンテーションテストもありました。先生は生徒の質問や疑問にも優しく親身に答えてくれるので質問しやすかったです。



▲マザーの孫が遊びにきた！

衣・食・住

熱中症予防にこまめに水分補給を。

2 月のオーストラリアは真夏だと聞いていたので覚悟していたのですが、アデレードはとても過ごしやすい気候でした。昼は暑くても夜はかなり冷えるので長袖の上着などを持っていくことをお勧めします。大体日中は 26 度程の日が多く、日本のように湿気は無いので汗をかくことは殆どありませんでした。しかし、2 日程 40 度を超える日がありました。急に気温が変わるので天気予報は毎日確認する方が良いです。また、熱中症予防にこまめに水分補給と日焼け止めを塗ることも必要です。サングラスもあった方が無難です。食事はホストマザーが料理好きでとても美味しく、ある日は和食、ある日はイタリアン、タイ料理というように飽きがこないように作ってくれました。ワインもとても美味しいです。オーストラリアは色々な国のレストランがあるので外食も楽しめました。和食レストランもたくさんあって日本食が恋しくなる心配もありませんでした。衣類は一応多めに持っていたのですが、現地で買うことができるので少な目にしておいて足りないと思ったら現地で買うことをお勧めします。サイズもアジア人に向けた小さな目のサイズがきちんと売ってあります。デザインも可愛いです。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：アデレード
- 研修期間：2016 年 2/8 ～ 2/26 【19 日間】
- 研修講座・コース名：17.5 hours per week
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……602,000 円
- ・渡航準備・査証取得費……36,000 円
- ・食費……13,000 円
- ・交通費……16,000 円
- ・通信費……17,000 円
- ・その他……120,000 円
- <合計> 804,000 円
- 助成金支給額……400,000 円
- 自己負担額……404,000 円

休日・余暇の過ごし方

無料のバスやトラムが走っている。

放課後、休日は基本的にホストファミリーがクラスメートと出かけていました。到着した時は一人ぼっちで本当に心細く不安だったのですが、優しいホストファミリーとクラスメートのおかげでその不安はすぐに消えました。アデレードの街は大きく小さいで迷いやすい私でもすぐに覚えることができました。シティ内は無料のバスやトラムが走っているので移動も本当に簡単です。休日や放課後はホストファミリーが散歩やドライブ、観光地巡りに連れて行ってくれました。パロッサバレーでのワイナリー巡り、マザーの勤務先のアデレード大学の見学、散歩中に発見してくれた野生のコアラ、夜のアデレードのイルミネーション、アデレードフェスティバル、動物園でのコアラの抱っこ体験など、本当に書き切れないくらいの素敵な思い出を一緒に作ってくれました。クラスメートも私が 3 週間しか滞在しないと話すとそれじゃあ沢山思い出作らないとね、と言って、放課後は一緒にショッピングや無料で見れる植物園や美術館に、休日にはクラスでハンドルフやポートアデレードに連れて行ってくれました。ホストファミリーにも本当に感謝しています。



▲マザー勤め先のアデレード大学



思い出スナップ

▼コアラ抱っこ



▲クルーズでイルカウォッチング

得たもの・学んだもの

実際に声に出して英語を使うことが大切。

たった 3 週間だと思っていましたが、3 週間得たもの学んだものは本当に沢山あります。授業でもやってきたし話せるだろうと思っていたものの、いざ英語で話そうとすると緊張と不安で伝えたい言葉が出てこず歯がゆい思いをすることが沢山ありました。当たり前ですが、今まで出会ったことの無い・聞き覚えのない英語の質問ばかりで、教科書通りの返事だけでは会話は成り立ちません。到着したばかりの頃は聞いたことの無い質問をされるだけで混乱してしまい返事をするに怖気づいてしまいました。先生が言っていたが、ピアノの楽譜を読むだけではピアノは弾けない様に、英語も文法や単語を覚えるだけでは意味は無く、実際に声に出して使わないと意味は無いなと思いました。もっと日本でも英語を話す機会を持ちたいです。また、ホストファザーが仕事柄とても綺麗なイングリッシュ・イングリッシュを話せる人で家で時々発音の仕方を教えてくれました。ニュースキャスターを意識し、口を大袈裟なくらいに動かすことと舌を正しく動かすことが大切なのだと分かりました。



▲ドイツの街ハンドルフ

後輩へのアドバイス！

海外で勉強した思い出と自信は一生の宝物。

もし助成金制度への応募に迷っている人がいたら是非応募してみてください。一人で計画して一人で海外に行き語学勉強をするということはとても勇気のいることですが、その達成感と得た思い出と自信は何物にも代えられません。一生の宝物になると思います。私はこの研修で自分の世界感が広がった気がします。今までは何をしてもリスクのことを考えてしまい踏みとどまることが多かったのですが、どれだけもったいない時間の使い方をしていたのだろうと気づくことが出来ました。参考文献としては事前に地球の歩き方を読んで気になる場所をチェックしていきましました。本を持っていくと荷物になるので気になる場所をチェックしておいて研修先でホストファミリーや先生、友達に行き方を聞くのがお勧めです。英語を話す練習にもなります。お金は現金とクレジットカードを半々で持って行ったのですが、ほとんどの店でカードを使えるし簡単なのでクレジットカードを多めに持っていくことをお勧めします。



▲大好きなホストファミリーとワイナリー巡り

もう一言！

アデレードの人々は親切でフレンドリー。

あまり聞きなれない都市だと思いますがアデレードは本当に良い街でした。研修先をここにして良かったと心から思います。大きな都市ですが人口はシドニーやメルボルンより少なく、英国風の美しい街並みに沢山の公園と自然があり人々がゆったりと暮らしています。景色を見ながら散歩するだけでも楽しかったです。色々な人種の人が暮らしていますが日本人は少ないです。街でも日本語を聞くことはほぼ無く毎日英語漬けでした。また、アデレードの人々はとても親切でフレンドリーです。道ですれ違おうと必ず挨拶をしてくれますし、バス停などで待っている時も話しかけてくれます。一度バスを間違えてしまい道が分からなくなってしまい人に尋ねたのですが快く道順を教えてくださいました。その時に近くを歩いていたおじいさんも立ち止まり大丈夫？と声をかけてくれました。治安もとても良く、ホストマザーが教えてくれたのですが、アデレードではバスに忘れられた鞆がきちんと警察に届けられるのだそうです。シドニーやメルボルンではありえないことだと言っていました。

ドイツ

F+U ランゲージ・アカデミー ハイデルベルク校

F+U Academy of Languages Heidelberg



経営学部 経営学科
3 年次生
星加 華那
(愛媛県立新居浜東高等学校出身)
Kana Hoshika



研修機関や授業

自分から進んで発言していくスタイルの授業。

私が通った F+U の研修校はバスや電車の停留所から徒歩 5 分で街の方にありました。学校の近くは店が多くあり、観光地も周囲に多くあるため人通りが多い場所でした。私は歴史を感じる部分が多くある街並みが好きでした。私が受講した授業は午前が 9:00 ~ 12:15。2 コマあり、1 コマ 90 分で休憩は 15 分です。午後は 13:00 ~ 14:30 までです。午前の授業はグラマー、リスニング、ライティング、スピーキングが学べるメインコースというものでした。午後は文法と会話を中心的に行うコースでした。授業は全部ドイツ語で進んでいきます。たまに生徒の理解が浅い箇所では英語で説明がされていました。また新しい単語が出て来る度に単語のつづりを黒板に書いてくださり、ジェスチャーと英語で意味を説明してくれていました。生徒はわからない単語や質問があればすぐに先生に尋ねます。問題の答えも一人ずつ当てていくのではなく、わかった人がどんどん答えていく、自分から進んで発言していくスタイルでした。授業で使う教室はよく変更されることがあったため、掲示板のチェックや先生が教室の場所を説明しているときは聞き漏らさないように気を付けていました。



▲友人とランチ

衣・食・住

空気が乾燥しているため水の携帯は必須。

私のホームステイ先では洗濯は日曜に週 1 回、シャワーは 6:00 ~ 22:00 の間であれば毎日利用してよかったです。しかし、シャワーは 1 回 10 分で済まないといけなかったため私にとっていつも時間との勝負でした。食事は朝はパンで、昼は友達と学校の近くのお店に食事に行ったり、お店で買ったものを次の授業の教室で食べていました。夕食は少し早いですが 17:00 頃にホストファミリーと食べていました。ホストファミリーの方はトルコ系の方たちで、トルコ料理が食卓に並ぶことが多かったです。驚いたことは、一瞬お米かなと思ってしまうパスタがあり、日本米より細長めのお米の形をしたパスタがあったことです。作って下さる料理はどれもとてもおいしかったです。スーパーの食品は日本より安く売られています。ドイツは、日本より空気が乾燥しているため水の携帯は必須です。そのためよく私が利用していたスーパーでは、1.5L の水が 60 円程度で売られていてとても助かりました。また水にも種類があります。強めの炭酸が入った Classic、少し弱めの炭酸入り Middle、炭酸無しの Still です。炭酸が苦手な方は買う前に表示の確認をお勧めします。



▲ハイデルベルク城

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ハイデルベルク
- 研修期間：2016 年 2/8 ~ 3/4 [26 日間]
- 研修講座・コース名：週 30 レッスン
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
 - ・研修費 (滞在費含む) 414,000 円
 - ・渡航準備・査証取得費 16,000 円
 - ・食費 15,000 円
 - ・交通費 11,000 円
 - ・通信費 15,000 円
 - ・その他 53,000 円
- <合計> 524,000 円
- 助成金支給額 387,000 円
- 自己負担額 137,000 円



思い出スナップ



▲先生とクラスメイトと



▲ノイシュヴァンシュタイン城

得たもの・学んだもの

自分の気持ちが上手く伝わったときの嬉しさ。

この研修では、様々な人々と出会うことができました。語学学校に学びに来ている人は国、性別や年齢も違えばもちろん目的も皆さんそれぞれです。ワーキングホリデーを利用して来ている人や他の国で働くためのステップとしてドイツ語を学びに来ている人など。様々な人たちと出会い、話すことで自分とは異なる考え方や人生観を知ることができました。考え方を柔軟に変えることで、新しいものの見方ができ自分の世界が広がっていくことを発見しました。初めての外国、ドイツ語が溢れている毎日、親切にしてくれたホストファミリーやクラスメイトの方々、本当に私にとってこの 1 カ月は大事な時間でした。語学では、自分の気持ちが言葉で上手く伝えることができず何度ももどかしい気持ちになったこと、相手に上手く言葉が伝わったときの嬉しさ、もっと話せるようになりたいと思った気持ちを知りました。現地で、聞く、話す、学ぶことの大切さを感じました。この 1 カ月の経験は、私の考え方や今後の語学学習にとって良い助けや支えになることは間違いありません。



◀ホストファミリーと

後輩へのアドバイス!

少し英語が話せると友達が作りやすい。

事前準備としてリスニング力を鍛えることをお勧めします。私が留学して特に困ったのがリスニング力だったからです。初日の授業では先生の説明が全くわからなくて非常に焦りました。徐々に聞き取ることができるようになったのですが、聞き取れるようになるまでは何を質問されたのか理解できず何度も聞き返してしまい先生やクラスメイトには迷惑をかけてしまいました。ドイツでの先生が教えてくださった勉強法は、リスニング力を上げるには単語を発音の仕方とともに覚えることです。またドイツ語の音楽、テレビ、映画、子どもの絵本等を聞いたり、見たり、読んだりするようにとも言われていました。基本的にクラスメイトとの会話は英語のため、少しでも英語が話せることができれば友達作りやすいと思います。他には事前に観光場所のピックアップや行き方を調べておくのも良いです。語学を勉強するのも大事ですが、その土地の文化に触れたり、一人で遠い場所まで鉄道に乗る体験はなかなかたまらないものがあります。観光が 1 週間の楽しみの一つにもなります。



▲イベントのアシスタント 試食会

もう一言!

外出時のために Wi-Fi ルーターがあると便利。

1 カ月の研修ということもあり現地には日本で使っていた携帯を持って行きました。学校やホストファミリーの家には Wi-Fi があり普段はこれだけでも生活できます。しかし外に出かけたり、観光に行く際にはネットが使えないため、日本でレンタルし持参していた Wi-Fi ルーターが役立ちます。遠い観光地に行った際に、地図や電車情報で助かりました。たまにドイツでは電車が遅れることがあるのですが、駅で電車の遅延情報を確認するときにも使っていました。そのため Wi-Fi ルーターがあれば便利です。私が滞在していた家のホストファミリーの方たちは、日本のことに関心を持ってくださっていたため研修最後の週に感謝の気持ちも込めて天ぷらと手巻き寿司をご馳走しました。非常においしいと喜んでくださいました。材料は現地のスーパーやアジアスーパーで手に入れることができます。また子どもたちとは、持参していた折り紙で遊び楽しんでもらえました。ホストファミリーにもよりますが、何か日本の物を持っていったり紹介すると喜んでくれると思います。

アメリカ

ELS サンタモニカ校

ELS Language Centers



経済学部 経済学科
3 年次生
大野 健太
(倉敷市立倉敷南高等学校出身)
Kenta Ohno



研修機関や授業

観光をしながら英語を学ぶコース。

ELS サンタモニカ校はショッピングス
ポットで有名なサードストリートプロ
ムナードの中にあります。観光地の中にあ
るため、すぐにサンタモニカの様々なと
ころに観光に行けることが魅力です。また、
すぐそばにビーチがあり、景観も素晴らし
いです。ELS では観光をしながら英語を学
ぶアメリカンエクスプローラーというコー
スを選択しました。クラスを決めるテスト
は選んだコースに関係なく、全員が同じ内
容のテストを受けます。ELS では 101 から
112 までがあり、112 が一番上のクラスで
す。今回私は 106 のクラスで学習しました。
私のコースは一日 50 分のクラスを 3 時限
受けるものでした。僕のクラスの生徒は僕
以外大学進学を目指すコースを選んでいた
ので、一日 6 時限受けていました。授業内
容は文法の授業が 2 時限、リーディングの
授業が 1 時限でした。今回授業を受けてみ
て新鮮に感じたことは英単語や文法の意味
を噛み砕いた英語で答えないといけない
ということでした。発表が中心のアメリカの
授業では文法を理解しているということ

を自分の英語で説明
する必要があるか
らです。このこと
により、簡単な単
語だけで色々なこ
とを話せるよう
になりました。



▲最終地点ルート 66

衣・食・住

日差しが強いためサング
ラスと日焼け止めが必須。

サンタモニカは日本の夏に比べて湿度
が低く、汗が出ない程涼しかったの
で毎日過ごしやすかったです。しかし、日
差しは日本よりも強いのでサングラスと日
焼け止めが欠かせなかったです。ロサンゼ
ルスの食べ物や飲み物は日本よりも高か
ったです。なので、外食をたくさんしていた
私は食費がかさんでしまいました。でも、
サンタモニカにはおいしいお店がたくさん
あったので後悔はしていません。特に
おいしかったのはやはり本場のハンバー
ガーでした。ハンバーガーの大きさも日本の
とは比べ物にならないし、何よりパティが
ジューシーで忘れられない味でした。また、
ロサンゼルスにはオシャレなカフェがた
くさんあったので、あるカフェでコーヒ
ーを 1 杯だけ飲んでまた、別のカフェに行
ったりして西海岸のオシャレな雰囲気を
堪能出来ました。ロサンゼルスには日本
食や中華など様々な国の料理がありますが
、どれも大したことない味の割に高い
ので、あまりおすすめしません。また、
食費にあまりお金を

掛けたくないけどア
メリカらしいものを
食べたいという人
は地元のスーパー
の惣菜の量り売り
を買うことをお
すすめします。レ
ストランと同じく
量の量を買って
も安く済みます。

ハンバーガー▶

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ロサンゼルス
- 研修期間：2016 年 8/22 ～ 9/16 【26 日間】
- 研修講座・コース名：American Explorer
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……………432,160 円
- ・食費……………40,000 円
- ・交通費……………10,000 円
- ・その他……………108,625 円
- <合計>……………590,785 円
- 助成金支給額……………400,000 円
- 自己負担額……………190,785 円



思い出スナップ

▼ディズニーランド



▲ヴェニスビーチ



得たもの・学んだもの

何度でも挑戦していく
ことが大事。

この研修で学んだことは違う文化の国
に行っても、遠慮せず、怯まずに何
事にも挑戦していくことが大切だとい
うことです。私が今回の研修で選んだ
コースは観光しながら英語を学ぶとい
うものでした。しかし、このコースは
学校側がクラスの人たちを集めて放課
後に何かイベントを行ってくれるとい
うものではありませんでした。なので、
友達を作るためには何かのイベントを
待っているのではなく、授業などで
自分から他の人に声を掛ける必要があ
りました。しかし、私のクラスの雰囲
気はあまり良くなく、休憩時間には同
じ国の同士が母国語で会話をしてい
る状況であったため、最初、私は友
達を作れずにいました。一度、思い切
って休憩時間に話に行ってみたので
すが、母国語で話合っている同じ国
の人の輪の中に入ることはかなり難
しく失敗に終わりました。しかし、私
は諦めずに授業中のペアワークの時
にもう一度同じ人に話しかけると今
度は成功しました。このように、何
度でも挑戦することが大事だと今回
感じました。



▲ラスベガス

後輩へのアドバイス！

自分から積極的に話し
かける。

ずかしがらずに、自分から積極的に
他の人に話しかけることがとても大
事なことだと今回の留学で感じまし
た。いくら事前リスニングや英会話
の勉強をしていたとしても、実際に
留学先に行くとき、自分が思ったこ
とを上手く伝えられなかったり、相
手との会話が続かなかったりして
自分から話すことをためらうようにな
ります。だからといって、話すこと
に消極的になっていたらせっかく留
学した経験が無駄になってしまいま
す。なので、自分が思ったよりも話
せなくても自分から積極的に話して
いくことが大切です。やはり、最初
は話せなくても、積極的に話しかけ
ていくことで、リスニング力も会
話力も自然に上がって行きました。
また、ただ話すだけでなく、自分
の意見を言うことも大切です。外
国では日本と違って、会話をし
ていると「あなたは思う？」や「
あなたは思う？」と自分の意見を
聞かれることがあるからです。そ
こで、「どうも思わない」や「ど
っちでもいい」という曖昧な返
事をすると、相手は自分をばかに
していると勘違いするからです。

もう一言！

バスの路線と番号を調
べられるアプリが便利。

私が現地で役に立ったのは Transit
という近くのバスの路線とバスの
番号を Wi-Fi が無い環境でも調べ
ることができるアプリでした。また、
このアプリは Wi-Fi 環境がある場
所ではバスが今どこを走っている
のかを GPS で示してくれました。
なので、毎日語学学校に行く際
にバスがどれくらい遅れているか
を家で調べて、遅れそうだったら
早く家を出るようにしていました。
また、私は Wi-Fi ルーターの契約
をしていなかったで、現地の通信
手段は Wi-Fi だけでした。ですが、
ホームステイ先、語学学校やス
ターバックスなどでは Wi-Fi が使
えたので、特に不便はなかったで
す。また、パソコンも一応持ってい
きましたが、一度も使わなかったで
す。また、現地ではタクシーより
安い Uber という乗り物を使用し
ている学生が多くいたのですが、
それは、アプリで位置情報を送信
してきてもらうものだったため、
外で Wi-Fi が使えなかった私は
残念ながらそれを利用できませんでした。



▲グランドキャニオン

イギリス

ミルナースクールオブイングリッシュ ウィンブルドン

Milner School of English, Wimbledon



人文学部
英語英米文学科
3 年次生
井出 晶子
(愛媛県立今治西高等学校出身)
Shoko Ide



研修機関や授業

自分から質問したり発言したりする。

私が選んだ研修先は、首都ロンドンへ地下鉄で 20 分ほどで行ける、ウィンブルドンという街にある語学学校でした。住宅街の中にあるアットホームな学校で、日本人も数人いて、周辺も便利な環境でした。私は午前も午後も授業をとり、入学初日にマーク式の文法テストとスピーキングテストを受けました。その結果私が入ったクラスには、様々な国から来た学生がいて、みんな授業外でもよく英語で話していて仲が良く、先生も学生の話をよく聞いてくれるフレンドリーな雰囲気でした。初週は、クラス内での討論合戦に全くついていけず、先生に相談に行ったほどですが、そこで親身に話をきいてもらえたおかげで、CD を借りて家で対策をするなど、クラスを変えず踏ん張れました。次第にコミュニケーション中心の環境に慣れ、自分から質問したり発言したりするようになりました。例えば世界の災害を扱った授業では、地震や津波について先生やクラスメイトから聞かれ、日本について自分の言葉で説明する機会もありました。日本では教わらない意味合いまで学べるのは、海外で英語を学ぶ大きな利点だと思います。最終週では、クラスで一番自信をもって積極的に授業に参加できました。



▲旧型 2 階建てバスで観光

衣・食・住

長袖の羽織れるものと折り畳み傘が必需品。

ホームステイで私がお世話になったのは、50 代のマザーが一人で住んでいるお宅でした。緊張して行った私に“ここを自分の家だと思って生活してね”とってくれる、笑顔の絶えない優しいマザーでした。学校へはバスを乗り継いで約 20 分かかりましたが、通学の間に憧れの赤い 2 階建てバスに乗れたので楽しめました。食事に関しては、朝はシリアルやパンを自分で食べ、お昼は学校のカフェテリアでサンドイッチを買うのがほとんどでした。夜は健康志向のマザーが、体にいい食事と野菜・果物を十分に用意してくれました。さらに、私と同時期にイタリア人女性が一週間、イタリア人女子高生 2 人が 2 週間滞在しており、初めはお風呂やトイレのタイミングで少し不便を感じましたが、仲よくなると都合を聞いて配慮し合いました。食事の際にマザーや学生とお互いの国のことを話せて面白かったですし、結果的にホームステイを選択してとてもよかったと思います。また、晴れていたのに急に雨が降るなど、やはりイギリスの気候は変わりやすく、20 時でも外が明るいことや朝晩と昼の気温差があることにもしばらく慣れませんでした。長袖の羽織れるものと折り畳み傘は必需品でした。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ウィンブルドン
- 研修期間：2016 年 8/8 ～ 9/2 [26 日間]
- 研修講座・コース名：General English(22 hours)
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む).....573,000 円
- ・渡航準備・査証取得費.....16,000 円
- ・食費.....18,000 円
- ・交通費.....37,000 円
- ・その他.....13,400 円
- <合計> **657,400 円**
- 助成金支給額.....400,000 円
- 自己負担額.....257,400 円



思い出スナップ

パブにて、フィッシュ&チップスとビール



▼友達とロンドンで



▲午前のクラス全員で記念写真

得たもの・学んだもの

雑談からお互いの距離が一気に縮まった。

私が今回最も学びになったのは、異文化理解です。学校にはアジアや中東、ヨーロッパから南米まで、本当に様々な国から来た学生がいて、授業内で世界のトイレ事情から災害、政治まで、各国の特徴をお互いに紹介しあいました。しかしそれ以上に異文化理解を感じられた瞬間があります。先ほど、ステイ先でイタリアの女子高生 2 人が同じ時期に住んでいたことを述べました。生活習慣の違いや共同生活の不便さを感じて、初めは二人を少し避けて生活しました。しかし、マザーが不在の日に 3 人だけで夕食をとったときにお互い少し雑談するうちに、この子たちも私と同じ年頃の女の子なんだと思えました。日本のアニメの話から盛り上がり、日本にとっても興味を持ってくれましたし、私もイタリアのことをたくさん教えてもらいました。その日を境に 2 人との距離が一気に縮まったように感じました。日本語もたくさん覚えてくれて、その子たちとは今でも連絡を取り合う仲です。異文化理解はこんな些細なことからやっと始まるのだと知れたことが、私にとってはとても大きな経験でした。



ホストマザーとイタリア人女子学生と▲

後輩へのアドバイス!

持ち歩けるサイズのガイドブックで情報集め。

私は、この助成制度での単独留学を、大学に入ってから目指していました。出発が近づくと、1 人で日本語が通じない異国に飛び込む怖さと不安で潰れそうでしたが、実際に行くと、当然ですがイギリスも同じ地球でした。現地の人々やクラスメイトは必ず私を助けてくれて、拙い私の英語も目を見て聞いてくれました。しかしそのためには、自分の口から不安や疑問を打ち明けて、意思を伝える必要があります。意外と言いたいことは通じます。自分の中で一線を通り超えてしまえば、自分で何でもできるのではないかなと思うようになります。そのうち時間は一瞬で過ぎて、日本に帰ると自分に様々な変化が起きていることに気づけます。1 人で行くことに意味があったのだと、今は心から思います。もちろん経験は人それぞれだと思いますが、少しでも留学に興味がある方が、挑戦しようと思ってもらえると私はとても嬉しいです。事前に持ち歩けるサイズのガイドブックを買って行きたい所ややりたいことに目星をつけておくと、楽しみが増えて、現地で時間を上手に使えると思います。

もう一言!

日本文化はどの国の人にも興味を持ってもらえる。

インターネットについては、私は現地に自分のスマートフォンを持っていき、Wi-Fi が使えたマザー宅と学校、街のカフェでのみ利用しました。日本との連絡手段としては十分でしたが、街歩きには、ネットが自由に使えるようにポケット Wi-Fi 等を用意した方が便利かもしれません。しかし、私のようにガイドブックと現地の人との交流でも観光は十分楽しめるので、必ず要するというわけではないと思います。人々との連絡先の交換方法としては、LINE はあまり主流ではないので、Facebook や Instagram を利用しておくことをおすすめします。また、私はフェイスマスクと日本食を自分用に用意していましたが、マザーや友達に紹介してプレゼントすると喜ばれました。折り紙も何枚か持ち込み、最終日に感謝のメッセージを書いて先生や友達、マザーに折って渡しました。やはり日本の文化はどの国の人にも興味を持ってもらえます。成人式の様子や桜、お祭りなど、今まで撮った写真の中から話題を探すのもとてもよいと思います。是非楽しんでくださいね!

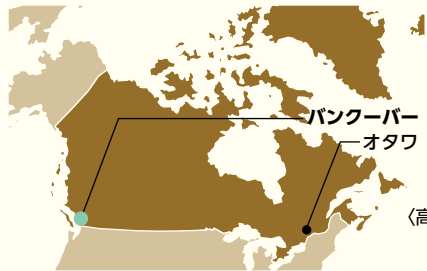


▲ホストマザー宅で家族と BBQ

カナダ

ユーロセンタース バンクーバー校

EUROCENTRES Vancouver



人文学部
英語英米文学科
2 年次生
川西 奈緒
(高知県立中村高等学校出身)
Nao Kawanishi



研修機関や授業

習った文法をすぐに会話という形で実践。

私の通った語学学校は小規模ではありますが、国籍が豊かで、生徒同士はもちろん、生徒と教師間の仲もよく、アットホームな雰囲気溢れる素敵な学校でした。学校に着くと English only という決まりが厳しく徹底されており、もし先生の耳に英語以外の言語が入れば、イエローカードを渡されます。このカードが 3 枚たまると 1 日学校に来てはいけないというペナルティーが課されます。授業体制としては、担任・副担任制でクラス人数は 10 ～ 14 人程度、私のクラスはミドルクラスで夏休み期間中ということもあり、日本人が多かったです。授業内容はグループワーク・ペア活動が多く、その日に習った文法をすぐに会話という形で実践したことで、より効率的に習得できたのではないかと思います。また、毎週金曜日にグラマー・ライティングテスト、あるいは、グループ内の会話を先生が聞き、正しい文法で話しているか・積極的に会話に参加しているか評価するスピーキングテストが実施されました。その後、その結果をもとに担任の先生との個人面談があり、さらなる英語力の向上を目指し改善点などを話し合います。一人一人の指導にとっても丁寧で英語を勉強する環境が整った素晴らしい学校だと思います。



▲ホストファミリー

衣・食・住

朝ご飯は自分で作ってルームメイトと。

私はホームステイだったので毎日 2 食ご飯がついていました。朝ご飯は家にあるもので自分で作ってルームメイトと食べ、夜ご飯は私が帰って来る頃には、マザーが作ってくれており好きな時に食べるという形でした。洗濯についても自分の好きな時に洗濯していましたが、何日分か溜めて一気に洗濯すると言われました。これは、カナダでは洗濯 1 回 1 回にかかるお金が高額であるからだそうです。私のホームステイ先には私を除いてあと 2 人ルームメイトがいましたが、みんな各自部屋があったので、プライベートの時間は確保できていました。また、私が生活していた頃のバンクーバーは夏で、気温は 18 度前後、晴れの日が続き、とても過ごしやすい気候でしたが、私が帰る頃は秋に入りかけていて、朝晩の気温が 10 度を下回るほどになっていました。バンクーバーの交通機関は、とても簡単で初めての留学だった私にとってはとても助かりました。私はノースバンクーバーに住んでいたのですが、通学にシーバス（フェリー）とバスを使っており、乗換の時間も含めれば、50 分程度かけて登校していましたが、一度も迷うことなく学校までたどり着けました。

が、一度も迷うことなく学校までたどり着けました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：バンクーバー
- 研修期間：2016 年 8/15 ～ 9/16 【33 日間】
- 研修講座・コース名：スーパーインテンシブコース
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……534,000 円
- ・渡航準備・査証取得費……17,000 円
- ・食費……20,000 円
- ・交通費……30,000 円
- ・通信費……10,000 円
- ・その他……28,000 円
- <合計> 639,000 円
- 助成金支給額……400,000 円
- 自己負担額……239,000 円

休日・余暇の過ごし方

観光スポットでカナダの自然に魅了される。

最初の休日はホストファミリーとダウンタウンに行って買い物をしたり、マザーの兄弟の家に遊びに行ったりして過ごしていましたが、ファミリーの言っていることが聞き取れないこともよくあったので申し訳ない気持ちと悔しい気持ちでいっぱいでした。2 週間目からは友達と遊びに行くことが多かったです。ウィスラーやリンキャンオンなどの観光スポットに行った時はカナダの自然に魅了され、1 週間の疲れが取れて、また頑張ろうという気持ちになりました。2 週間目・3 週間目は日本人の友達や日本語の上手な台湾人の友達と過ごすことが多く、英語を使うことが少なかったのですが、最後の 2 週間は学校のクラスメイトやルームメイトの友達と遊ぶことが増え、英語を使って過ごしていました。お互いそれぞれ母国語を持ち、第 2 言語として英語を勉強しに来ているため、会話が成り立たない時もありましたが、伝えようという気持ちと分かるようとする気持ちがあればジェスチャーや例などを出して分かり合え、またそれがたえ単純な話でも普通に話すより何倍も楽しいことに気づきました。



▲卒業パーティ



思い出スナップ

▼ Gas town にて



▲集合写真

得たもの・学んだもの

異文化に触れたたくさんの刺激をもらった。

私は 5 週間バンクーバーに滞在していたのですが、正直自分の英語力が急激に上がったとは思いません。ですが、言葉も通じない、何もかもが新しい環境の中で一から自分 1 人で築きあげてきたという事実は、自分にとって大きな自信につながり、自分を変えてくれました。また人生で初めて他国の出身の友達ができ、異文化に触れ、たくさんの刺激をもらいました。日本では考えられないことがカナダでは普通のことだったり、反対に日本で普通のことカナダでは珍しかったり、文化の違いを自分の身をもって感じる事ができて良かったです。バンクーバーで過ごした 5 週間毎日が私にとって新しく、視野を広げてくれました。やはり、この研修の良い所は 1 人で渡航準備から渡航、帰国までとところだと思います。1 人で不安に押しつぶされそうな時もありましたが、新しいことに挑戦すること、また努力をすればきっと結果がついてくることを学びました。自分を変えてくれたこの研修にとっても感謝しています。



▲ Canadian flag

後輩へのアドバイス！

楽しむことで英語力を伸ばすことができる。

私は 5 週間という限られた期間の中で少しでもたくさんのことを吸収しよう、英語を上達させなければならないということで頭がいっぱいで、最初は楽しむことを忘れていました。そのため、学校で自分の意見を言えなかったり、友達や先生の言っていることが理解できなかったりすると焦るばかりで、せっかく高校の時から夢だった留学にきているのにも関わらず、早く日本に帰りたと思っていました。しかし、研修期間も半分が過ぎた頃友達も増え、学校のロビーなどで会うと話しかけてくれたり、放課後遊びに行ったりすることが多くなりました。それからは勉強のことよりも楽しむことを 1 番に考えて生活していました。すると、英語力も一緒に伸び、日本に帰る日は寂しくて泣くほどバンクーバーが好きになっていました。私の体験から言えることは、外国を、異文化を、また他国出身の友達と過ごす時間を楽しむことが英語力を伸ばすこと、この研修を最も有意義にすることができる近道だと思います。

もう一言！

学校の Wi-Fi は接続が不安定。

バンクーバーは Wi-Fi 環境が充実しており、バスなどの交通機関を利用する際は誰でも利用することができる Free Wi-Fi があったので特に困ったことはありませんでした。また、私自身個人的に携帯式のポケット Wi-Fi を持っていたのでインターネットや SNS も簡単に利用することができていました。学校では学校の Wi-Fi があったのでそれを利用していましたが、全校生徒が利用するので接続が不安定なことが多かったです。友達や家族との連絡手段は LINE を利用していたため、電話も無料ですることができました。



▲ Deep Cove

オーストラリア

ロイズ インターナショナル カレッジ

Lloyds International College



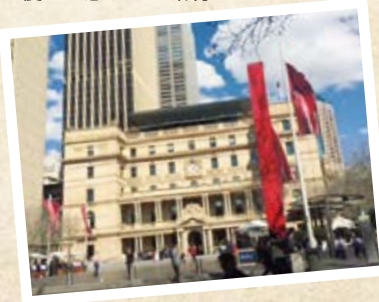
人文学部
英語英米文学科
2 年次生
亀田 涼太
(愛媛県立松山中央高等学校出身)
Ryota Kameda



研修機関や授業

スピーキング・文法に焦点を当てた授業。

授業初日にクラス分けテストが行われました。僕が通っていた学校には、morning・afternoon・evening クラスがあり時間帯によって分かれていました。生徒の数が1番多い(約20人) morning クラスをあえて選ばず、少人数で効率よく授業ができる afternoon クラスを選びました。授業内容については主にグループ活動でのスピーキング・文法に焦点を当てていました。またそれ以外にもクイズを使い問題を出し合ったり、動画を見て感想を述べ合ったり、何気ない会話を交えながら楽しく授業をしてくれました。Advanced levelということもあり授業難易度はかなり高めだと感じました。クラスには韓国人・中国人・タイ人・コロンビア人の生徒がいて僕以外日本人はいませんでした。僕はスピーキングが最も苦手だったため、グループで話し合うときには非常に苦労しました。しかし困ったときには先生や周りの友達がサポートしてくれてとても助かりました。授業を受けてから2週間後には listening・reading・writing・speaking のテストがありました。先生も優しく恵まれた環境で勉強できたと思います。



▲カスタムハウス図書館

衣・食・住

物価の高さに驚く。

オーストラリアは日本と季節が真逆なため冬でした。思っていたよりは寒くなかったけれど、日によって気温も上がったり下がったりするためジャケットやパーカーを日本から持参しました。シドニーに着き、驚いたことの1つを挙げると「物価の高さ」です。基本的に日本の2～3倍くらい高かったと感じます。朝食にはあまりお金をかけなくなかったため、スーパーでシリアルを買い1週間くらいで食べるようにしていました。昼食は学校の近くにあるフードコートで食べたり、コーヒーを飲んだりしました。夕食は現地の友達とハンバーガーや現地で有名な店に行き食事を楽しんだり、日本食が食べたいという友達もいたので日本食レストランにも行きました。シドニーにはたくさんの日本食屋さんがあり驚きました。外食以外にもルームメイトの人とパスタを作ったりしました。住んでいたアパートにはリビング・二人部屋が3つあり、5人とルームシェアでした。各部屋にはテレビやエアコンも備わっており、また学校から徒歩15分くらいの位置にアパートがあったため、よい環境であったと言えます。



▲担任の先生優しくておもしろかった

休日・余暇の過ごし方

友達とオーギースターキを食べに行く。

基本的に学校(月～金)は午後1時から5時までだったため、そのあとご飯を食べに行き、帰宅するというのが平日の流れでした。休日は友達と Darlingharbor、タロンガ動物園や operahouse、harborbridge を見に行ったり市内のあらゆるところに出かけました。天気もほぼ毎日快晴であり、見える景色も最高でした。一番記憶に残っていることは、\$40のオーギースターキを友達と共に食べたことです。値段は高いですが、オーストラリアでしか食べることができないお肉もたくさんあるので、ぜひ食べることをおすすめします！シドニーでは土日になると町のあちこちでマーケットが開かれます。ハンドメイドによって作られたアクセサリー、洋服、またおいしそうなお店もたくさんあったため、見るだけでも充分楽しめました。また学校の授業の一環としてボタニックガーデンを散歩するアクティビティもありました。先生や友達と会話を楽しんだり、ガーデン内の自然を堪能したりのんびりとした日も過ごしました。毎日寝る前に欠かさずその日に起こった出来事などを英語で日記をつけるようにしていました。



▲担任の先生優しくておもしろかった

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：シドニー
- 研修期間：2016 年 8/8 ～ 8/26 【19 日間】
- 研修講座・コース名：General English
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む).....335,000 円
- ・渡航準備・査証取得費.....13,000 円
- ・食費.....45,000 円
- ・交通費.....16,000 円
- ・通信費.....4,000 円
- ・その他.....45,000 円
- <合計> 458,000 円
- 助成金支給額.....346,340 円
- 自己負担額.....111,660 円



思い出スナップ

▼タロンガ動物園からの絶景



▲roommate とパシャリッ

得たもの・学んだもの

文法にとらわれず積極的に話すことが大事。

僕がこの研修を通し学んだことは、挫折感を得ることができたこと。それとどんどん積極的にチャレンジする重要さです。特に挫折感に関しては言えば、自分が思っていた以上に話せなかったり、聞き取れなかったりといったようなことです。この“挫折感”のおかげで自分の実力不足を実感することもできたり、もっと語彙を増やし、スピーキングを練習しなければいけないと気付かせてくれました。どんどん失敗し、その失敗を活かし次へのステップにすることが重要だと感じました。それにあまり文法などにとらわれず積極的に話すことも大事だと痛感しました。僕のクラスの友達もあまり文法に固執していませんでした。日本の英語教育は文法に力を入れているため、気にしてしまうのは仕方がないかもしれませんが、最悪単語でも伝わるため“語彙”のほうが圧倒的に重要だと思います。やはり語彙があつてこそ文法です。



▲Darlingharbor 渡ったゾ～

後輩へのアドバイス！

頻繁に使われる文をノートに書き頭に入れておく。

とにかく自分で行動を起こすことです。オーストラリアは、とにかくたくさんの人種の人たちが集まっているため英語の発音が全く異なります。それに思っていた以上に早くで話します。だから聞き取れなかったら、ちゃんとわかるまで聞き直ることが大事です！ぼくはあらかじめ買い物、会話、日常生活において頻繁に使われる文をノートに書き頭に入れておいてよくそれを使って話していました。どんどん使っていくと頭で考えずにしゃべれるようになります。あとリスニング練習もしておいたほうがいいです。留学前にするとしないでは圧倒的な差が出てしまいます。できれば毎日20分程度勉強することをおすすめします。やはり一番不安に思うのはコミュニケーションだと思います。よく中学生で習った文法や単語でも充分カバーできると耳にしますが、あながち間違いではないです。特に単語は“have”, “get”, “take” など簡単なものを先生は使っていました。これらの単語を復習するのもいいと思います。

もう一言！

現金は少額で分散して持つこと。

僕はSIMフリーの携帯を持っていきました。現地の空港のオプタスで30日間使用できるSIMを購入(約\$40)しました。もしSIMフリーの携帯を持っているなら、ぜひ持っていくといいと思います。シドニーには町の至るところにSIMを買える場所がありとても便利です。また、Wi-Fiルーターを借りるのもいいと思います。基本的にお店ではWi-Fiが使えるました。学校にもありましたが、結構通信が遅かったです。僕の友人には現地のWi-Fiが使える場所でした。携帯を使わないという人もいました。あと、キャッシュカードやキャッシュパスポートを持っていくのをおすすめします。日本と比較すると、海外は犯罪率も高いです。なるべく現金は少額で分散して持つてください。海外では物価が高かったり、意外とお金を使ってしまうため、すぐお金が無くなってしまいます。そのためキャッシュカードやキャッシュパスポートを持参した方がいいと思います。



▲迫力ありすぎるオペラハウス

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留学中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

ドイツ

F+U ランゲージ・アカデミー ハイデルベルク校

F+U Academy of Languages Heidelberg



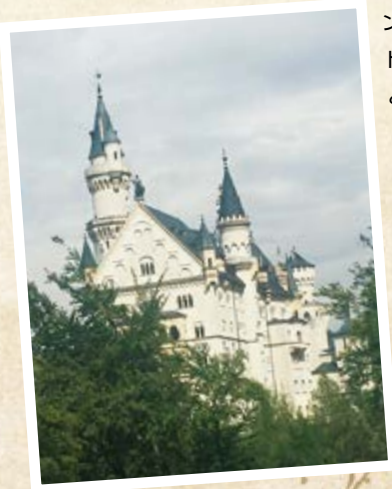
経営学部 経営学科
3 年次生
玉井 香帆
(私立済美高等学校出身)
Kaho Tamai



研修機関や授業

聞いて話すことがメインの授業。

ドイツ語の先生がドイツ語でドイツ語を教えてくださいました。最初は、全くリスニング力がなくて先生が何を言っているのか理解できなくて、授業についていけなくて大変でした。一番下のクラスだったので、みんなが理解できるように、先生も単語の意味を英語で説明したり、ジェスチャーを使ったり、わかりやすい単語で説明してくれたので、だんだんと理解できるようになりました。課題が多くて、でも、その課題をきちんとやって、その日の授業の復習も毎日こつこつとやっていると、先生の言っていることが理解できるようになり、先生も冗談を交えて楽しく授業をしてくれて楽しかったです。日本の授業みたいに書くことがメインではなく、聞いて話すことをメインとしていました。でも、そのほうがクラスメイトともコミュニケーションがとれて仲良くなるきっかけにもなったし、自分の聞く力と話す力が向上していくのが生活の中で感じられたので良かったです。文法の授業の方がコミュニケーションの授業より難しく感じました。文法の授業では、難しい単語がたくさんでてきて、文法は理解できても単語の意味が理解できないので、文章が理解できなくて苦労しました。



▲ノイシュヴァンシュタイン城

衣・食・住

飲料水は炭酸のものが多い。

夏に留学したので、半袖で過ごせました。でも、9月の朝と夜は、寒くて半袖では少し困ったので、羽織るものを持っていくとよかったなと感じました。気温はそんなに高くないので日陰は涼しくて過ごしやすかったです。ただ、日差しがとても強くてサングラスや帽子が必需品でした。日本にとっての米は、ドイツではじゃがいもとパンなので、パン屋さんが至る所にあって、でも、パン屋さんの中のパンはどれを食べてもおいしくて安かったです。スーパーもたくさんあって、パン、冷凍食品、野菜、果物、飲料水、日用品などいろんなものが安くおいてあって便利でした。レストランにいくと、大体どの料理にもポテトなどのじゃがいも料理がついていました。ソーセージとトンカツが有名でとてもおいしかったです。飲料水は炭酸のものが多くて、炭酸じゃない飲料水は少なかったです。私は寮でした。一人部屋でキッチン、お風呂、トイレ、ベッド、勉強机がついていて、とても過ごしやすく集中して勉強できる環境でした。同じフロアに日本人がいて協力し合って暮らしていました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ハイデルベルク
- 研修期間：2016 年 8/15 ～ 9/9 【26 日間】
- 研修講座・コース名：ドイツ語研修 週 30 レッスン
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
 - ・研修費（滞在費含む）……440,000 円
 - ・渡航準備・査証取得費……25,000 円
 - ・食費……60,000 円
 - ・交通費……10,000 円
 - ・通信費……40,000 円
 - ・その他……27,000 円
- <合計> 602,000 円
- 助成金支給額……400,000 円
- 自己負担額……202,000 円

休日・余暇の過ごし方

ドルトムント VS マインツの試合観戦。

平日の学校が 14 時に終わってそこから時間があったので、ハイデルベルクの中央通りで買い物したり、隣の町にいったり観光したり買い物したり、スーパーによって友達と晩御飯を作った後に勉強したりしていました。研修期間のうち、自由にできる土日は 3 回あって、3 回とも遠くの町に出かけました。1 週目の土曜日は学校のアクティビティで黒い森と呼ばれているシュバルツバルトという町に行きました。そこで黒い森の中を歩いて橋や滝を見ました。日曜日はハイデルベルクの動物園に行って、ラクダやカンガルーなど、日本ではなかなか見られない動物がたくさんいました。2 週目の土曜日はドルトムントに行って、ブンデスリーガの開幕戦のドルトムント VS マインツの試合を見ました。私はドルトムントのサポーターとして見に行き、トラブルがあったのですが、地元のサポーターたちが助けてくれました。本場の熱気や試合を間近で見られてとても貴重な体験をしました。最後の土曜日がディズニーのシンデレラ城のモデルと言われているノイシュヴァンシュタイン城に行きました。そこからの景色はとてもきれいで、城の中もとても細部までこだわっていてすごかったです。



思い出スナップ



▲ドイツで初めて見た遊具



▲アクティビティの日本セミナーに参加していたドイツ人の人たちと食事

得たもの・学んだもの

コミュニケーションの取り方の違いに驚く。

英語ができないと生活もできないし他国のの人たちとコミュニケーションがとれないのを痛感しました。日本以外の国の人たちは流暢に英語が話せていました。私も、聞き取ることはできても自分の思いを流暢に伝えることができなかったのも苦労しました。ドイツ人の人と話す時もドイツ語がよく分からなくても、英語で話してくれるので、生活しやすかったです。やはり英語ができないと聞き取れなくて理解できないので、生活するのにも苦労するなと感じました。この研修で語学力はもちろんですが、自分から行動する力や、積極的に自分からコミュニケーションを取る力を学び得ました。学校にも町にもいろいろな国の人がいて、いろいろな文化の違いも学びました。文化も違うと考え方やコミュニケーションの取り方なども違って国によっての違いに驚くこともありましたが、学ぶことができました。



▲ドルトムント VS マインツの試合



▲ハイデルベルクで有名なお店のカリーブルスト

後輩へのアドバイス！

ある程度リスニング力が現地で役に立つ。

私は 2 年間大学の授業でドイツ語を履修して、少しはできるつもりで渡航しましたが、現地では、私のドイツ語力はまったく役にたたなくて、最初学校に着いた時も、寮に入る時も困ったので、基本のドイツ語を話せなくても聞き取れる力があると現地で役に立つので、リスニング力のある程度身に付けていけばよいと思います。留学期間が短期の場合、何箇所も行きたい場所を決めておくと、現地でも予定をたてたり予約をとったりするのがスムーズにいきます。チップの払い方やトイレの使い方、バスの乗り方など、日本と違う文化をある程度調べて理解していったほうが、生活するのに困りません。私は、大学のドイツ語の先生がドイツ人の方だったので、先生にいろいろ教えてもらっていたので現地で戸惑わずにすみました。ドイツの歩き方という本が、ドイツで旅行するときにとっても細かく書いてあるので、便利でした。



▲午前中のクラスのクラスメイト

もう一言！

他国の人と交流する機会がたくさんある。

私の学校では、日曜以外、毎日アクティビティをやっている、平日のアクティビティはほとんど無料で、ドイツ人の人や他国の人と交流する機会がたくさんあります。土曜日は、一日かけて少し遠くの町にいったりみんなで観光できるアクティビティをやっていました。このアクティビティは、学校が行く場所の交通チケットも観光する場所に入るためのチケットも手配してくれるので、簡単に観光できました。ただ、行くところやすることが決まっていた自由時間が短かったです。私はポケット Wi-Fi を持っていたのであまり困りませんでしたが、友達の中には無料 Wi-Fi だけで生活していて、ホームステイ先や寮の中、スターバックスやマックなどチェーン店でしか Wi-Fi に接続できていなかったのが苦労していました。日本との連絡手段は LINE やヤフーのメールでしていました。

スペイン

エンフォレックス

Enfolex



マドリード

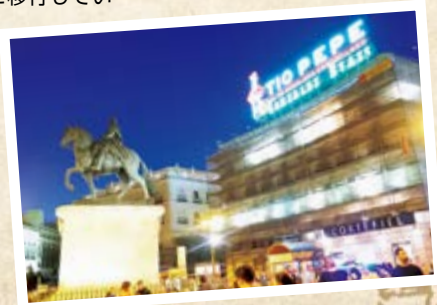
経営学部 経営学科
3 年次生
白石 莉歩
(愛媛県立伊予高等学校出身)
Riho Shiraishi



研修機関や授業

ジェスチャーを交えながらゆっくりと。

私が通ったのは、マドリードにあるエンフォレックスという学校です。近くには地下鉄をはじめ、大きなデパートや雑貨屋さんなどなんでも揃っているため人が多くとても賑やかな場所です。また、カフェやバル、日本食店なども数多くあります。校舎は 2 階建てで、10 人以下を収容することができる教室がいくつもあります。また、1 階に休憩スペースや、パソコンを自由に使える教室、飲み物や軽食を買うことができる自動販売機が設置されています。初日のクラス分けのテストは 4 択の文法問題と、先生と簡単な対話をする 2 種類のテストが合計 1 時間ほど行われます。授業は基本 9:00 ～ 10:50 と、11:10 ～ 13:00 までですが、生徒の人数が多いと 14:30 ～ 16:20、16:40 ～ 18:30 までの午後の授業になることもあるそうです。私は A1 の基礎的な文法内容から学びました。授業はスペイン語が中心でジェスチャーを交えながら分かりやすくゆっくり進めてくれます。2 冊の教科書と配布されるプリントを中心に進められ、ペアワークがとても多く、徐々に会話中心の授業に移行していききました。最初は 3 人でしたが、2 週目からは約 10 人ほどの人数で授業を受けました。



▲ Sol 広場

衣・食・住

食べ物、飲み物がとても安価なバル。

私が行ったときは、スペインでも異常気象と言われているほど暑い夏でした。雨は全然降らず 9 月の 2 週目までは日中は 40 度近くまで気温が上昇しました。雨具は持っていく必要はないと思います。地中海性気候のためとてもカラッとしており日差しがとても強かったです。ホームステイした家では 5 畳程の部屋にベッドと机とテレビが置いてあるとてもシンプルな部屋でした。スペインはとても水が貴重なため、洗濯は週に一回です。サマータイムがあるので夜 21 時過ぎまで外はずっと明るく、朝ごはんはビスケットとコーヒーで簡単に済ませ、昼ごはんは 15 時すぎ、夜ご飯は 21 時すぎと、私たちからすると独特の生活習慣でした。冷蔵庫は自由に使ってよく、ホストファミリーはとても優しく要望もしっかり聞いてくれるため何不自由ない生活を送ることができました。お風呂はユニットバスで家に 2 つあり、夜ご飯の前か朝に入るルールがありました。水圧がとても弱いので寒かったです。お昼ご飯は授業後クラスメートや友達とバルに出かけ、タパスを食べながらビールやワインを飲みました。バルは食べ物も飲み物もとても安価で、昼間から多くの人が集まり賑わっているのがとても楽しいです。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：マドリード
- 研修期間：2016 年 8/22 ～ 9/16 【26 日間】
- 研修講座・コース名：インテンシブ 20
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
 - ・研修費（滞在費含む）……………433,990 円
 - ・渡航準備・査証取得費……………30,440 円
 - ・食費……………50,000 円
 - ・交通費……………15,000 円
 - ・通信費……………20,000 円
 - ・その他……………70,000 円
- <合計> 619,430 円
- 助成金支給額……………400,000 円
- 自己負担額……………219,430 円



思い出スナップ

▼クラスメート



▲トレドの街並み

得たもの・学んだもの

最後まで伝えようとするのが大切。

1 ヶ月の研修を通して日本文化の良さを再確認することができたと同時に、様々な文化や価値観を持つ人々と交流する楽しさを感じることができました。最初の 1 週間は特にリスニングができず、授業中も文法を学ぶどころか先生のスペイン語を聞き取るのに必死で、スピーキングにも消極的になっていました。しかし留学生生活を充実させるためにはひたすらアウトプットを心がけることが大切だと考え、ホストファミリーと積極的に会話するようにしました。スペイン語のレベルの低い私は夜ご飯の前に話す内容を考えるようにしていました。そうしているうちに少しずつリスニングができるようになってきました。分かるまで聞き返すこと、言いたいことが伝わらなくても最後まで伝えようとするのが大切だと思いました。生徒の皆はとても積極的で自分の意思を強く持っていました。日本人のどちらでもいい。はとても不思議なようです。優柔不断で周りに合わせがちな私はその姿にとっても刺激を受けました。留学で学んだことを生かし、これからもスペイン語の学習を続けていきたいと思いました。



▲トレド

後輩へのアドバイス！

スペイン語と並行して英語の勉強を。

私は今回初めての海外だったのですが、もっと早く海外に行っているいろいろな文化に触れておけば良かったなと思いました。また、語学留学は旅行と違い、現地の人たちはもちろん様々な国の多様な価値観を持った人達と深く交流することができます。一人で言葉の分からない国に行くことはとても怖く不安に思うかもしれませんが、少しでも迷っている人は早く決断し、行くべきだと思います。また、英語の大切さも痛感しました。クラスの 9 割以上は英語を話せる人たちです。お互いのコミュニケーションはほとんど英語で行っていました。スペイン語を話す機会は授業中と家の中だけと言ってもいいくらいです。中学校、高校と英語教育を受けてきたので聞き取ることができても自分の気持ちを英語で示すことができませんでした。それでもクラスメートはとても優しく分かるように伝えようとしてくれますが、もっと英語が話せたらと何回も思いました。また、英語とスペイン語は似ているため理解もより深まると思います。是非スペイン語だけでなく、並行して英語の勉強をすることをお勧めします。



▲ Palacio Real de Madrid

もう一言！

ポケット Wi-Fi を持っていると安心。

自分の語学力に自信がなく初めての海外で不安だったこともあり、ポケット Wi-Fi をレンタルして持って行きました。ホームステイ先や学校、お店には Wi-Fi は完備されているのですが持って行って正解でした。マップを使って目的地までの経路を示すのに使ったり、電車などの空き時間で観光地を調べたりと時間を有効に使うことができました。また、夜遊んで帰るときのメトロなど少し怖い気もしますが、いつでも連絡できるものが手元にあるかどうかで安心感も違いました。スペインはとても治安が悪くスリが多いと言われているのですが、マドリードはとても安全で身の回りのものを取られることはなく、特に危ないなと思うような雰囲気のない地域ありませんでした。バルセロナなどは夜一人で歩くことすら危ないと言っていたのですが、マドリードは語学学校の生徒は今まで危ない目に遭った生徒はいないに等しいと言っていました。日本にいるような無防備さは危険ですが、危機感をもって生活しているとよっぽどのことがない限り危険な目に遭うことはないと思います。

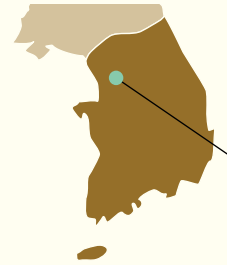


▲友達と学校終わりにバルにて

韓国

延世大学

Yonsei University



経営学部 経営学科
3 年次生
松田 倫佳
〈愛媛県立宇和島高等学校出身〉
Rinka Matsuda



研修機関や授業

レベルに合ったクラスの授業で受けやすい。

研修先は、新村という学生街に位置します。しかし、最寄りの新村駅から大学の語学堂までは歩いて 20 分程かかるので、授業が始まる前から少し疲れます。大学内は広すぎて最初は語学堂に行くまで迷いました。敷地内に病院もあり、建物も立派で歴史を感じました。初日に、レベル分けテストがあり、その結果で授業のクラスが分けられます。私は、全 7 クラス中の 4 クラスで、丁度真ん中のクラスでした。クラスのレベルも私に合っていて、非常に受けやすかったです。研修先の留学生は、約 8 割が日本人だったと思います。私のクラスは、14 人中 1 人だけ台湾人で他は日本人でした。大学生が多かったので、話も合い、すぐに仲良くなれました。1,2 時間目は語彙と文法の授業、3,4 時間目は会話と読解、活用練習（個人発表、作文等）の授業でした。担当の先生は 2 人いました。先生は、ゆっくり丁寧に話してくれるので非常に分かりやすかったです。授業中に先生が言っていることに困ることはありませんでした。午前は授業で、午後は文化体験や料理教室、ドラマで学ぶ韓国語などもありました。午前の授業は 4 時間なので、あっという間に終わりました。



◀仲良くなった韓国人とサムギョブサル

衣・食・住

安くて量が多い大学の食堂。

私が行った期間では、韓国は日本より少し涼しいと感じました。しかし、朝夜は 15℃ほどで寒いくらいでした。日中は、日本よりは暑くないですが、半袖でも全然大丈夫です。食事に関しては、朝はコンビニで買ったパンをよく食べていました。お昼は、大学の食堂や、近くの美味しいお店で食べていました。学食は、安くて量も多いので、よく利用していました。大学から 15 分ほど歩けば、新村の学生街に出るので、美味しそうなお店がズラズラと並んでいます。ほぼ毎日くらい、その付近でお昼ご飯を食べていました。日本食店もたくさんあります。夜は、観光名所巡りの次いでいろいろなところでご飯を食べていました。多くのお店でキムチがついてくるので、キムチ好きの私にはありがたかったです。宿泊先については、クラスのほとんどの方は、大学付近の寮に住んでいましたが、私は少し離れた東大門のレジデンスに住んでいました。レジデンスは、費用は高いですが、お風呂、トイレ、キッチン、テレビがついていたので、とても便利に過ごせました。コインランドリーもあったので、4 日に 1 度利用していました。通学は、毎日大学まで 15 分かけて満員電車に乗っていました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
- 研修期間：2016 年 8/29 ～ 9/21 【24 日間】
- 研修講座・コース名：延世大学 3 週間コース
- 宿泊形態：その他
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む）……465,000 円
- ・食費……20,000 円
- ・交通費……6,000 円
- ・通信費……20,000 円
- ・その他……2,000 円
- <合計> **513,000 円**
- 助成金支給額……300,000 円
- 自己負担額……213,000 円

休日・余暇の過ごし方

週末は韓国の伝統的なイベントに参加。

週末には、私が韓国に来てすぐに出会った韓国人の方と過ごしていました。その方は、韓国の伝統的なイベントを毎日開催しているところに通っていたので、私も週末になるとそこへ行き、韓国の儀式をしたり、そこでご飯を食べたりしました。また、外国人も誰でも参加できるイベントなので、様々な国の方と話したりしていました。もちろん、多くの韓国人もいたので、韓国語で話せる良い機会にもなりました。私は、この方と出会っていなかったら、こんなに現地の方と話せることはなかったと思っています。それ以外には、クラスの子と明洞、仁寺洞、江南、ロッテワールドなど、様々な観光名所へ行きました。地下鉄の料金が日本に比べると安く、乗り方も簡単で便利なので毎日利用しました。韓服をレンタルして仁寺洞を観光したことが最も思い出深いです。レンタル料金が 14,000 ウォンという安さで、自分で色やデザインを選ぶことができるのでおすすめです。また、秋夕というお盆の時期と被り、5 日間休日が続いたときもありました。その時は、仲良くなった韓国人とバドミントンをしたり、映画を観たり、サムギョブサルや秋夕に食べるソルピョンという餅も食べました。



思い出スナップ



▲韓服を着て仁寺洞を観光



▲延世大学

得たもの・学んだもの

休憩時間はなるべく韓国語で話す。

研修中、本当に多くの言葉を覚えめました。授業で習った文法を使って、お店の方と会話をしたり新しい言葉を言ってみたり、授業の結果を発揮できたので本当に嬉しかったです。私は、現地の人たちと直接話すことが一番身に付くことだと思います。私の発音や、間違った言い方を正しい言い方に直して言ってくれたり、難しい言葉をジェスチャー付きで簡単に説明してくれたり、理解に苦しむときもありましたが、話すことで身に付くことも増え、自分を成長させることができると思います。クラスの日本人の方とも、休憩時間はなるべく韓国語で話すことにしていました。お互い知らない言葉、知っている言葉を共有し合ったり、授業で学んだばかりの文法を使って話したり、と毎日楽しく話していました。この研修で得たものは本当に大きいし、最初に比べて話せる言葉も増えました。また、授業に遅れないようにと予習・復習は欠かさずやっていたので、頭に入りやすかったです。



▲修了式



▲光化門

後輩へのアドバイス！

最初は不安でも最終日には充実した気持ちに。

私自身、2 度目の韓国留学でしたが、今回は 1 人だったので、最初は不安や心配で仕方なかったです。しかし、約 1 か月の研修が終わり、最終日にはこんなに充実した気持ちで終わらせることができるとは思ってもいませんでした。日本語が通じない環境にすることで、自分の韓国語の会話を高めることもでき、韓国語で会話することで多くの友達もできました。日本では、考えられない経験もさせてもらいました。韓国人と話すときに多かった話題は、日本のアニメや私が今住んでいる松山のことでした。日本のアニメは世界的に有名ですが、韓国でも非常に人気です。特に、ワンピースやナルト、ドラえもん、ジブリなどが人気でした。アニメの話をする、みんな興味津々に聞いてくれ、私が知らないアニメについても話してくれます。また、松山はどんな所、何が有名なのか、をよく話しました。なので、日本のアニメ、松山について何を伝えたいのかを準備して話せたら、より会話が楽しくなると思います。

もう一言！

ほとんどの店でカードが使える。

生活の中で必要なものは、Wi-Fi だと思っています。私はポケット Wi-Fi を日本で借りていたので研修期間中はずっと使用していました。韓国は、カフェが多くあり、カフェには Wi-Fi があるところもあります。そこで Wi-Fi を接続するのもいいですが、やはりポケット Wi-Fi があるとどこでも通信ができるので、持っていくことをおすすめします。また、体調を崩したり、お腹を壊したりすることがありました。私は、日本から頭痛止めの薬や胃薬を持ってきたのでそれを飲んで過ごしていました。いつ体調を崩すのかは分からないので、薬は常備していた方がいいと思います。また、私は、多額の現金を持っていかず、キャッシュパスポートに入れて持って行きました。韓国は、カード社会なので、ほとんどのお店でカードが使えます。現金が必要なときは、ATM から現金を引き出していました。



▲ロッテワールド

現金をあまり持ち歩きたくないのであれば、是非キャッシュパスポートを利用してほしいです。

ドイツ

フライブルク大学

University of Freiburg



人文学部
英語英米文学科
4 年次生
長坂 花蓮
(大洲市立大洲高等学校出身)
Karen Nagasaka



研修機関や授業

各講座ごとに推奨語学レベルが設けられている。

8 月と 9 月は SLI と呼ばれるフライブルク大学の語学学校へ通った。渡航前に受けたプレシメントテストの結果から、わたしはそれぞれ B1-1、B1-2 のクラスで授業を受けた。後者はドイツの州や政党などについて扱ったので、より難しく、より深くドイツについて学んでいると感じた。午前中の授業以外にも、午後にはセミナーが行われる。ヨーロッパの諸問題を取り上げるものに参加したが、日本ではあまりニュースにされないような経済・政治問題などを学ぶことができた。9 月のコースが終わると、大学で開講される冬学期の講義とは別に交換留学生向けの講座 (SLI 内) を受けられる。種類は様々だが、各講座ごとに推奨語学レベルが設けられている。わたしはドイツ語文法コース (B2-1)、文学系と環境系の講座を中心に受講していた。大学の正規講義は当然ながらすべて速いドイツ語で、残念ながらわからないことが多かったため、聴講生として参加。語学学校でも大学でも筆記試験よりもプレゼンを作る機会が多いうえ、積極的に質問をする生徒が多く、参加者によるディスカッションを重要視している印象。難しいが、それぞれの授業はやりがいを感じられるものだった。

◀ Cas Day²
in フランクフルト

衣・食・住

コート等の防寒具は日本の物だと寒い。

この研修中、わたしは WG と呼ばれる、いわゆるルームシェア形式の学生寮 (名称: Händel) に滞在していた。キッチン用具や掃除用具に関しては用意しなくてもよい。同居人が 8 人いたが、一般的には 3～5 人が多いようだった。キッチン、冷蔵庫、シャワー、居間を共同で使用し、各掃除・ゴミ出し、必需品の買い物 (じゃがいも、トイレトペーパー、洗剤、調味料等…1 か月ごとに WG 経費として住人から徴収) は当番制だ。これらのルールは住むところによって異なる。ドイツ語や英語で同居人たちと意思疎通ができるので、寂しさを感じない・寮についての疑問が解消できるというメリットがあるが、夜中に騒がしいと感じることもあったので、共同生活ゆえのデメリットも。食事は学生食堂で昼食を取り、夜は寮のキッチンで作っていた。スーパーで買えない日本の調味料はフライブルク内いくつかあるアジアンマーケットで購入することができる。衣服は夏服と秋服を渡航時に持って行き、急に日が短くなり寒くなる 10 月頃から H&M など冬服を購入。特にコート等の防寒具は日本の物だと寒いと聞いたので、現地のものを購入した。親に日本から送ってもらうのも方法のひとつ。



▲黒い森地方の村

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：フライブルク
 - 研修期間：2015 年 9/28～2016 年 7/29【約 10 ヶ月間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
 - <必要な経費>
- | | |
|-----------------|-------------|
| ・渡航費…………… | 190,750 円 |
| ・授業料・滞在費…………… | 309,400 円 |
| ・保険料 (個人加入分) …… | 151,530 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 …… | 5,000 円 |
| ・食費…………… | 400,000 円 |
| ・交通費…………… | 24,000 円 |
| ・通信費…………… | 38,500 円 |
| ・その他…………… | 128,360 円 |
| <合計> | 1,247,540 円 |

休日・余暇の過ごし方

大学周辺には飲食店が軒を並べている。

何 も予定の入っていない時間は大学図書館で勉強をしたり、タンデムパートナーと会う時間を定期的に取りっていた。タンデムでは勉強するだけではなく、お互いのところで料理を作ったり、一緒に映画を見に行ったりもした。ちなみに料金は日本より安いし、ときには日本映画 (独語字幕 or 独語吹替え) が上映されることもある。休日はレギオカルテという定期券を利用して、黒い森地方の山村や周辺地域を訪れた。日曜日は外国系飲食店以外、どこの店もだいたい閉まっているので、寮内で同居人たちと料理を作って食べることもあった。大学関係以外では市民学校の日本語講座に参加させてもらい、ドイツ人の日本語学習の様子や日本語教師の教え方を直に見学したり、ときには手伝いも。参加者が夏休み中に行っていた勉強会にも助っ人として参加していた。また、スタムティッシュと呼ばれる食事が独日協会や独日学生グループで開催されていたため、月に一度参加していた。フライブルク大学の建物はだいたい街の中心部にあるものが多く、周辺ではカフェやレストラン、バーなどといった飲食店が軒を並べているので、友達と食事をしたり会話を楽しむ場所を探す分には困らない。



思い出スナップ



▲日本語講座の生徒たちと



▲ドイツ海軍記念館 (ラーボエ)

得たもの・学んだもの

良い意味で遠慮することがなくなった。

一番に思いつくことといえば、良い意味で遠慮することがなくなったということだ。最初は「遠慮＝美德」という日本人精神が強かったが、WG での複数人の同居人たちとの生活、ビザ申請や住民登録等で立ち寄る役所などでは、その態度がむしろマイナスになることがある。「空気を読む」という文化は通用しないので、少し図々しいくらいの言葉や態度で接した方が丁度良いのだと学んだ。また、ドイツ国内に長期滞在したことにより、日本ではニュースでしか知らなかった難民問題やそれに対する住民の意見を実際に見聞きにする機会が増えた。すると、自分の中で各問題が現実味が帯びてきて、日タイメージして考えられるようになった。母国に関することでは、日本語に興味があるが基礎を学んだことがない学生に言語を教えられるほど、自分は母国語のことをあまり知らないことに気付かされた。それが、ドイツ語を学ぶ以外に日本語や日本文化を見つめなおしてみるきっかけとなり、日本語教育に対する興味関心へと繋がったので、タンデム学習から得られたものは大きかったと思う。



▲姉妹都市ブースでの手伝い

後輩へのアドバイス!

適度な緊張感を持つことを忘れない。

よほどネイティブとの会話に慣れた学生でないかぎり、大学での成績と会話力は直結しない。実際にわたしも渡航直後は会話がまだ苦手で、情けないと思うことが何度もあった。準備期間中に、独会話を実践できる機会があれば、相手に考えを伝えることを第一に考える。知ったかぶりせず、わからないことは聞くこと。よく耳にするフレーズの数々だが、繰り返し実践することで確実に力が付くだろう。次に、外国人だけでなく、現地日本人・日本人団体とも積極的に関わるのが良い。異国で暮らす先輩として心強いアドバイスもらえるうえ、思わぬ方面での人脈が得られる場合もある。最後に、常に自分の身は自分で守る努力をすること。テロや暴動など、昨今話題に上るような事件はもちろんだが、それ以外にも日本人はスリや置き引き、特に女性はナンパに遭いやすい。楽しい留学生活を送るためにも情報に目を光らせて、適度な緊張感を持つことを忘れないでほしい。日本からは「必携ドイツ文法総まとめ」という文法書を持って行った。見た目に反した情報量の多さは、まさに「必携」。

もう一言!

各施設の営業時間を事前に調べておく。

ドイツの各施設 (銀行、外国人局、学生課、インターナショナルオフィス、寮のハウスマイスター窓口等) は曜日によって営業時間が異なる場合があるので事前に調べておくのがベスト。特に滞在のための手続きで何度もお世話になる「外国人局」は営業時間がバラバラなうえに、毎日たくさんの方が来るので注意が必要。ちなみに水曜日以外は昼の 12 時で閉まってしまう。備考としてビザ申請費用について書いておく。ドイツでは渡航後にビザを取得するが、その際フライブルク大学からもらえる「奨学金受給証明書」を提示すれば申請費用は無料になる。わたしの場合、大学間で手違いがあって奨学金と受給証明書を受け取るのが遅れたため、申請日に間に合わず、当日 50Euro を支払った。何かおかしい点があれば、すぐに現地インターナショナルオフィスの留学生担当者に相談すること。



▲ロンドンは飛行機で約 2 時間

中国

上海财经大学

Shanghai University of Finance and Economics



経営学部 経営学科
3 年次生
今城 美咲
(愛媛県立松山商業高等学校出身)
Misaki Imajo



／ 研修機関や授業 ／

英語はほとんど使わないため予習復習は重要。

上海财经大学は近くに地下鉄、バス停、屋台、ショッピングモールなどがあり、非常に住みやすい場所に位置しています。私たち留学生は国定路にあるメインキャンパスではなく、中山北一路にある国際文化交流学院という場所で授業を受けます。キャンパス内は緑が多く、グラウンドではバスケットボールやキャッチボールをする生徒でにぎわっています。クラスは、クラス分けテストの結果で各クラスに分けられます。クラス分けテストの内容はまず先生と相談し、そのあと自分のレベルに近い小テストを行いクラスが決定されます。最初の一週間はお試し期間で自分に合えばクラスを変えることも可能です。授業は 1 日に 2 コマあり、1 コマ 100 分で 10 分間の休憩があります。内容は読み・書き・リスニング・口語・速読があります。授業では、英語はほとんど使わず、中国語で進められたので予習復習は非常に重要でした。また、正規の授業以外にも書道や太極拳、切り絵などを学ぶ選択文化授業や、HSK の対策講義も受けることができます。また、交換留学生は国定路のキャンパスで英語で行われる専門的な授業も受けることができます。



▲朱家角

／ 衣・食・住 ／

寮の受付には 24 時間スタッフがいます。

上海の気候は日本の気候と似ているので、着ている服装は日本にいたときとあまり変わりませんでした。寮は二人部屋で広さはちょうどよいくらいでした。部屋にはエアコン、テレビ、冷蔵庫なども完備されているので不自由はありません。しかしエアコンを使うと電気代が少し高くなってしまいますので部屋では毛布を用意したり、少し温かめの服を着たりしていました。寮の受付には 24 時間スタッフがいて、私たちはカードをかざして寮の中に入ります。寮の一階には洗濯機や乾燥機、キッチンがありますが、キッチンは自分で調理器具を揃えなければなりません。食事については、朝食は果物を食べたり、学校の近くにある屋台で肉まんを買って食べたりしていました。昼食と夕食は、放課後クラスメイトと近くのレストランに行ったり、ルームメイトと出前をとったりします。大学の周りには洋食や中国料理、日本食やパン屋さんなど安くておいしいお店がたくさんあるので食にはあまり困りませんでした。しかし、中国の料理は少し油が多いので胃薬なども持って行ったほうがいいと思います。



▲青島ビール博物館

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：上海
 - 研修期間：2015 年 9/14 ～ 2016 年 1/6 [約 4 ヶ月間]
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|--------------|-----------|
| <必要な経費> | |
| ・渡航費 | 52,000 円 |
| ・授業料・滞在費 | 100,000 円 |
| ・保険料 (個人加入分) | 85,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 13,000 円 |
| ・食費 | 250,000 円 |
| ・交通費 | 10,000 円 |
| ・通信費 | 19,000 円 |
| ・その他 | 54,000 円 |
| <合計> | 583,000 円 |

／ 休日・余暇の過ごし方 ／

クラスメイトと観光やショッピングに。

授業は午前中だけだったので、放課後はクラスメイトと観光やショッピングに行ったりしました。上海には、有名な観光地や大きなショッピングセンター、おいしいレストランがたくさんあります。タクシーや地下鉄、バスの運賃も非常に安く、安い値段でどこにでも行けます。土日は授業がなく、時間に余裕があるので上海野生動物園や七宝、朱家角など少し遠いところに行ったりしました。おすすめの場所は外滩で夜の景色は非常にきれいです。近くには南京東路や豫園などもあり、おみやげなどもそこで買うことができます。また、映画も日本より安いので映画館にもよく行きました。しかし、インターネットでチケットを買ったほうが安いので映画館で買うよりもインターネットを利用してチケットを買ったほうがいいです。テスト期間中は友達とカフェに行ってよく勉強をしました。外国人の友達といると会話力も自然とアップすると思います。上海には特色のあるカフェがたくさんあるので、カフェ巡りなどもしました。旅行は青島、南京、蘇州、杭州などに行きました。同じ中国でも、上海とは食べ物も景色も文化も違うのですごく楽しかったです。



思い出スナップ

▼外滩の夜景



▲クラスの集合写真



／ 得たもの・学んだもの ／

自分になかった新しい考え方を発見できる。

この留学で得たものは、まずは「中国語」です。渡航直後は挨拶と簡単な会話しかできず、中国人に中国語で道を聞かれても全く聞き取れず答えられなかった私ですが、1 か月もすれば耳も慣れて相手の言っていることもなんとなく聞き取れるようになりました。そして、帰るころには中国語で道を聞かれても答えられるようになりました。また、タクシーの運転手さんやお店の人と会話をしたり、中国人の心の温かさや親近感も感じることができました。さらに、この留学を通して視野も広げることができたと思います。上海财经大学には私と同じような交換留学生、大学を休学してきた人、社会人、そして様々な国籍の留学生がいます。いろんな人と話をすることで、自分には今までなかった新しい考え方を見つけることができます。そして自分の考え方を伝えることで新しい自分を発見することもできます。今まで消極的だった私でしたが、この留学を通して積極的にコミュニケーションをとることができるようになったと思います。この留学でできた友達は一生の宝物です。



▲中国の屋台

／ 後輩へのアドバイス！ ／

スマートフォンのアプリを上手に利用。

私はよく「dianping」というスマートフォンのアプリを使って、お店を探していました。このアプリを使えば、出前や映画、美容室などを予約することができます。また、レストランのメニューや写真、評価も見ることができます。中国は非常にインターネット社会で、ほとんどの中国人がスマートフォンアプリを利用してお金を支払います。なので、長期であれば中国用の電話番号を取得したり、銀行口座を開けたほうがいいと思います。しかし、中国ではほとんどの場合、LINE やツイッター、フェイスブック、グーグルなどが使えないので事前に「微信」や「百度地図」などを日本でダウンロードしてから行ったほうがいいです。「百度地図」を使えば、自分の行きたい場所にどのような交通手段を使えばいいのかも教えてくれます。また、授業の休み時間にクラスメイトとアプリを使って出前をとったのもすごく楽しかったです。

／ もう一言！ ／

積極的にコミュニケーションをとろう。

中国は本当に大きく、上海だけでも楽しくて、面白い場所がたくさんあります。上海付近であれば日帰りで高鉄を使って簡単に旅行に行くこともできるので、時間がいくらあっても足りません。なので事前に行きたいところを調べて時間を有効に使うことが大事だと思います。また、来たばかりのころは不安なことも多いと思いますが、でもトラブルがあっても一人でも悩まずに積極的に友達や周りの人に相談し、お互いに助け合うことが大切です。旅行先などでは、上手くいかなかったことも多かったのですが、一緒に行動をした友人と助け合って何とかすることができました。現地の人も親切な人が多く、笑顔で気さくに話しかけてくれます。中国人は地域によっても文化や性格に違いがあるので、積極的にいろんな中国人と交流するのも面白いです。また、外国語はただ現地生活するだけでは身につかないと思います。積極的に自分からコミュニケーションをとることが大切です。

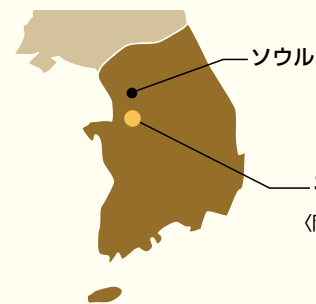


▲クラスメイトと杭州旅行

韩国

平澤大學

Pyeongtaek University



人文学部
英語英米文学科
3年次生

吉川 美沙紀

〈岡山県立岡山芳泉高等学校出身〉

Misaki Yoshikawa



研修機関や授業

授業は自分で組み専攻学
科以外でも受講できる。

平澤大学はソウルから高速バスで約1時間かかる場所にあります。都会過ぎず、田舎過ぎず、交通の便も良いので生活するにはとても良いところです。キャンパスもとてもきれいで勉強する環境が整っています。授業はすべて自分で組み、専攻学科以外の授業も受講できます。私はアメリカ学科に所属していたのですが、アメリカ学科の授業も取りつつ、日本学科の授業も履修しました。その他にも学科に関係なく教養科目も履修することができます。日本では1コマ90分授業ですが、私が通っていた平澤大学は専門学科の授業1コマが180分、教養科目が120分でした。初めは1コマがとても長く、慣れるのに大変でしたが徐々に慣れるので大丈夫です。平澤大学は留学生用の韓国語の授業がないので、分からない韓国語があると友達に聞いたり、他の日本人留学生と一緒に勉強したりしました。当たり前のことですが授業はすべて韓国語なので、韓国語に慣れるまでは本当に大変でした。わからない部分や課題と一緒に授業を受けている友達に教えてもらいながら頑張りました。テスト期間中は図書館の自習室が24時間使用可能なので、集中したいときは図書館に行って勉強するのも楽しかったです。



▲ MT

衣·食·住

日本とほぼ変わりなく生活できる。

韓国での生活は日本での生活とほぼ変わりありませんでした。学校の後、門付近にはおいしいお店がたくさんあり、時間があるときは友達とよく食べに行っていました。韓国料理は辛いものが多く、苦手な人は大変かもしれません。天気は日本とほぼ同じでした。ただ冬の韓国はとても寒いです。日本からカイロを持って行ったのですが、持って来て良かったと思いました。私は学校内にある寮に住んでいました。4人部屋でルームメイトはみんな韓国人でした。寮には共用の洗濯機、スポーツジム、調理室があり、22時50分になると点呼があります。外泊をする場合は外泊届を出せば大丈夫です。寮の洗濯機は24時間使用可能で1回1,000ウォンで使うことができます。調理室には電子レンジと冷蔵庫がありました。寮では火が使えないので最初は食べ物に苦労しましたが、電子レンジを上手に活用すれば不自由なく過ごすことができます。平澤大学はキリスト教の学校なのでお酒を飲んだら寮に帰ることができません。お酒を飲んだ時は友達の家泊まったり、友達とチムチルバンに行ったりしました。学校の近くにはスーパーやダイソー、コンビニなどたくさんお店があり、すごく便利でした。



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：平澤
●研修期間：
2015年3/1～12/21【約10ヶ月間】
●宿泊形態：寮
●費用概算
＜必要な経費＞
- | | |
|-------------|-----------|
| ・渡航費 | 100,000 円 |
| ・保険料（個人加入分） | 136,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 15,000 円 |
| ・食費 | 200,000 円 |
| ・交通費 | 80,000 円 |
| ・通信費 | 50,000 円 |
| ・その他 | 203,000 円 |
| ＜合計＞ | 784,000 円 |



思い出スナップ

▼おかず



▲ロッテワールド

得たもの・学んだもの

韓国語はもちろん人としても成長できた。

私は親元を離れたことがなく、しかも1ヶ月も海外で生活するのは不安の塊でした。松山大学から平澤大学に留学するのは私しかおらず、韓国語もままならない状態だったのでどうしていいのか分かりませんでした。でも韓国に到着するとみんなが温かく迎えてくれ、不安が一気になりました。私はこの留学を通して韓国語はもちろんですが、人としても成長できたと思います。楽しいとき、不安で仕方ないとき、辛いとき、日本に帰りたくなることも多々ありましたが、日本人の友達や他の日本人留学生に助けってもらいながら楽しく生活することができました。何気ないことに幸せを感じたり、人の温かみを実感したり、現地で生活しなければ決して感じることはできなかったことがたくさんありました。初めは自分の韓国語に自信が持てず、韩国人と話すのが恥ずかしいこともありましたが、私の韓国語をうなずきながら聞いてくれ、私が聞き取れないときは何度も話してくれたりと本当にありがたいことばかりでした。失敗してもいいので話そうとする気持ちが一番大切だと
思いました。



▲韓服

後輩へのアドバイス！

自分が知らない世界を感じることができる。

大 学入学時、軽い気持ちで履修した韓国語の授業でしたが、まさかここまで一生懸命になれるとは思いませんでした。留学を考えたのは2年生のときで、韓国語がそこまで上手ではない私にとってはとても大きな決断でした。韓国語の先生に留学の相談をしたとき、「留学は韓国語が上手な人が行っても意味がない。できないから行く意味がある。」という言葉をいただき挑戦してみようという気持ちになりました。長期留学は卒業が遅れるかもしれないとか、そんなに長い間行く意味がないと感じる人も多いと思います。しかし、約10ヶ月の留学を終えて思うことは、すべての経験が何事にも変えることができない素晴らしい経験だったということです。私自身、長期留学を決心するときにたくさん悩みましたが、心の底から留学して良かったと思います。もし留学したいと考えているなら、不安だと思いますが行動してみるべきです。きっと自分が知らない世界を感じることができ、大学生活をより充実したものにできると思います。

もう一言！

学校行事に参加してより充実した留学生活を。

韓国に到着してから、携帯電話の契約
韓国で外国人登録申請、授業の履修申請
などしなければならないことが山積みです。
しかし、学校の職員の方や日本学科の助教
授さんが親切に教えてくれるので心配する
ことはありません。携帯電話はソウルの新
村ある日本人向けの携帯電話代理店で契約
しました。日本語ができる店員さんがいる
ので、とても安心でした。大学内は Wi-Fi
があるので日本の携帯電話も使うことがで
き、不便に感じることはなかったです。平
澤大学はチューター制度がないので最初は
どうしていいのかわかりませんでしたが、
他の日本人留学生や日本学科の学生が助け
てくれます。初めは不安に感じたり、不便
に思うこともありましたが、日本語が上手
な人も多いので心配することはありません。
学祭などの学校行事は積極的に参加しまし
た。現地の学生と一緒に学校行事に参加し
たり、授業を受けれたりするのは長期留学
の魅力の一つだと思います。学校行事など
はできるだけ参加すると、より充実した留
学生活を送れると思います。

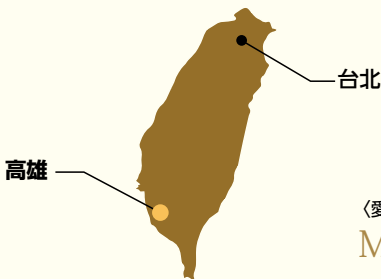


▲ナミソン

台湾

國立高雄大学

National University of Kaohsiung



人文学部
英語英米文学科
3年次生
松崎 真子
〈愛媛県立北宇和高等学校出身〉
Mako Matsuzaki



研修機関や授業

生徒の理解度や様子に合わせて進む授業。

台湾南部の高雄市にある國立高雄大学に約4ヶ月間の留学に行きました。本科生としての交換留学のため、現地の学生たちと一緒に授業を受けることが多くあります。それらの授業は完全に中国語で進むため、レベルが少し高いように感じました。最初は戸惑いますが、授業を受けるうちにリスニング出来るようになります。留学生用の授業は週に2回あります。それぞれコミュニケーション、文法中心の内容となっており、生徒の理解度や様子に合わせて進めてくれます。また週に1回、放課後にレベル別による中国語の授業が用意されていました。テストを受けてクラスが割り振られるため、少人数で自分の実力に応じた授業を受けることが出来ます。その他については、自由に選ぶことができるので、残りは西洋文学学科と東アジア学科の授業を中心に履修しました。特に東アジア学科の日本語の授業は、中国語で進められるため、聞き取り練習にもなりました。日本人には簡単な内容なので、習った日本語を中国語に翻訳するなど、自分なりに工夫しながら授業を受けていました。また日本に興味のある学生が多く履修しているため、友達もたくさん作ることができました。



▲松大に交換留学に来ていた姿静さんと

衣・食・住

台湾料理の魯肉飯は安くて美味しい。

留学生は基本的に学外か学内の寮に入ることになっています。私は、学内の方の寮で過ごしました。学内の寮は4人部屋で、私のルームメイトは台湾人2人と中国人1人でした。4人部屋では一人の時間を確保することは難しいですが、ルームメイトとの交流は語学力の向上にもつながりました。私のルームメイトの1人は日本語の授業を履修していたので、お互いの課題やテスト勉強を手伝うこともありました。学内の寮の中にはキッチンはありませんが、食堂があり、そこで朝ごはんや飲み物までも買えるため、とても便利です。特に台湾料理のひとつである魯肉飯は安くて美味しいので、大好きでした。学校の周辺には、大型スーパーや飲食店、コンビニもあります。高雄は、台湾でも南部の地方であるため、1年を通して暖かいです。雨はそれほど降りませんが、日差しが強いので、日傘を差すことが多くありました。9月、10月はとても暑かったですが、12月、1月は日本と比べるとそれほど寒くなく、秋の服装で過ごせました。たまに寒い日があるのでコート1枚あれば十分だと思います。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：高雄
 - 研修期間：2015年9/11～2016年1/13【約4ヶ月間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|-------------|-----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・渡航費 | 45,000 円 |
| ・授業料・滞在費 | 55,000 円 |
| ・保険料(個人加入分) | 72,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 13,000 円 |
| ・食費 | 80,000 円 |
| ・交通費 | 20,000 円 |
| ・通信費 | 12,000 円 |
| ・その他 | 18,000 円 |
| ＜合計＞ | 315,000 円 |

休日・余暇の過ごし方

大学の行事や留学生向けのイベントがたくさんある。

休日は友達とショッピング、映画、カラオケなどに行くことが多かったです。高雄大学は郊外にありますが、バスとMRTを乗り継ぐと1時間弱で中心部まで行くことが出来ます。また放課後には、よく夜市に遊びに行きました。地元で人気の夜市には、学校から30分ほどで行くことが出来ます。夜市は台湾の代表的な文化のひとつで、食べものだけでなく、服やアクセサリ、雑貨類の販売から、ゲーム、マッサージなどといった幅広い種類の屋台がたくさん並んでいます。夜遅くまで活気があり、臭豆腐やタピオカといった台湾ならではの美味しいグルメが数多くそろっているため、とても好きでした。連休には、台北や台南などにも遊びに行きました。台北・高雄間には新幹線も通っており、1時間半で行くことが出来ます。ジブリ作品の舞台となったと言われる九份や、台中の日月潭など、台湾には多くの魅力的な観光地があります。高雄にも面白い場所がたくさんあるので、日帰り旅行も楽しかったです。大学の行事や留学生向けのイベントも数多くあり、友達や思い出作りのサポートもしてくれます。



思い出スナップ

▼お別れパーティー



▲MRT 美麗島駅



得たもの・学んだもの

友人との会話で実用的な会話を習得。

研修を通じて、語学力、コミュニケーション能力の伸びをとても実感しました。楽しくて優しい友達やルームメイトに恵まれていたので、もっと感謝を伝えたい、相手のことを知りたいと思う気持ちが、勉強のモチベーションにもつながりました。友人との会話のおかげでより実用的な会話も習得できました。最初は授業についていけないことも多くありましたが、徐々に聞き取れるようになり、3カ月も経てば、買い物もスムーズにできるようになりました。また台湾を研修先にした理由の一つは、日本語教育に興味があったからでした。そこで日本語の絵本を読み聞かせするボランティアにも参加してもらいました。絵本の選択から活動内容まで一からすべて決めるため大変でしたが、やりがいがあり、これからも日本語教育に携わりたいという目標ができました。そして高雄大学の日本語を専攻している台湾の生徒たちと一緒に、イベント準備をしたことはかけがえのない思い出のひとつです。



▲九份



▲西子湾のかき氷



▲高大生愛用の学内用自転車

後輩へのアドバイス！

やりたいと思ったらすぐ行動しよう。

留学に行くことは大学生生活の目標のひとつでした。留学前は費用、語学力、友達などいろんな面で不安もありましたが、行ってよかったと心から感じています。特に台湾は物価も安いので、経費を抑えることができます。半年の研修期間では、語学力がついて、コミュニケーションが楽しくなってきた頃に帰らなければならなかったことが少し残念でした。しかし半年でも、中国語の能力がアップしたことを強く実感できます。新しい環境での生活は価値観の変化や視野の広がりにもつながるため、きっと自分にとってかけがえのない経験のひとつになると思います。大学の4年間はとても短いため、やりたいと思ったらすぐ行動を起こすべきです。不安で消極的になってしまうがちですが、行動してみると意外となんとかなります。台湾は魅力的な場所であり、学習環境が整っている研修先だと思うので、迷っているのであれば是非行ってみてください！

もう一言！

旅行では味わえない異文化を体験できる。

この留学を通して、ますます台湾が大好きになりました。その一番の理由は、台湾の人たちの温かさです。この4ヶ月間で出会った人たちは、親切で、穏やかで、笑顔がとても素敵で、数えきれないくらいたくさん助けてもらいました。友人、先生だけでなく町の人までもが、知っている日本語で挨拶してくれたり、私の慣れない中国語でも笑顔で聞いてくれて理解しようとしてくれました。素敵な人たちとの出会いのおかげでコミュニケーションがどんどん楽しくなりました。また台湾は親日国だと言われていますが、本当にその通りだと感じました。私が日本人だということを伝えると、「日本が好き」と多くの人が言ってくれるので、日本人として純粋に嬉しく思いました。スーパーには日本の商品も数多く並んでおり、街中では日本料理店や日本語を使った看板をたくさん見つけることも出来ます。長期間滞在することで、旅行では味わえない異文化を体験することができ、離れてみることで日本を客観的に見ることも出来ました。

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)留学中及び
研修後の手続き研修報告書
短期語学研修講座研修報告書
長期英語研修講座研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)研修報告書
派遣留学制度

2017-2018
MATSUYAMA UNIVERSITY



発行日
2017年3月

発行者
松山大学国際センター事務部 国際センター課 松山市文京町4-2 (〒790-8578)
TEL (089) 925-7111 (代表) (089) 926-7148 (ダイヤルイン)
FAX (089) 926-7151



学部 経済・経営・人文・法・薬

大学院 経済学・経営学・言語コミュニケーション・社会学・医療薬学